

モクレポ



○G7広島サミットで使用された首脳会議用円卓テーブル（広島県産ヒノキ材使用）
写真提供：G7広島サミット公式ホームページ

令和5年6月
No.21

特集

- 令和4年度森林・林業白書
- 花粉症対策の全体像
- 宅地造成及び特定盛土等規制法（盛土規制法）の施行
- 森林環境譲与税の広報活動に関する取組事例集を公表
- 国連森林フォーラム第18回会合

このレポートは、木材需給、木材価格、木材産業の動向等に関するデータを集約・整理し、毎月定期的に公表するものです。林業・木材産業関係者の事業活動に役立てていただくことを目指しています。

【利用上の注意】

1. 原則として毎月中旬に公表。公表日の5営業日前に入手可能なデータを反映しています。
2. 内容については、必要に応じて項目の追加・削除などの変更を行うことがあります。
3. 調査方法の見直しに伴い、データが接続しない場合があります。

CONTENTS 令和5年6月号

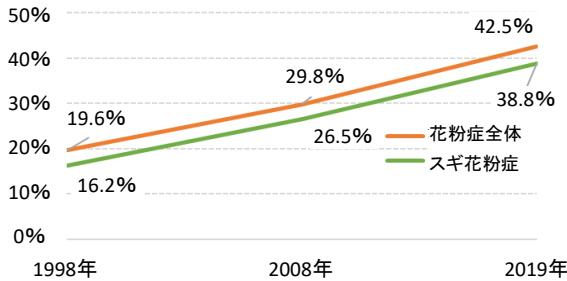
特集	1 令和4年度森林・林業白書	…1
	2 花粉症対策の全体像	…2
	3 宅地造成及び特定盛土等規制法（盛土規制法）の施行	…3
	4 森林環境譲与税の広報活動に関する取組事例集を公表	…4
	5 国連森林フォーラム第18回会合	…5
01	基礎的指標	
	1 新設住宅着工戸数	…6
	2 新設住宅着工床面積 <参考> 非居住用建築物着工床面積	…9
	3 木材産業の業況	…13
	4 USドル及びユーロ為替相場	…14
	5 米国民間新設住宅着工戸数、日本向けコンテナ運賃	…15
6 中国の木材輸入量、EUにおける建設活動水準	…16	
02	木材価格情報	
	1 スギ・ヒノキ原木の主要市場価格	…17
2 木材価格（農林水産統計）	…19	
03	木材需給情報	
	1 需要量、供給量、自給率の動向	…28
	2 製材工場の原木入荷、製品生産等の動向	…31
	3 合板工場の原木入荷、製品生産等の動向	…32
	4 チップ工場の原木入荷、製品生産等の動向	…33
	5 燃料材（国内生産）利用量、紙品種別生産高	…34
	6 素材生産量	…35
7 木材生産の産出額	…36	
04	林産物輸出入情報	
	1 林産物輸出額	…37
	2 木材輸出額	…38
	3 木材輸入額	…39
	4 木材輸入量	…41
5 製材・構造用集成材・合板の輸入平均単価	…46	
05	特用林産情報	
	1 特用林産物の国内生産量	…47
	2 特用林産物の産出額	…48
	3 特用林産物の輸出入量	…49
	4 特用林産物の輸出額	…50
	5 中国からのしいたけ菌糸輸入量	…53
6 きのご類の卸売量・価格	…54	
06	セミナー・イベント情報	
6月中旬以降の開催情報	…55	
お知らせ	10月1日から消費税インボイス制度が始まります！	…56
	あなたの挑戦サポートします ～林業信用保証～	…57
	ウッド・チェンジ ロゴマーク活用のご案内	…58
	非住宅建築物の木造化等に活用できる資料	…59

特集-2 花粉症対策の全体像

- 2023年5月30日に「花粉症に関する関係閣僚会議」が開催され、花粉症問題の解決に向けて、「発生源対策」「飛散対策」「発症・曝露対策」の3本柱で構成される「花粉症対策の全体像」が決定。
- このうち「発生源対策」として、スギ材の需要拡大や花粉の少ないスギ苗木の増産、必要な林業労働力の確保等の総合的な対策を推進することにより、スギ人工林の伐採・植替えを加速化。

■ 花粉症の実態と人工林の将来

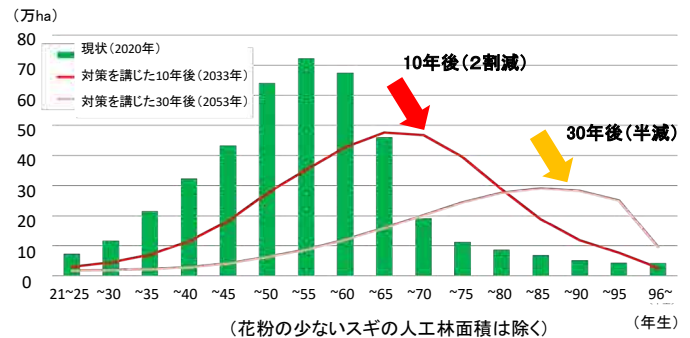
- 有病率:約10年ごとに10ポイント程度ずつ増加



資料:日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー感染症学会のデータより作成

- 医療費(花粉症を含むアレルギー性鼻炎)
→保険診療:約3,600億円、市販薬:約400億円

- 花粉発生源となるスギ人工林(20年生超)は**431万ha**



- 「発生源対策」の取組を集中的に進めて花粉量の削減を加速化

■ 「花粉症対策の全体像」花粉症対策の3本柱【林野庁関連抜粋】

1. 発生源対策	2. 飛散対策
<p>10年後には花粉発生源のスギ人工林を約2割減少させることを目指す。スギ人工林由来の花粉が約2割減少すれば、花粉量の多かった今シーズンであっても平常並みの水準まで花粉量を減少させる効果が期待できる。また、将来的(約30年後)には花粉発生量の半減を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● スギ人工林の伐採・植替え等の加速化 スギ人工林の伐採を約5万ha/年→(10年後)約7万ha/年まで増加させるとともに、花粉の少ない苗木や他樹種による植替え等を推進 ⇒花粉発生源となるスギ人工林の減少スピードを約2倍に(「花粉発生源スギ人工林減少推進計画(略称:スギ伐採加速化計画)」) ● スギ材需要の拡大 住宅分野でのスギ材製品への転換促進、木材活用大型建築の新築着工面積の倍増等 － スギ製材・合板・集成材等のJAS材の増産に向けた加工流通施設の国内整備の支援、国産材の利用割合の低い横架材等について輸入材を代替可能な製品を製造する技術の普及等、安定供給体制の構築 － JAS規格・建築基準の合理化 等 ⇒需要を1,240万㎡→(10年後)1,710万㎡(470万㎡増)に拡大 ● 花粉の少ない苗木の生産拡大 国・自治体等における苗木生産体制の短期的かつ集中的な整備 ⇒10年後には花粉の少ないスギ苗木の生産割合をスギ苗木全体の9割以上に引上げ ● 林業の生産性向上及び労働力の確保 － 高性能林業機械の導入支援等により生産性を向上 － 他産業との連携、地域おこし協力隊との連携等により、10年後も現在と同程度の林業人材を確保 <p>➡年内に「林業活性化・木材利用推進パッケージ」(仮称)を策定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● スギ花粉飛散量の予測 精緻化されたデータを民間事業者を提供すること等により、民間事業者が実施する予測の精度向上を支援 ➢ スギ雄花花芽調査の強化(34都府県→全国に拡大、調査地点数の倍増)等 ➢ 航空レーザー計測によるスギ人工林の分布、森林地形等の情報の高度化、それらのデータの公開の推進 ● スギ花粉の飛散防止 効果的・効率的な散布技術の開発、薬剤の改良を進めるなど、スギ花粉の飛散防止剤の開発を促進し、5年後に実用化の目処を立て、速やかに実行することを目指す

林野庁における花粉症対策については、次のURLをご覧ください。

https://www.rinya.maff.go.jp/j/sin_riyou/kafun/index.html



特集-3 宅地造成及び特定盛土等規制法（盛土規制法）の施行

- 盛土等による災害から国民の生命・身体を守る観点から、盛土等を行う土地の用途やその目的にかかわらず、危険な盛土等を全国一律の基準で包括的に規制する「宅地造成及び特定盛土等規制法」（盛土規制法）が、2023年5月26日に施行。
- 都道府県知事、指定都市、中核市の長（都道府県知事等）が、盛土等により人家等に被害を及ぼしうる区域を規制区域として指定。規制区域内では、盛土・切土だけでなく、単なる土捨て行為や土石の一時的な堆積についても規制の対象に。

盛土規制法ができるまで

盛土をめぐる当時の状況

- 静岡県熱海市で大雨に伴って盛土が崩落し、土石流が発生 → **甚大な人的・物的被害**（2021年7月）
- 盛土の総点検において、**全国で約3.6万箇所を目視等により点検**（2022年3月）

それまでの制度上の課題

- 宅地の安全確保、森林機能の確保、農地の保全等を目的とした各法律により、開発を規制 → 各法律の目的の限界等から、**盛土等の規制が必ずしも十分でないエリアが存在**（一部の地方公共団体では**条例**を制定して対応）



危険な盛土等を全国一律の基準で包括的に規制する法制度が必要

※ 全国知事会等からも法制化による全国統一の基準・規制を設けることについて要望あり

盛土規制法の概要

- 盛土等による災害から国民の生命・身体を守るため、「**宅地造成等規制法**」を法律名・目的も含めて**抜本的に改正し**、土地の用途（宅地、森林、農地等）にかかわらず、危険な盛土等を**全国一律の基準で包括的に規制**

※ 法律名を「宅地造成及び特定盛土等規制法」に改正。

※ **国土交通省・農林水産省による共管法**とし、両省が緊密に連携して対応。

1. スキマのない規制

規制区域

- ◆ 都道府県知事等が、**盛土等により人家等に被害を及ぼしうる区域を規制区域として指定**

- **宅地造成等工事規制区域**: 市街地や集落、その周辺など、人家が存在するエリアについて、森林や農地を含めて広く指定
- **特定盛土等規制区域**: 市街地や集落等からは離れているものの、地形等の条件から人家等に危害を及ぼしうるエリア（斜面地等）も指定

規制対象

- ◆ 規制区域内で行われる盛土等を**都道府県知事等の許可の対象**に
※単なる土捨て行為や一時的な堆積についても規制

2. 盛土等の安全性の確保

許可基準

- ◆ 盛土等を行うエリアの地形・地質等に応じて、**災害防止のために必要な許可基準を設定**

中間検査完了検査

- ◆ 許可基準に沿って安全対策が行われているかどうかを確認するため、**①施工状況の定期報告、②施工中の中間検査及び③工事完了時の完了検査を実施**

3. 責任の所在の明確化

管理責任

- ◆ 盛土等が行われた土地について、**土地所有者等が常時安全な状態に維持する責務を有することを明確化**

監督処分

- ◆ 災害防止のため必要なときは、**土地所有者等だけでなく、原因行為者に対しても、是正措置等を命令**

4. 実効性のある罰則の措置

罰則

- ◆ 罰則が抑止力として十分機能するよう、無許可行為や命令違反等に対する懲役刑及び罰金刑について、**条例による罰則の上限より高い水準に強化**

※ 最大で懲役3年以下・罰金1,000万円以下・法人重科3億円以下

盛土規制法についての詳細は、次のURLをご覧ください。制度パンフレットもあります。

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/tisan/tisan/morido.html>



- 林野庁では、「森林環境譲与税に関する広報—自治体における取組事例—」を作成し、林野庁HPに公表・掲載。
- 本事例集では、市町村の取組を中心に、①用途公表HPの工夫、②広報誌の活用、③独自の広報資材の作成、④事業箇所や施設・製品などへの表示、⑤事業のプレスリリースの分野別に、特徴的な事例（市町村49事例、都道府県3事例）を紹介。

用途公表HPの工夫 ～高知県いの町～

表 森林環境譲与税の用途（令和3年度）

事業名称	内訳	額(万円)
森林環境譲与税(DF)	森林環境譲与税(DF)	2,533万円
森林環境譲与税(DF)	森林環境譲与税(DF)	24,723万円
森林環境譲与税(DF)	森林環境譲与税(DF)	10,484万円
森林環境譲与税(DF)	森林環境譲与税(DF)	447万円
森林環境譲与税(DF)	森林環境譲与税(DF)	6,398万円
森林環境譲与税(DF)	森林環境譲与税(DF)	1,000万円

事業ごとに取組内容や成果を紹介する資料を作成し、譲与税の用途公表HPに掲載。

令和3年度森林経営管理制度内訳表(委託業務)

意向調査結果

市内の町HP
https://www.town.ino.kochi.jp/shigoto/ringyo/9942/

広報誌の活用 ～岐阜県高山市～

「広報たかやま」2022年10月号に特集「林業が森林環境と暮らしを守る！100年先を見据えた森林づくり」を掲載。

■ 広報たかやま 2022年10月号

(高山市HP)
https://www.city.takayama.lg.jp/_res/projects/default_project/_page/001/017/292/10-all.pdf

独自の広報資材の作成 ～兵庫県神戸市～

譲与税を活用した森林整備現場の見学会について、参加者以外へも広報・啓発を行えるよう、動画を制作し公開。

私有林の抱える課題に対する取り組み

KOBE 森林環境譲与税活用推進

私有林の課題
・木材活用
・林道の整備
・人材育成
・普及啓発
・取り組み推進のための仕組みづくり

神戸市動画URL
https://www.youtube.com/watch?v=wtiOtXFSoeA

事業箇所等への表示 ～秋田県横手市～

譲与税を活用して導入・作製した木製施設等に、森林環境譲与税を活用している旨の説明を表示。

■ 公園へのあずまやの設置(令和2年度)における例



事業のプレスリリース ～北海道北斗市～

新生児へ木製品を贈呈する事業について、2021年6月にプレスリリースを実施。



事例集は、林野庁HPからダウンロードできます。

https://www.rinya.maff.go.jp/j/keikaku/kankyousei/kankyousei_jouyozei.html#t4



特集-5 国連森林フォーラム第18回会合（UNFF18）

- 2023年5月8～12日にニューヨークの国連本部において、国連森林フォーラム第18回会合が開催。
- 日本からは、林野庁海外林業協力室、外務省、環境省が出席し、各議題において我が国の意見表明や取組紹介等を実施。

■ 国連森林フォーラムとは

- 持続可能な森林経営の推進に向けて、1992年の国連環境開発会議において「森林原則声明」が採択されて以降、国連の場において、政府間対話を継続的に開催。
- 2000年に、経済社会理事会の下に国連森林フォーラム（United Nations Forum on Forests: UNFF）が設立され、基本的に年に1度開催し、世界の森林に関する対話を実施。
- ハイレベルな政策会合と技術的会合とが隔年で開催され、今回の会合においては技術的会合として開催。



国連森林フォーラムの様子

■ 会合の概要

○会合のテーマ

今回の会合では国連森林戦略計画（UNSPF2017-2030）※1の実施や、森林に関する国際枠組み（IAF）※2の中間評価に関して議論。

※1 2030年までに国際社会が達成すべき目標として、6つの世界森林目標及び26のターゲットを掲載。

※2 あらゆるタイプの森林の持続可能な経営の推進等を目的に、UNFF及びそのメンバー国、森林に関する協調パートナーシップなどから構成。中間評価を2024年に、最終評価を2030年に実施予定。

○日本からの発信

国連森林戦略計画の実施に関連して、持続可能な森林経営の重要性に加え、持続可能な森林から生産される「持続可能な木材利用」の重要性を強調し、FAO（国連食糧農業機関）やITTO（国際熱帯木材機関）と連携し、これら取組を促進する旨発言。



国際連合本部



会期中に開催されたサイドイベントの様子

■ 同会合における結果等

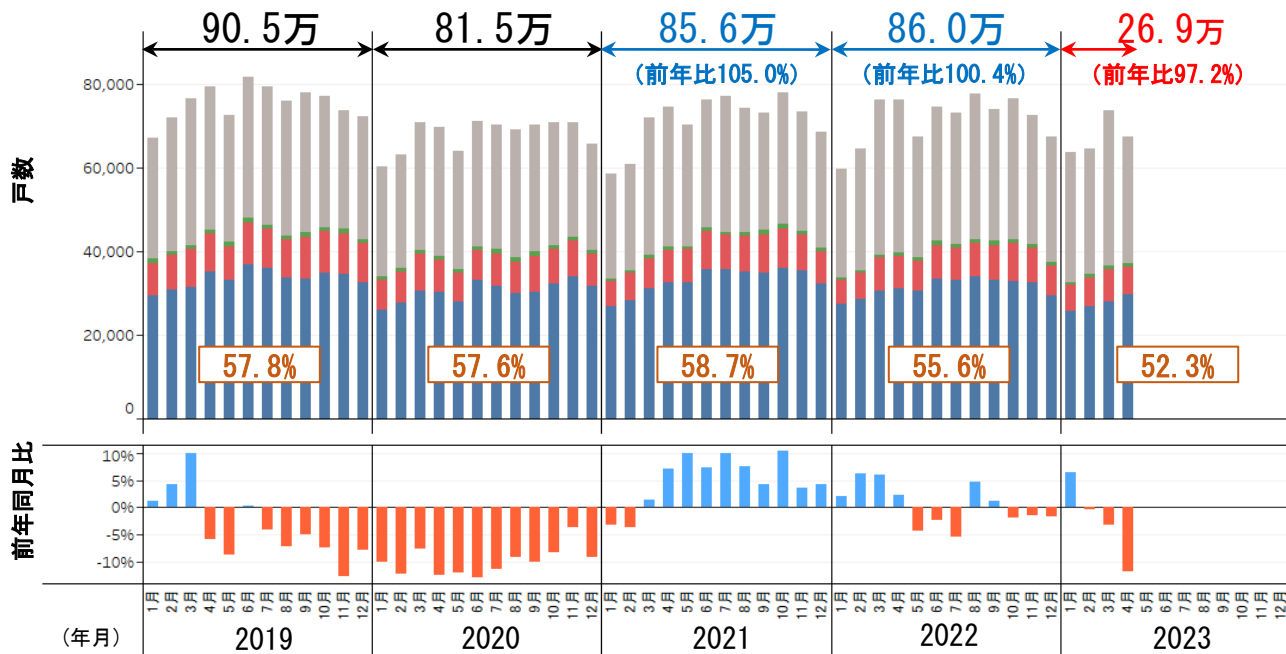
国連森林フォーラム第18回会合の成果として、議論の内容及び加盟国等への勧告事項を取りまとめた議長サマリーを最終日に議論。来年（2024年）実施予定の、森林に関する国際枠組みの中間レビューに向け、引き続き議論を継続。

国連森林フォーラム（UNFF）の詳細は、次のURLをご覧ください。
森林・林業分野の国際的取組 <https://www.rinya.maff.go.jp/j/kaigai/index.html>



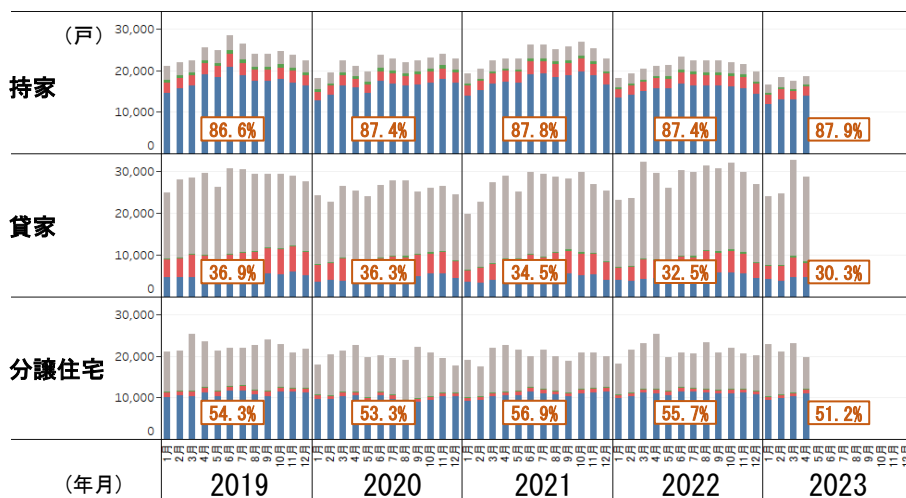
基礎的指標-1 新設住宅着工戸数

- 2022年の新設住宅着工戸数は、86.0万戸（前年比100.4%）、このうち木造住宅は47.8万戸（同95.1%）
- 2023年1～4月の新設住宅着工戸数は、26.9万戸（前年同期比97.2%）、このうち木造住宅は14.1万戸（同95.1%）。



(単位：戸)

構造別の着工戸数	2023年 1～4月	2022年 同期	2022年 同期比	2021年 同期	2021年 同期比
合計	268,973	276,719	97.2%	265,520	101.3%
■非木造	128,266	128,692	99.7%	116,608	110.0%
木造	140,707	148,027	95.1%	148,912	94.5%
■木造プレハブ	3,310	2,873	115.2%	2,943	112.5%
■2×4	27,190	27,617	98.5%	27,340	99.5%
■在来軸組	110,207	117,537	93.8%	118,629	92.9%
□木造率	52.3%	53.5%		56.1%	



資料：国土交通省「住宅着工統計」

○新設住宅着工戸数（構造別）

基礎的指標-1

（単位：千戸、％）

年・月	合計		木造								非木造		戸数			
		前年比	計	前年比	在来軸組	前年比	2×4	前年比	プレハブ	前年比		前年比	年率季節調整値	前年比		
2019年	1	67	101	38	98	29	99	7.9	91	1.0	105	29	106	56.8	872	102
	2	72	104	40	104	31	106	8.3	100	0.9	85	32	104	55.6	967	104
	3	77	110	41	104	31	104	9.1	105	0.9	95	35	118	54.1	989	110
	4	79	94	45	100	35	103	9.0	88	1.1	120	34	88	56.9	931	94
	5	73	91	42	97	33	97	8.2	97	1.0	115	30	84	58.2	900	90
	6	82	100	48	104	37	105	10.0	99	1.2	104	33	96	59.0	922	101
	7	79	96	46	99	36	100	9.4	96	1.1	95	33	92	58.5	910	95
	8	76	93	44	93	34	94	9.0	88	1.0	92	32	93	57.4	891	93
	9	78	95	44	92	34	91	9.9	93	1.0	95	33	100	57.0	897	95
	10	77	93	46	91	35	92	9.9	87	1.1	82	31	95	59.3	879	93
	11	74	87	45	94	34	94	9.8	95	1.1	93	28	78	61.6	834	87
	12	72	92	43	91	33	92	9.2	89	1.0	89	29	93	59.3	852	89
2020年	1	60	90	34	89	26	89	7.0	89	0.8	82	26	91	56.1	813	93
	2	63	88	36	90	28	90	7.3	88	0.8	88	27	85	56.8	871	90
	3	71	92	40	97	31	97	8.7	95	0.9	102	31	87	56.8	905	92
	4	70	88	39	86	30	86	7.7	86	0.8	75	31	90	55.8	801	86
	5	64	88	36	84	28	85	6.8	83	0.9	96	28	93	55.8	809	90
	6	71	87	41	86	33	90	7.3	73	1.0	79	30	89	58.0	790	86
	7	70	89	40	87	32	88	7.8	84	0.9	89	30	91	57.6	828	91
	8	69	91	38	88	30	89	7.5	83	1.0	102	31	95	55.6	819	92
	9	70	90	40	90	30	91	8.6	87	1.0	92	30	90	56.9	815	91
	10	71	92	41	91	32	93	8.2	84	0.9	89	29	93	58.6	802	91
	11	71	96	43	96	34	98	8.6	87	1.0	92	27	97	61.3	820	98
	12	66	91	40	94	32	97	7.6	82	0.9	92	25	87	61.3	784	92
2021年	1	58	97	33	99	27	103	5.9	85	0.6	82	25	95	57.1	801	99
	2	61	96	35	99	28	101	6.6	90	0.7	93	25	93	58.3	808	93
	3	72	101	39	97	31	102	7.0	81	0.8	93	33	107	54.3	880	97
	4	75	107	41	106	32	107	7.8	101	0.8	96	33	109	55.1	883	110
	5	70	110	41	115	33	116	7.9	116	0.8	80	29	103	58.6	875	108
	6	76	107	46	111	36	109	8.9	122	1.1	111	31	102	60.0	866	110
	7	77	110	45	110	36	112	8.3	106	0.8	86	33	109	57.9	926	112
	8	74	108	45	116	35	117	8.7	116	1.0	98	30	97	60.0	855	104
	9	73	104	45	113	35	115	9.2	108	1.1	117	28	93	61.7	845	104
	10	78	110	46	112	36	112	9.4	114	1.1	114	32	108	59.5	892	111
	11	73	104	45	103	35	104	8.5	100	1.0	101	29	104	61.1	848	103
	12	68	104	41	102	32	102	7.8	103	0.8	91	28	108	59.7	838	107
2022年	1	60	102	34	101	27	102	5.9	99	0.6	87	26	104	56.5	820	102
	2	65	106	35	100	29	101	6.2	94	0.7	100	29	115	54.8	872	108
	3	76	106	39	101	31	98	7.9	113	0.8	95	37	113	51.5	927	105
	4	76	102	40	97	31	96	7.6	98	0.8	107	37	109	52.0	885	100
	5	67	96	38	93	31	94	7.2	91	0.7	93	29	99	57.2	828	95
	6	75	98	42	93	33	93	8.1	92	0.9	89	32	105	56.8	845	98
	7	73	95	42	93	33	93	7.6	92	1.0	116	31	96	57.2	825	89
	8	78	105	43	96	34	97	8.0	93	1.0	103	35	117	55.2	903	106
	9	74	101	42	94	33	95	8.4	91	0.9	80	32	113	57.3	858	101
	10	77	98	43	92	33	92	8.9	95	1.0	96	34	107	55.9	867	97
	11	72	99	42	93	33	92	8.2	97	1.0	97	31	107	57.7	842	99
	12	67	98	37	91	29	91	7.1	91	0.8	101	30	108	55.6	846	101
2023年	1	64	107	33	96	26	94	6.1	105	0.7	124	31	120	51.1	893	109
	2	64	100	34	97	27	94	6.8	109	0.8	119	30	102	53.5	859	99
	3	74	97	37	93	28	92	7.7	97	0.8	105	37	101	49.6	877	95
	4	67	88	37	94	30	95	6.6	86	1.0	116	30	82	55.3	771	87
2019年	第1四半期	216	105	120	102	92	103	25	99	2.7	94	96	109	55.4	942	106
	第2四半期	234	95	135	100	105	102	27	95	3.3	112	98	89	58.0	918	95
	第3四半期	233	95	134	94	103	95	28	92	3.1	94	99	95	57.7	899	94
	第4四半期	223	91	134	92	102	93	29	90	3.1	88	89	88	60.1	855	89
2020年	第1四半期	194	90	110	92	84	92	23	91	2.4	90	84	88	56.6	863	92
	第2四半期	205	88	116	85	91	87	22	80	2.7	83	89	91	56.6	800	87
	第3四半期	210	90	119	88	92	89	24	85	2.9	94	91	92	56.7	821	91
	第4四半期	207	93	125	93	98	96	24	84	2.8	91	82	92	60.4	802	94
2021年	第1四半期	191	98	108	98	86	102	20	85	2.2	89	83	99	56.5	830	96
	第2四半期	221	108	128	111	101	110	25	113	2.6	95	93	105	57.9	875	109
	第3四半期	225	107	134	113	105	114	26	110	2.9	100	90	99	59.8	876	107
	第4四半期	220	106	132	106	104	106	26	105	2.9	102	88	107	60.1	859	107
2022年	第1四半期	200	105	108	100	86	100	20	102	2.0	94	92	111	54.1	873	105
	第2四半期	218	99	120	94	95	94	23	94	2.5	96	98	105	55.2	853	97
	第3四半期	225	100	127	95	100	95	24	92	2.8	98	98	108	56.5	862	98
	第4四半期	216	98	122	92	95	92	24	94	2.8	98	94	107	56.4	851	99
2023年	第1四半期	202	101	104	96	81	93	21	103	2.3	115	98	107	51.3	876	100

資料：国土交通省「住宅着工統計」

○新設住宅着工戸数（利用關係別・資金別）

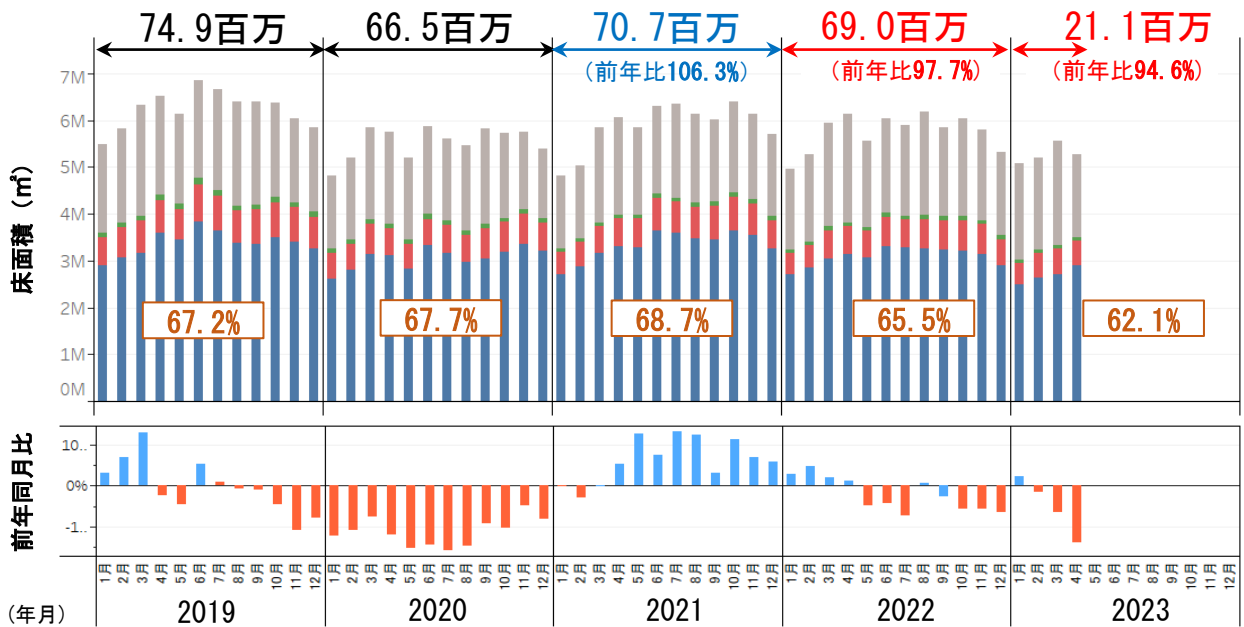
（単位：千戸、％）

年・月	合計		利用關係別										資金別						
			持家		貸家		給与		分譲		分譲		民間		公的				
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比				
2019年	1	67	101	21	103	25	88	0.5	118	21	120	11	104	10	145	60	102	7	95
	2	72	104	22	110	28	95	0.9	140	21	111	12	112	9	110	64	104	8	105
	3	77	110	22	109	28	96	0.4	162	25	133	12	107	14	169	69	110	8	110
	4	79	94	25	109	30	83	1.0	176	23	94	13	103	11	85	71	95	8	88
	5	73	91	25	106	26	84	0.4	31	21	89	12	100	9	77	64	89	8	112
	6	82	100	28	113	31	88	0.6	66	22	108	13	110	9	105	73	102	8	91
	7	79	96	26	103	30	85	0.6	143	22	105	13	109	9	100	71	97	8	86
	8	76	93	24	98	29	83	0.2	36	23	106	12	102	10	110	68	93	8	91
	9	78	95	24	97	29	83	0.5	75	24	114	12	100	12	133	70	95	8	97
	10	77	93	24	94	29	84	0.3	41	23	107	13	101	10	116	69	93	8	90
	11	74	87	24	93	29	82	0.3	48	21	90	13	101	8	76	65	87	8	93
	12	72	92	22	91	28	90	0.7	167	22	95	12	96	9	94	65	92	8	90
2020年	1	60	90	18	86	24	97	0.3	63	18	85	11	97	7	72	54	89	7	98
	2	63	88	20	89	23	81	0.5	63	20	96	11	92	9	102	56	88	7	86
	3	71	92	22	100	27	93	0.6	145	21	84	12	99	10	71	63	91	8	105
	4	70	88	21	83	25	86	0.6	60	23	96	12	92	11	102	62	88	7	86
	5	64	88	20	79	24	92	0.3	92	20	93	10	87	9	101	58	90	6	70
	6	71	87	24	83	27	87	0.6	94	20	92	12	89	8	97	64	88	7	82
	7	70	89	23	86	28	91	0.5	77	19	88	11	83	8	96	63	89	7	88
	8	69	91	22	91	28	95	0.6	248	19	84	9	77	9	92	63	92	6	81
	9	70	90	22	93	25	85	0.6	137	22	92	10	84	12	100	64	92	6	73
	10	71	92	23	94	26	89	0.9	293	21	90	11	84	10	98	64	93	6	78
	11	71	96	24	102	26	92	0.8	292	20	94	11	90	8	101	64	98	7	83
	12	66	91	23	102	24	88	0.8	115	18	82	11	91	6	69	59	91	7	87
2021年	1	58	97	19	106	20	82	0.4	121	19	107	10	94	9	128	53	99	5	80
	2	61	96	20	104	23	100	0.4	77	17	85	10	96	7	73	55	97	6	88
	3	72	101	22	100	27	103	0.4	59	22	103	11	97	10	110	65	104	7	81
	4	75	107	23	109	29	114	0.3	55	22	100	12	99	11	100	68	109	7	93
	5	70	110	23	116	25	104	0.8	230	21	108	12	114	10	103	63	109	7	119
	6	76	107	26	111	30	112	0.5	81	20	98	13	109	7	84	70	109	7	96
	7	77	110	26	115	29	106	0.4	83	21	111	12	113	9	108	70	111	7	96
	8	74	108	25	115	29	104	0.5	92	20	105	12	125	8	86	67	107	7	113
	9	73	104	26	115	28	113	0.4	64	19	85	12	115	7	61	67	104	6	104
	10	78	110	27	117	30	115	0.5	55	21	101	12	115	9	85	71	110	7	112
	11	73	104	25	105	27	101	0.5	57	21	106	13	110	8	102	67	105	6	91
	12	68	104	23	100	25	103	0.5	66	20	113	13	112	7	114	63	106	6	88
2022年	1	60	102	18	94	23	117	0.3	88	18	95	11	108	7	80	55	103	5	92
	2	65	106	19	94	24	105	0.3	76	21	123	12	111	10	142	59	108	5	87
	3	76	106	20	91	32	119	0.4	112	23	106	12	110	11	102	70	107	7	100
	4	76	102	21	92	30	102	0.5	155	25	112	12	107	13	117	70	104	6	88
	5	67	96	21	93	26	104	0.3	44	20	91	12	101	8	80	62	98	6	79
	6	75	98	23	89	30	102	0.4	90	21	104	13	100	8	111	68	98	6	98
	7	73	95	22	86	30	102	0.3	74	21	96	12	102	8	88	66	94	7	102
	8	78	105	22	89	31	109	1.0	179	23	116	12	105	11	133	71	105	7	101
	9	74	101	22	87	31	108	0.4	86	21	110	12	107	8	115	68	102	6	92
	10	77	98	22	81	32	107	0.9	182	22	105	12	101	9	110	68	96	8	117
	11	72	99	22	85	30	111	0.3	76	21	99	12	99	8	99	65	97	7	113
	12	67	98	20	87	27	106	0.4	85	20	101	12	94	8	114	61	98	6	106
2023年	1	64	107	17	92	24	104	0.2	74	23	125	11	96	12	170	56	103	7	149
	2	64	100	18	95	25	105	0.3	95	21	98	11	97	10	100	60	100	5	93
	3	74	97	17	86	33	101	0.6	134	23	100	12	93	11	107	67	96	7	104
	4	67	88	19	88	29	97	0.3	51	20	78	12	99	7	57	61	86	6	109
2019年	第1四半期	216	105	65	107	81	93	1.8	138	67	121	35	108	32	140	193	105	23	104
	第2四半期	234	95	79	110	86	85	2.0	74	66	96	38	104	29	87	209	95	25	96
	第3四半期	233	95	74	99	89	83	1.3	77	68	108	37	104	31	114	209	95	24	91
	第4四半期	223	91	70	93	86	85	1.3	73	65	97	38	99	27	94	199	91	24	91
2020年	第1四半期	194	90	60	92	73	90	1.5	84	59	88	33	96	26	80	172	89	22	96
	第2四半期	205	88	64	82	76	88	1.6	76	63	94	34	89	29	100	185	89	20	79
	第3四半期	210	90	67	90	80	90	1.7	128	60	88	30	81	30	96	190	91	19	80
	第4四半期	207	93	70	99	77	90	2.5	198	58	89	33	88	24	89	187	94	20	83
2021年	第1四半期	191	98	62	103	70	95	1.2	78	58	98	32	96	26	101	173	100	18	83
	第2四半期	221	108	72	112	84	110	1.6	104	64	102	36	107	28	96	201	109	20	102
	第3四半期	225	107	77	115	86	107	1.3	79	60	100	36	117	25	82	205	108	20	104
	第4四半期	220	106	75	107	82	106	1.5	59	62	106	38	113	24	98	201	107	19	97
2022年	第1四半期	200	105	58	93	79	113	1.1	92	63	108	35	109	28	105	184	106	17	93
	第2四半期	218	99	66	91	86	102	1.3	81	65	103	37	103	28	102	200	100	18	88
	第3四半期	225	100	67	87	92	106	1.6	119	65	107	37	104	27	111	205	100	20	99
	第4四半期	216	98	63	84	89	108	1.7	116	63	102	37	98	26	108	195	97	21	113
2023年	第1四半期	202	101	52	91	81	103	1.1	104	67	106	33	95	33	121	183	99	19	114

資料：国土交通省「住宅着工統計」

基礎的指標-2 新設住宅着工床面積

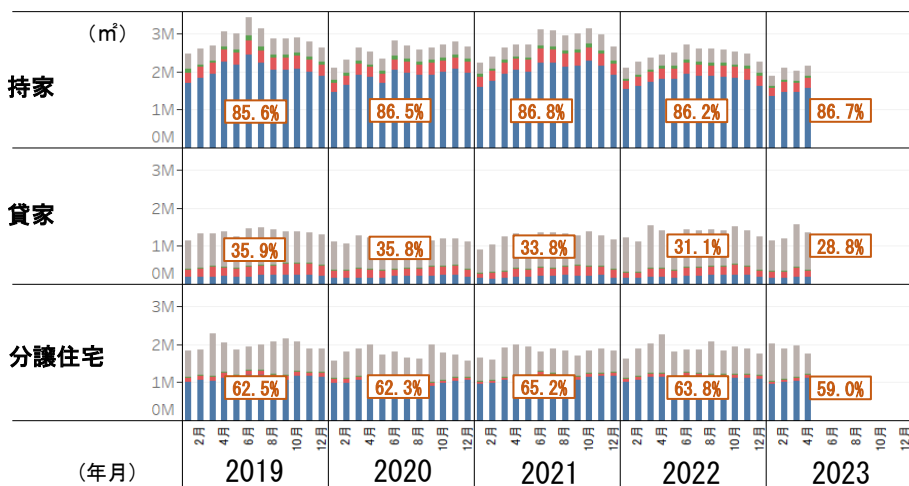
- 2022年の新設住宅着工床面積は、69.0百万㎡（前年比97.7%）、このうち木造住宅は45.2百万㎡（同93.0%）。
- 2023年1～4月の新設住宅着工床面積は、21.1百万㎡（前年同期比94.6%）、このうち木造住宅は13.1百万㎡（同92.5%）。



(単位：千㎡)

構造別の 着工床面積	2023年 1～4月	2022年 同期	2022年 同期比	2021年 同期	2021年 同期比
合計	21,127	22,337	94.6%	21,772	97.0%
■非木造	8,010	8,151	98.3%	7,225	110.9%
木造	13,117	14,186	92.5%	14,547	90.2%
■木造プレハブ	311	292	106.4%	307	101.5%
■2×4	2,090	2,147	97.3%	2,182	95.8%
■在来軸組	10,716	11,747	91.2%	12,059	88.9%
□木造率	62.1%	63.5%		66.8%	

(参考) 利用関係別の着工床面積 (ただし「給与住宅」を除く。)



資料：国土交通省「住宅着工統計」

○新設住宅着工床面積（構造別）

基礎的指標-2

(単位:千m²、%)

年・月		合計		木造								非木造		木造率	木造1戸 当りの 床面積 (m ² /戸)
		計	前年 比	計	前年 比	在来軸組		2×4		プレハブ		計	前年 比		
						前年 比	前年 比	前年 比	前年 比	前年 比	前年 比				
2019年	1	5,484	103	3,607	100	2,892	102	611	93	105	104	1,877	108	65.8	94.6
	2	5,828	107	3,818	108	3,077	110	645	103	95	87	2,011	106	65.5	95.4
	3	6,320	113	3,954	106	3,169	107	690	106	95	96	2,366	126	62.6	95.4
	4	6,532	98	4,413	104	3,592	106	708	92	112	112	2,119	86	67.6	97.7
	5	6,126	95	4,210	102	3,441	103	666	98	103	105	1,916	84	68.7	99.7
	6	6,849	105	4,760	109	3,840	111	787	102	133	106	2,089	97	69.5	99.0
	7	6,656	101	4,508	103	3,652	104	738	97	118	95	2,148	97	67.7	97.3
	8	6,397	99	4,175	96	3,378	98	696	89	102	89	2,221	105	65.3	95.6
	9	6,412	99	4,204	96	3,359	96	740	93	104	89	2,208	106	65.6	92.6
	10	6,386	95	4,357	95	3,505	97	743	87	109	83	2,030	97	68.2	93.2
	11	6,036	89	4,253	95	3,411	95	735	93	108	92	1,783	78	70.5	93.8
	12	5,850	92	4,040	93	3,258	95	683	86	99	83	1,810	91	69.1	94.3
2020年	1	4,821	88	3,249	90	2,620	91	547	90	81	78	1,572	84	67.4	96.0
	2	5,194	89	3,442	90	2,796	91	563	87	83	87	1,752	87	66.3	96.1
	3	5,848	93	3,886	98	3,142	99	653	95	92	96	1,962	83	66.4	96.8
	4	5,758	88	3,779	86	3,111	87	584	82	83	74	1,980	93	65.6	97.3
	5	5,195	85	3,441	82	2,833	82	516	77	92	89	1,754	92	66.2	96.6
	6	5,861	86	3,997	84	3,325	87	569	72	104	78	1,864	89	68.2	97.0
	7	5,616	84	3,857	86	3,153	86	606	82	97	83	1,760	82	68.7	95.3
	8	5,466	85	3,643	87	2,982	88	567	81	94	93	1,823	82	66.6	94.8
	9	5,825	91	3,784	90	3,040	90	647	87	97	93	2,040	92	65.0	94.8
	10	5,735	90	3,919	90	3,200	91	627	84	92	85	1,816	89	68.3	94.6
	11	5,750	95	4,097	96	3,351	98	645	88	101	94	1,653	93	71.3	94.4
	12	5,385	92	3,899	96	3,218	99	588	86	93	93	1,486	82	72.4	97.0
2021年	1	4,825	100	3,266	101	2,705	103	492	90	69	85	1,559	99	67.7	97.8
	2	5,045	97	3,473	101	2,881	103	522	93	70	84	1,572	90	68.8	98.0
	3	5,838	100	3,818	98	3,176	101	558	85	85	93	2,020	103	65.4	97.9
	4	6,064	105	3,990	106	3,297	106	610	104	83	100	2,074	105	65.8	97.2
	5	5,852	113	3,983	116	3,282	116	623	121	78	85	1,869	107	68.1	96.8
	6	6,295	107	4,445	111	3,635	109	703	124	107	103	1,849	99	70.6	97.2
	7	6,352	113	4,344	113	3,603	114	656	108	85	87	2,008	114	68.4	97.3
	8	6,147	112	4,251	117	3,476	117	675	119	100	106	1,897	104	69.1	95.3
	9	6,012	103	4,267	113	3,463	114	700	108	104	107	1,746	86	71.0	94.6
	10	6,390	111	4,464	114	3,641	114	716	114	108	116	1,925	106	69.9	96.2
	11	6,143	107	4,310	105	3,556	106	656	102	98	97	1,833	111	70.2	96.0
	12	5,702	106	3,953	101	3,258	101	611	104	84	91	1,749	118	69.3	96.7
2022年	1	4,968	103	3,232	99	2,710	100	464	94	58	84	1,736	111	65.1	95.9
	2	5,282	105	3,416	98	2,851	99	493	94	72	103	1,867	119	64.7	96.5
	3	5,953	102	3,728	98	3,053	96	595	107	80	94	2,225	110	62.6	95.0
	4	6,134	101	3,811	96	3,133	95	595	98	83	100	2,323	112	62.1	96.0
	5	5,566	95	3,713	93	3,075	94	563	90	75	96	1,854	99	66.7	96.6
	6	6,029	96	4,034	91	3,311	91	627	89	96	90	1,995	108	66.9	95.2
	7	5,886	93	3,963	91	3,276	91	598	91	88	104	1,923	96	67.3	94.9
	8	6,180	101	3,970	93	3,269	94	606	90	94	94	2,210	116	64.2	92.5
	9	5,848	97	3,948	93	3,225	93	635	91	88	84	1,901	109	67.5	93.1
	10	6,030	94	3,958	89	3,201	88	664	93	93	86	2,072	108	65.6	92.4
	11	5,806	95	3,870	90	3,152	89	625	95	93	96	1,936	106	66.7	92.7
	12	5,328	93	3,543	90	2,896	89	562	92	84	100	1,786	102	66.5	94.8
2023年	1	5,075	102	3,028	94	2,482	92	478	103	68	117	2,048	118	59.7	93.1
	2	5,201	98	3,243	95	2,633	92	530	108	80	111	1,959	105	62.3	94.0
	3	5,568	94	3,343	90	2,708	89	559	94	76	95	2,225	100	60.0	91.5
	4	5,283	86	3,504	92	2,893	92	524	88	88	106	1,779	77	66.3	94.3
2019年計		74,876	99	50,298	100	40,571	102	8,443	95	1,284	95	24,578	98	67.2	95.7
2020年計		66,454	89	44,991	89	36,770	91	7,111	84	1,110	86	21,463	87	67.7	95.9
2021年計		70,666	106	48,564	108	39,972	109	7,523	106	1,070	96	22,102	103	68.7	96.7
2022年計		69,010	98	45,184	93	37,153	93	7,027	93	1,004	94	23,826	108	65.5	94.5
2019年	第1四半期	17,632	108	11,378	105	9,137	106	1,947	101	295	95	6,254	113	64.5	95.2
	第2四半期	19,507	99	13,383	105	10,873	107	2,161	97	349	108	6,124	89	68.6	98.8
	第3四半期	19,465	100	12,887	98	10,388	100	2,175	93	324	91	6,578	103	66.2	95.2
	第4四半期	18,272	92	12,650	94	10,173	96	2,161	89	316	86	5,622	89	69.2	93.8
2020年	第1四半期	15,863	90	10,577	93	8,558	94	1,763	91	256	87	5,286	85	66.7	96.3
	第2四半期	16,815	86	11,216	84	9,269	85	1,669	77	279	80	5,598	91	66.7	96.9
	第3四半期	16,907	87	11,283	88	9,175	88	1,820	84	289	89	5,623	85	66.7	95.0
	第4四半期	16,870	92	11,915	94	9,769	96	1,859	86	286	91	4,955	88	70.6	95.3
2021年	第1四半期	15,708	99	10,557	100	8,761	102	1,572	89	224	87	5,152	97	67.2	97.9
	第2四半期	18,211	108	12,419	111	10,215	110	1,936	116	268	96	5,792	103	68.2	97.1
	第3四半期	18,512	109	12,862	114	10,541	115	2,031	112	289	100	5,651	100	69.5	95.7
	第4四半期	18,235	108	12,727	107	10,454	107	1,983	107	289	101	5,508	111	69.8	96.3
2022年	第1四半期	16,203	103	10,375	98	8,614	98	1,552	99	209	94	5,828	113	64.0	95.8
	第2四半期	17,729	97	11,558	93	9,519	93	1,785	92	254	95	6,171	107	65.2	95.9
	第3四半期	17,914	97	11,880	92	9,770	93	1,840	91	270	93	6,034	107	66.3	93.5
	第4四半期	17,164	94	11,370	89	9,250	88	1,850	93	270	93	5,794	105	66.2	93.2
2023年	第1四半期	15,844	98	9,613	93	7,823	91	1,567	101	223	107	6,232	107	60.7	92.8

資料:国土交通省「住宅着工統計」

＜参考＞非居住用建築物着工床面積

(單位:千㎡、%)

年次	月	合計		構造別			
			前年比	木造	前年比	非木造	前年比
2019年	1	3,970	101	259	84	3,711	102
	2	3,700	85	243	96	3,457	84
	3	3,334	81	294	105	3,040	79
	4	4,440	96	354	105	4,085	95
	5	4,170	99	327	103	3,844	99
	6	4,641	102	377	102	4,264	102
	7	4,980	100	452	122	4,527	99
	8	3,987	95	479	131	3,508	91
	9	3,609	82	431	96	3,179	80
	10	3,922	85	409	99	3,513	84
	11	3,750	90	386	102	3,364	89
	12	4,184	97	330	92	3,854	98
2020年	1	2,973	75	228	88	2,745	74
	2	3,605	97	230	95	3,374	98
	3	3,718	112	280	95	3,437	113
	4	4,086	92	312	88	3,774	92
	5	4,078	98	259	79	3,818	99
	6	3,798	82	347	92	3,451	81
	7	3,855	77	323	71	3,532	78
	8	3,662	92	371	77	3,291	94
	9	3,891	108	416	97	3,476	109
	10	3,635	93	400	98	3,235	92
	11	3,371	90	346	90	3,025	90
	12	3,565	85	308	93	3,257	85
2021年	1	3,364	113	246	108	3,118	114
	2	3,345	93	241	105	3,104	92
	3	4,272	115	287	103	3,984	116
	4	4,207	103	347	111	3,861	102
	5	4,277	105	307	119	3,970	104
	6	4,275	113	327	94	3,948	114
	7	4,082	106	344	107	3,738	106
	8	3,127	85	299	81	2,828	86
	9	3,700	95	307	74	3,394	98
	10	5,328	147	341	85	4,987	154
	11	3,737	111	293	85	3,444	114
	12	4,747	133	281	91	4,465	137
2022年	1	3,237	96	214	87	3,023	97
	2	3,711	111	223	93	3,488	112
	3	3,627	85	244	85	3,384	85
	4	4,866	116	285	82	4,581	119
	5	3,920	92	318	104	3,602	91
	6	4,788	112	349	107	4,438	112
	7	4,983	122	346	101	4,637	124
	8	3,980	127	327	109	3,653	129
	9	3,589	97	354	115	3,236	95
	10	3,599	68	300	88	3,299	66
	11	3,512	94	299	102	3,213	93
	12	3,391	71	256	91	3,134	70
2023年	1	3,898	120	216	101	3,682	122
	2	3,570	96	224	100	3,346	96
	3	2,803	77	226	93	2,577	76
	4	4,804	99	306	107	4,498	98
2019年計		48,687	93	4,341	103	44,346	92
2020年計		44,237	91	3,820	88	40,415	91
2021年計		48,461	110	3,620	95	44,841	111
2022年計		47,203	97	3,515	97	43,688	97
2019年	第1四半期	11,004	89	796	94	10,208	88
	第2四半期	13,251	99	1,058	103	12,193	99
	第3四半期	12,576	93	1,362	115	11,214	90
	第4四半期	11,856	91	1,125	98	10,731	90
2020年	第1四半期	10,296	94	738	93	9,556	94
	第2四半期	11,962	90	918	87	11,043	91
	第3四半期	11,408	91	1,110	81	10,299	92
	第4四半期	10,571	89	1,054	94	9,517	89
2021年	第1四半期	10,981	107	774	105	10,206	107
	第2四半期	12,759	107	981	107	11,779	107
	第3四半期	10,909	96	950	86	9,960	97
	第4四半期	13,812	131	915	87	12,896	136
2022年	第1四半期	10,575	96	681	88	9,895	97
	第2四半期	13,574	106	952	97	12,621	107
	第3四半期	12,552	115	1,027	108	11,526	116
	第4四半期	10,502	76	855	93	9,646	75
2023年	第1四半期	10,271	97	666	98	9,605	97

資料：国土交通省「建築着工統計調査報告」

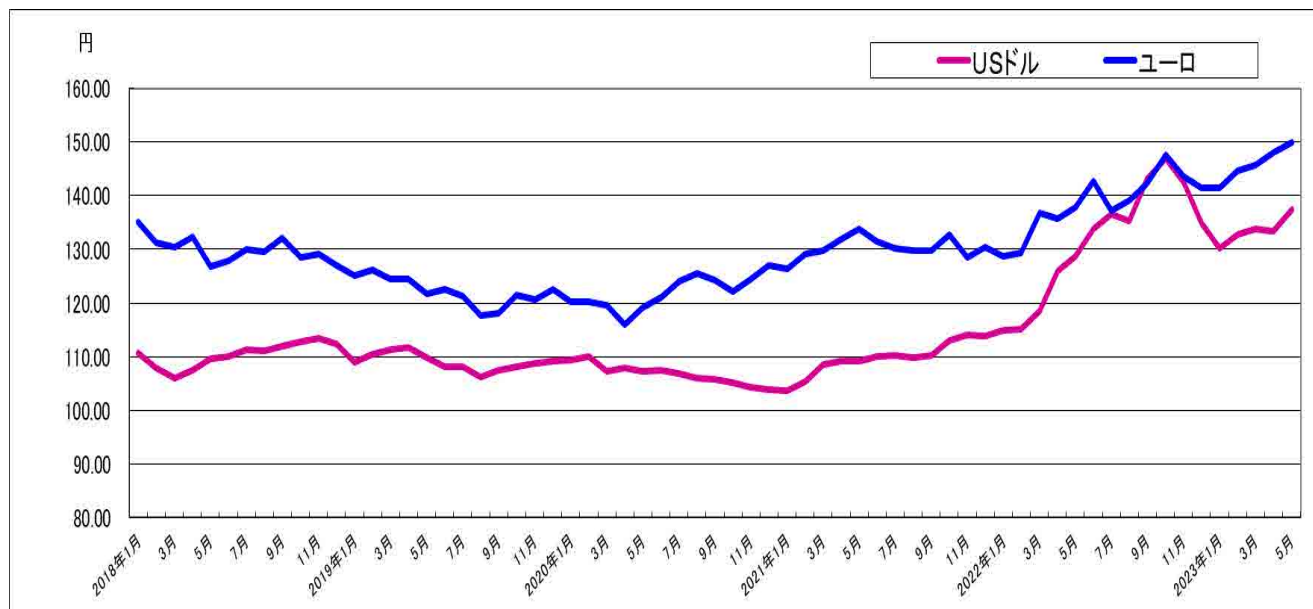
基礎的指標-3 木材産業の業況

- 2022年は、木材産業の倒産件数が13件（前年比68%）、負債金額が7,645百万円（同177%）。
- 2023年1～4月は、木材産業の倒産件数が11件（前年同期比157%）、負債金額が2,846百万円（同58%）。

年・月	企業倒産状況								
	全 企 業				木材・木製品業				
	件数 (件)	前年 比(%)	負債金額 (百万円)	前年 比(%)	件数 (件)	前年 比(%)	負債金額 (百万円)	前年 比(%)	
2020年	1	773	116	124,734	74	0	-	0	-
	2	651	111	71,283	36	0	-	0	-
	3	740	112	105,949	109	1	100	300	56
	4	743	115	144,990	136	10	500	1,280	161
	5	314	45	81,336	76	2	67	320	40
	6	780	106	128,816	148	4	400	444	753
	7	789	98	100,821	108	1	20	89	26
	8	667	98	72,416	83	2	67	150	54
	9	565	80	70,740	63	1	17	637	66
	10	624	80	78,342	88	2	100	57	63
	11	569	78	102,101	83	3	150	550	117
	12	558	79	138,518	88	1	25	25	5
2021年	1	474	61	81,388	65	2	-	180	-
	2	446	69	67,490	95	0	-	0	-
	3	634	86	141,453	134	3	300	327	109
	4	477	64	84,098	58	4	40	50	4
	5	472	150	168,664	207	1	50	120	38
	6	541	69	68,566	53	5	125	3,296	742
	7	476	60	71,465	71	0	-	0	-
	8	466	70	90,973	126	1	50	10	7
	9	505	89	90,860	128	2	200	230	36
	10	525	84	98,464	126	0	-	0	-
	11	510	90	94,101	92	0	-	0	-
	12	504	90	93,181	67	1	100	100	400
2022年	1	452	95	66,940	82	1	50	13	7
	2	459	103	70,989	105	0	-	0	-
	3	593	94	169,673	120	4	133	2,010	615
	4	486	102	81,253	97	2	50	2,900	5,800
	5	524	111	87,380	52	1	100	180	150
	6	546	101	1,232,583	1,798	0	-	0	-
	7	494	104	84,570	118	0	-	0	-
	8	492	106	111,428	122	1	100	1,880	18,800
	9	599	119	144,871	159	1	50	45	20
	10	596	114	86,995	88	1	-	200	-
	11	581	114	115,589	123	1	-	86	-
	12	606	120	79,172	85	1	100	331	331
2023年	1	570	126	56,524	84	3	300	230	1,769
	2	577	126	96,580	136	1	-	154	-
	3	809	136	147,434	87	4	100	1,340	67
	4	610	126	203,861	251	3	150	1,122	39
2020年計		7,773	93	1,220,046	86	27	90	3,852	79
2021年計		6,030	78	1,150,703	94	19	70	4,313	112
2022年計		6,428	107	2,331,443	203	13	68	7,645	177
2020年	第1四半期	2,164	113	301,966	65	1	50	300	55
	第2四半期	1,837	89	355,142	118	16	267	2,044	124
	第3四半期	2,021	93	243,977	83	4	29	876	55
	第4四半期	1,751	79	318,961	87	6	75	632	57
2021年	第1四半期	1,554	72	290,331	96	5	500	507	169
	第2四半期	1,490	81	321,328	90	10	63	3,466	170
	第3四半期	1,447	72	253,298	104	3	75	240	27
	第4四半期	1,539	88	285,746	90	1	17	100	16
2022年	第1四半期	1,504	97	307,602	106	5	100	2,023	399
	第2四半期	1,556	104	1,401,216	436	3	30	3,080	89
	第3四半期	1,585	110	340,869	135	2	67	1,925	802
	第4四半期	1,783	116	281,756	99	3	300	617	617
2023年	第1四半期	1,956	130	300,538	98	8	160	1,724	85

資料：東京商工リサーチ「TSR情報（全国企業倒産状況）」

- 2023年5月の為替相場は、1ドル137.37円、1ユーロ150.04円。



(単位:円)

年月	USドル	ユーロ
2018年1月	110.77	135.08
2月	107.82	131.28
3月	106.00	130.52
4月	107.43	132.39
5月	109.69	126.73
6月	110.03	127.91
7月	111.37	129.93
8月	111.06	129.56
9月	111.89	132.14
10月	112.78	128.43
11月	113.37	129.19
12月	112.45	127.00
2019年1月	108.95	125.15
2月	110.36	126.09
3月	111.21	124.56
4月	111.66	124.38
5月	109.83	121.74
6月	108.06	122.49
7月	108.22	121.19
8月	106.27	117.63
9月	107.41	118.02
10月	108.12	121.46
11月	108.86	120.59
12月	109.18	122.54
2020年1月	109.34	120.30
2月	109.96	120.32
3月	107.29	119.55
4月	107.93	116.00
5月	107.31	119.13
6月	107.56	121.08
7月	106.78	124.13
8月	106.04	125.47
9月	105.74	124.17
10月	105.24	122.14
11月	104.40	124.38
12月	103.82	126.95

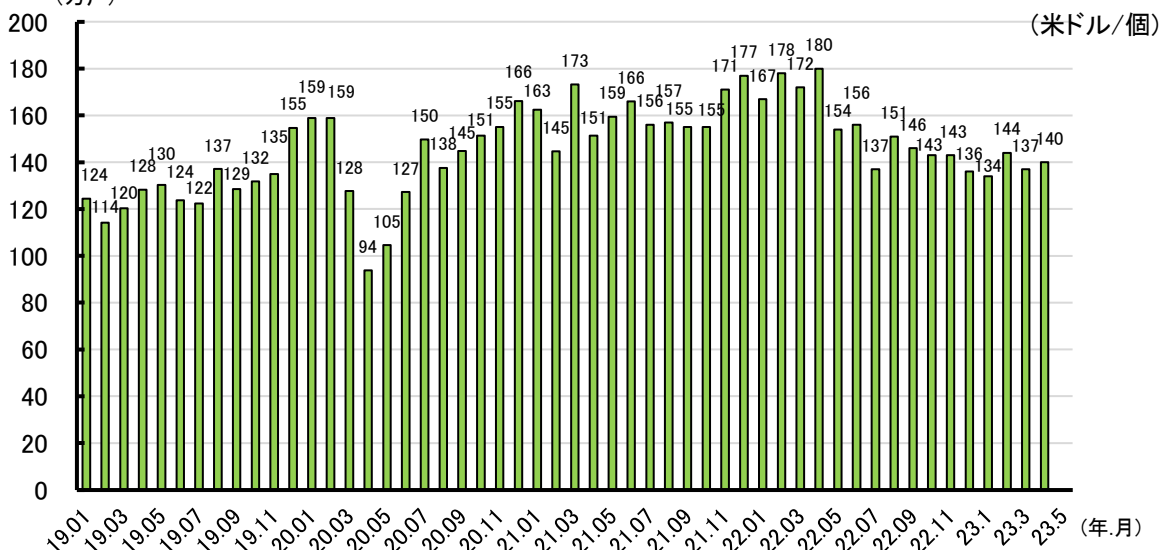
(単位:円)

年月	USドル	ユーロ
2021年1月	103.70	126.48
2月	105.36	129.15
3月	108.65	129.80
4月	109.13	131.99
5月	109.19	133.74
6月	110.11	131.58
7月	110.29	130.11
8月	109.84	129.69
9月	110.17	129.86
10月	113.10	132.77
11月	114.13	128.41
12月	113.87	130.51
2022年1月	114.83	128.66
2月	115.20	129.34
3月	118.51	136.70
4月	126.04	135.83
5月	128.78	137.76
6月	133.86	142.67
7月	136.63	137.25
8月	135.24	139.03
9月	143.14	142.32
10月	147.01	147.59
11月	142.44	143.58
12月	134.93	141.47
2023年1月	130.20	141.56
2月	132.68	144.61
3月	133.85	145.72
4月	133.33	148.04
5月	137.37	150.04

資料：USドルは日銀 主要時系列統計データ表 為替相場（東京市場 スポットレート 中心相場 月中平均）、ユーロは日銀「金融経済統計月報」対顧客為替相場。

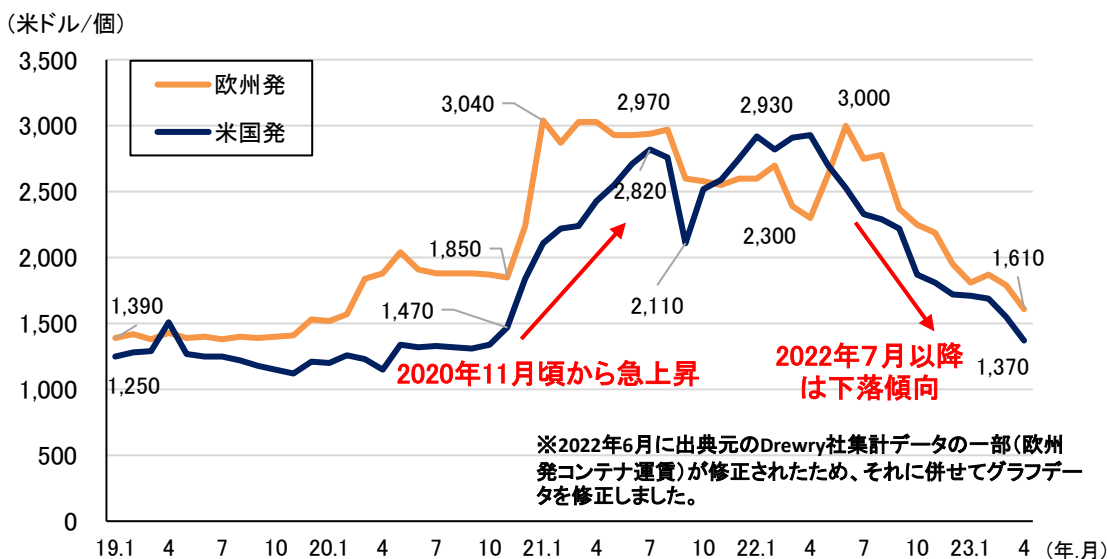
- 米国の住宅着工戸数(戸建て計)は、新型コロナウイルス感染症の影響により2020年4月に急落した。その後、コロナ禍による在宅需要の増加と住宅ローンの低金利により、2020年5月から増加傾向が続き、2022年4月には180万戸(年率換算)を記録。2022年5月からは、住宅ローン金利が急騰したことにより、下落傾向が続いていたが、2023年4月は前月比102%の140万戸となった。
- 世界的なコンテナ不足により、海上輸送運賃が急激に上昇。日本向けコンテナ運賃は、2020年11月頃から急上昇し、その後は欧州発、米国発ともに高値を維持していたが、2022年7月以降は下落傾向が続いている。

○米国における住宅着工戸数
(万戸)



資料: (住宅着工戸数)米国商務省「住宅着工統計」(季節調整済み、年率換算、戸建て計)

○日本向けコンテナ運賃の推移



※2022年6月に出典元のDrewry社集計データの一部(欧州発コンテナ運賃)が修正されたため、それに併せてグラフデータを修正しました。

注: 40ftコンテナ。「米国発」はLos Angeles発横浜着、「欧州発」はRotterdam発横浜着。

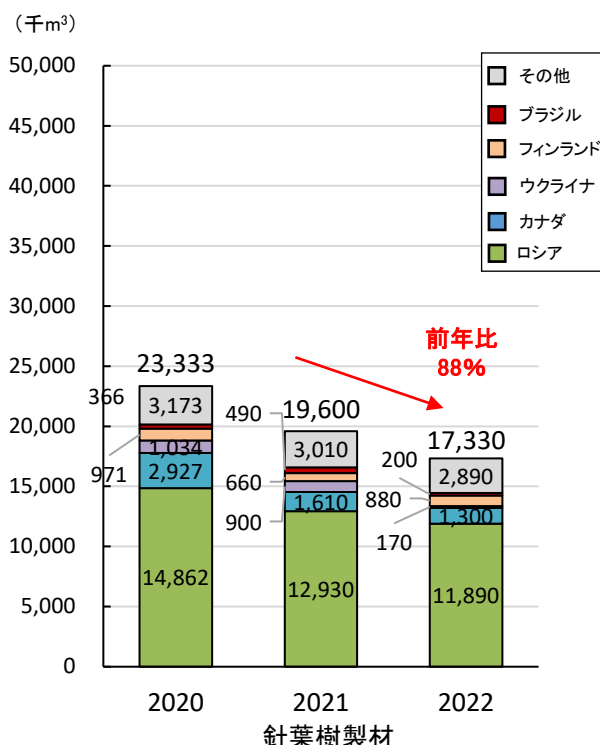
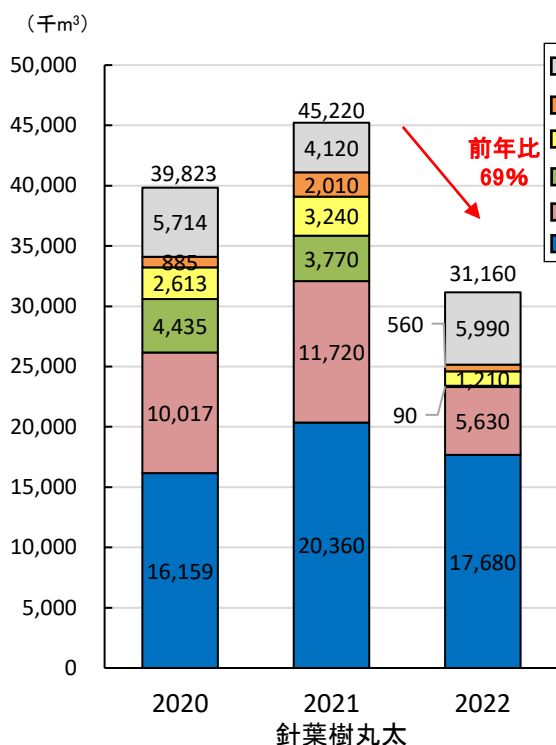
出典: Drewry「Container Freight Rate Insight」

資料: 日本海事センター「主要航路コンテナ運賃動向」

基礎的指標-6 中国の木材輸入量、EUにおける建設活動水準

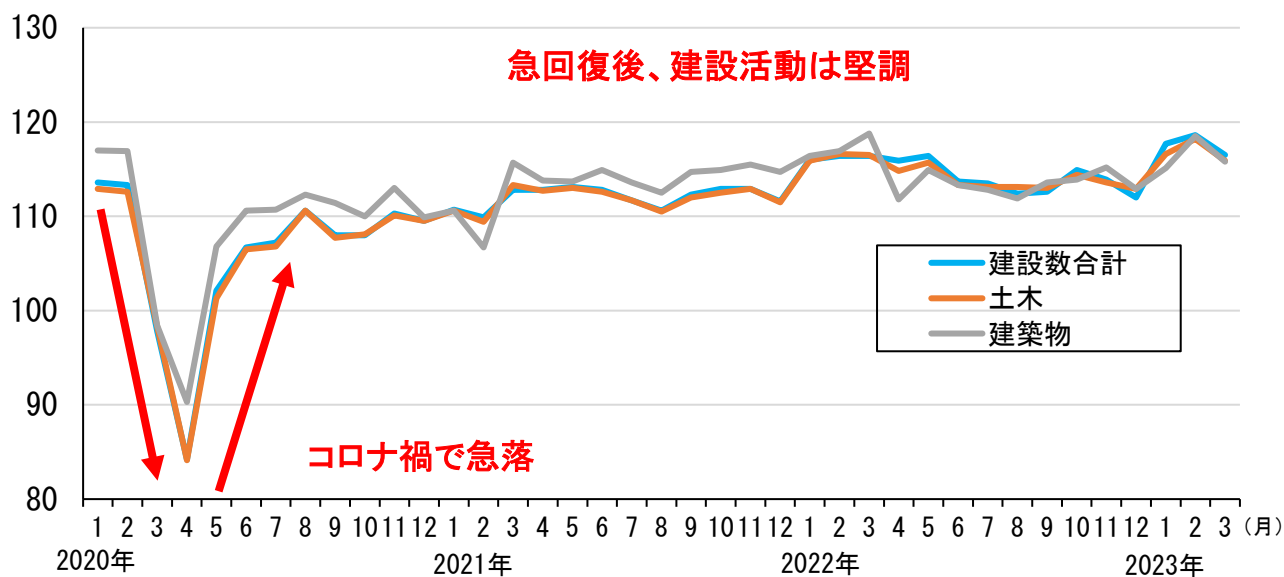
- 2022年の中国における針葉樹丸太輸入量は、前年比69%の31,160千m³。針葉樹製材輸入量は、前年比88%の17,330千m³。輸入量減少の主な要因として、産地側の事情とともに、中国当局による新型コロナウイルス感染防止のためのロックダウン（都市封鎖）に伴う総需要量の後退が影響。
- EUでは、コロナ禍により、2020年春に建設活動が急激に低下したが、同年夏以降は回復して、以後、堅調に推移。

○中国の木材輸入量（2020年～2022年）



資料: ITTO (Tropical Timber Market Report, Vol.26 (3) (5), Vol 27 (3) (4))

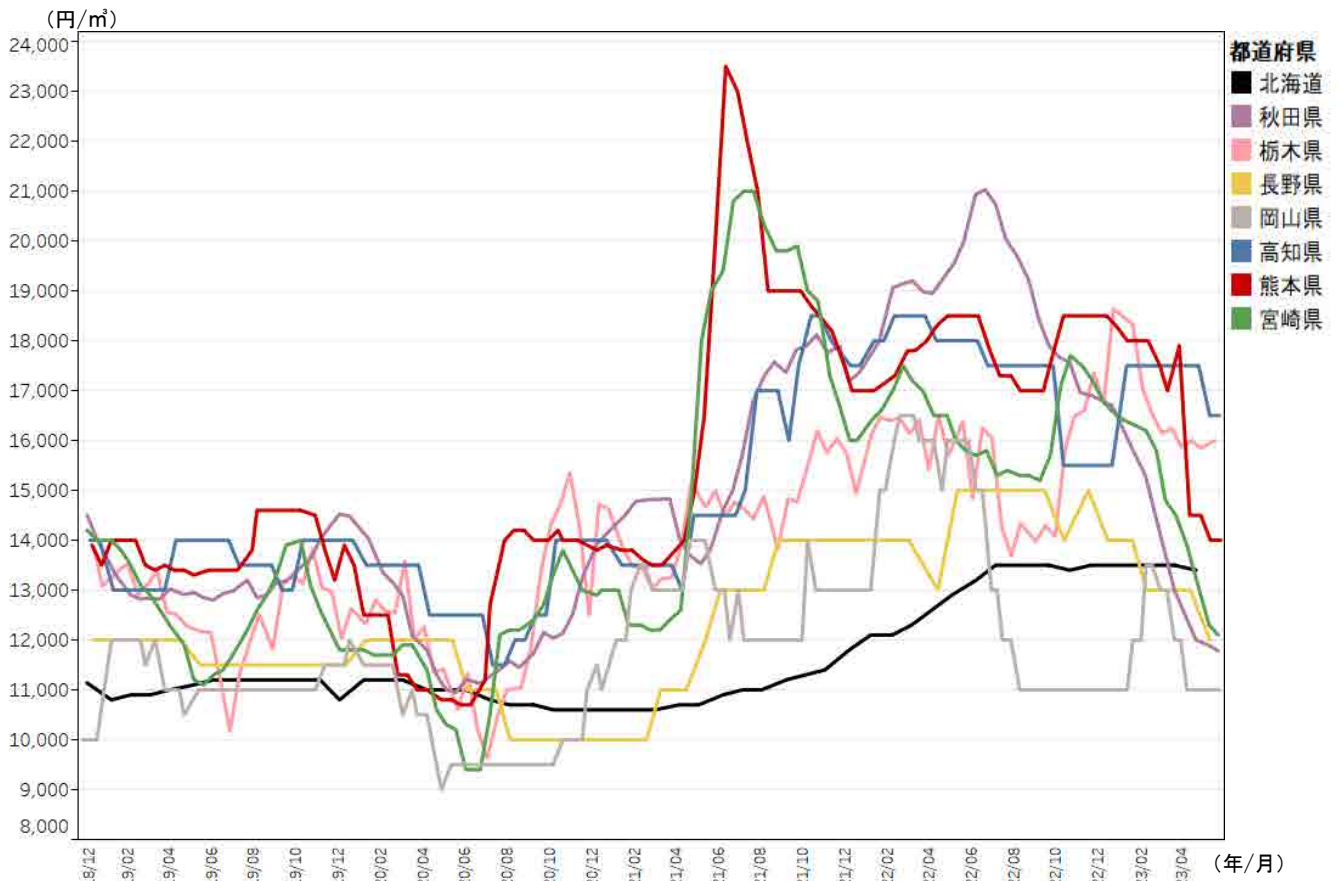
○EUにおける建設活動水準（2015年比）
2015年=100



資料: Eurostat (Production in construction - monthly data)

木材価格情報-1 スギ原木の主要市場価格

- 全国の原木市場・共販所において、直近のスギ原木価格は、11,000円～16,500円/㎡となっている。



資料：林野庁木材産業課調べ

注1：北海道はカラマツ（工場着価格）。

注2：径24cm程度、長さ3.65～4.0m（2018年12月～）。

注3：都道府県が選定した特定原木市場・共販所の価格。

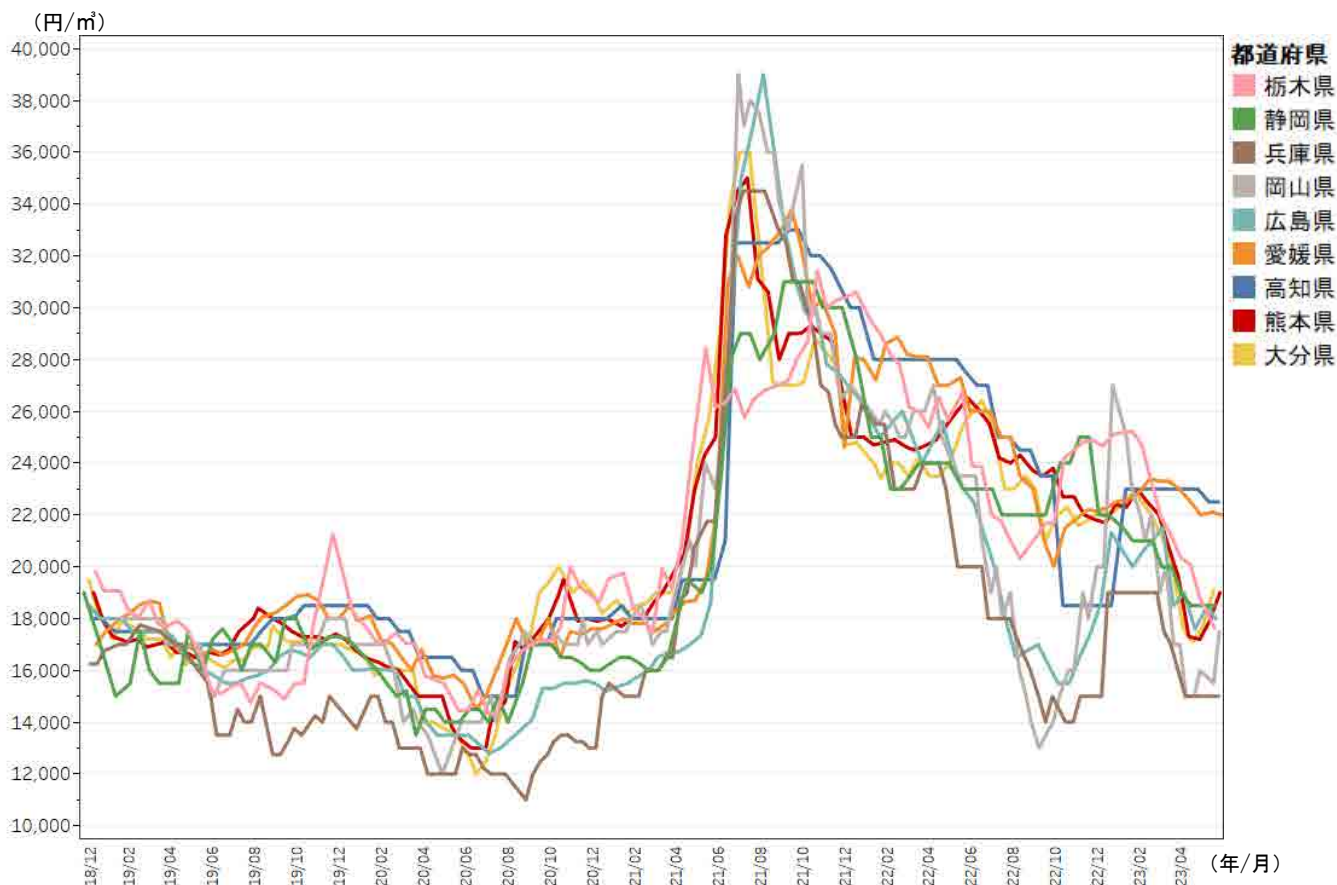
（単位：円/㎡）

都道府県	2023年直近*	前年同期	前年同期比
■ 北海道	13,400	12,600	106%
■ 秋田県	11,780	19,980	59%
■ 栃木県	16,000	16,380	98%
■ 長野県	12,000	15,000	80%
■ 岡山県	11,000	16,000	69%
■ 高知県	16,500	18,000	92%
■ 熊本県	14,000	18,500	76%
■ 宮崎県	12,100	15,800	77%

※北海道については4月、秋田県、栃木県、長野県、岡山県、高知県、熊本県及び宮崎県については5月の値を使用。

木材価格情報-1 ヒノキ原木の主要市場価格

- 全国の原木市場・共販所において、直近のヒノキ原木価格は、15,000円～22,500円/m³となっている。



資料：林野庁木材産業課調べ

注1：径24cm程度、長3.65～4.0m（2018年12月～）

注2：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。

(単位：円/m³)

都道府県	2023年直近※	前年同期	前年同期比
栃木県	17,650	26,750	66%
静岡県	18,500	23,000	80%
兵庫県	15,000	20,000	75%
岡山県	17,500	23,500	74%
広島県	18,000	23,000	78%
愛媛県	22,000	26,000	85%
高知県	22,500	27,500	82%
熊本県	19,000	26,500	72%
大分県	19,100	25,400	75%

※各県5月の値を使用。

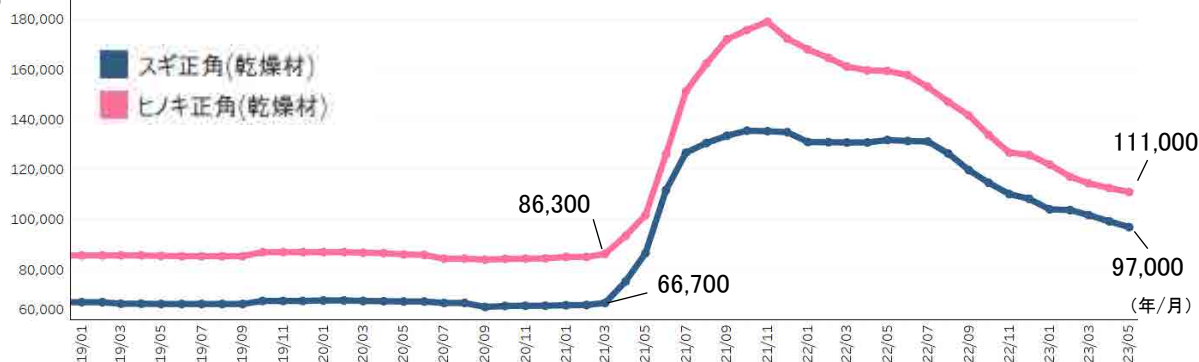
木材価格情報-2 木材価格（農林水産統計）

- 主な製材品及び針葉樹合板の全国平均価格は、いわゆるウッドショック（2021年3月）以前と比較すると、高い水準で推移。
- 2023年5月の正角（乾燥材）の価格について、スギは97,000円/m³（前年同期比74%）、ヒノキは111,000円/m³（同70%）。
- 同月の間柱（乾燥材）の価格は、スギは93,300円/m³（前年同期比76%）、ホワイトウッドは93,800円/m³（同70%）。
- 同年3月の針葉樹合板の価格は、2,210円/枚（前年同月比107%）。

■主な製材品等の価格推移（全国平均価格）

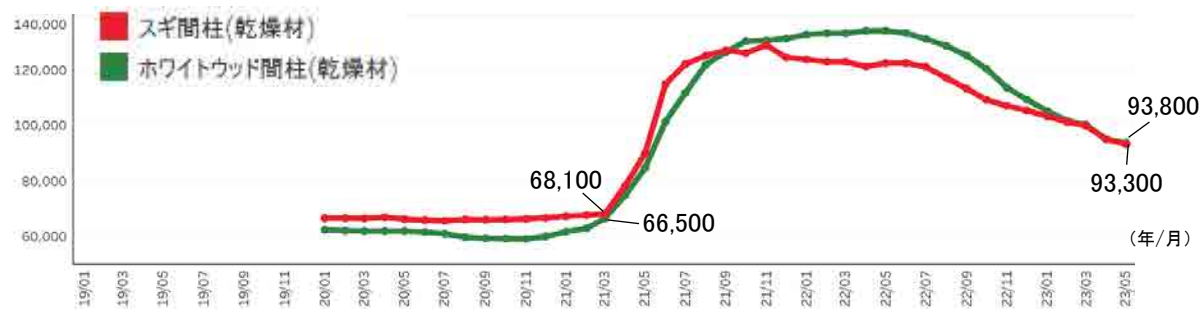
○正角（乾燥材）※厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級

(円/m³)



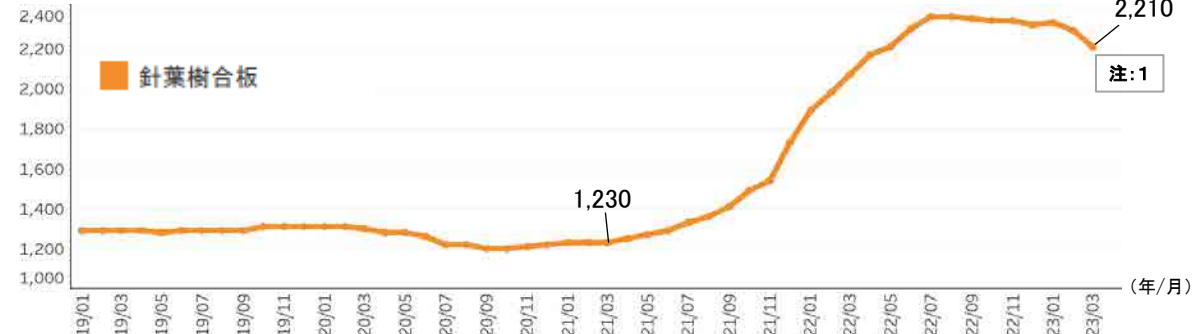
○間柱（乾燥材）※厚3.0cm、幅10.5cm、長3.0m、特等

(円/m³)



○針葉樹合板 ※厚1.2cm、幅91.0cm、長1.82m、1類

(円/枚)



資料：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」

注：1 針葉樹合板は、2022年1月より、四半期ごとの公表となった（4月に1～3月分、7月に4～6月分、10月に7～9月分、翌1月に10～12月分を公表）。

2 製材品価格及び合板価格は、木材市売市場にあたってはせり又は入札による取引価格、木材センター及び木材販売業者にあたっては店頭渡し価格である。

3 2023年は「木材価格」に拠る速報値、2022年以前は「木材需給報告書」に拠る確定値である。（速報値は今後修正される可能性がある）

(2) 都道府県別価格

○スギ中丸太（製材用、径14.0～22.0cm、長3.65～4.0m）

・2022年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
青森	12,100	12,100	14,300	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400
岩手	15,400	16,100	16,400	16,700	17,400	17,900	17,800	17,800	17,500	17,500	17,300	17,300
宮城	15,400	15,600	16,200	17,000	17,000	15,900	14,800	14,800	14,800	14,800	14,800	14,800
秋田	13,500	14,600	14,700	14,900	15,100	15,100	15,100	15,200	15,000	14,700	14,700	14,500
山形	17,100	17,200	17,200	18,100	18,400	18,400	19,400	19,400	19,300	19,200	19,200	20,500
福島	14,600	14,600	14,600	13,400	13,200	13,500	14,100	13,400	13,200	13,000	13,200	13,000
栃木	16,500	16,500	16,500	16,500	16,500	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	16,500
岐阜	16,600	16,600	16,600	17,700	18,300	18,300	18,300	18,300	18,300	18,300	18,300	18,300
静岡	18,200	18,500	18,800	18,900	19,300	19,300	18,900	18,300	18,400	19,000	19,200	18,900
三重	17,100	17,300	17,400	18,100	18,600	18,200	17,400	16,600	15,900	16,000	15,900	16,400
奈良	16,800	16,800	16,800	17,900	17,900	17,900	17,400	16,900	16,900	15,800	14,300	14,800
岡山	13,800	13,800	13,800	13,800	15,300	15,300	14,300	14,000	14,000	14,000	14,000	14,300
徳島	17,600	17,600	17,600	17,600	17,600	17,600	17,600	17,600	17,600	17,600	16,700	16,700
愛媛	18,600	20,800	22,900	23,000	22,900	22,900	20,800	20,800	20,800	19,700	18,700	18,700
佐賀	17,000	17,000	17,600	17,600	17,600	17,600	17,100	17,100	17,100	17,100	17,000	17,000
熊本	19,400	21,400	21,400	19,000	21,300	21,700	21,400	21,600	22,200	25,800	21,900	21,400
大分	18,800	19,500	18,600	17,800	18,000	17,700	17,500	17,900	18,500	18,300	18,500	17,900
宮崎	17,200	17,800	18,000	17,700	17,700	17,700	17,500	16,800	16,900	17,900	19,000	18,000
鹿児島	18,800	18,300	18,300	18,300	18,800	18,700	18,700	18,500	17,600	18,300	18,800	18,800

・2023年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月
青森	14,400	13,300	13,300	13,300	13,300
岩手	17,300	17,000	16,700	15,000	14,600
宮城	14,800	14,200	14,500	13,700	13,700
秋田	14,300	13,800	13,400	12,600	12,400
山形	20,500	20,500	20,300	20,400	18,800
福島	13,200	13,300	12,100	12,000	12,500
栃木	16,500	16,500	15,400	14,800	14,300
岐阜	18,300	18,300	17,000	18,500	16,900
静岡	18,600	18,300	18,200	17,900	17,200
三重	16,600	16,900	16,800	17,200	16,400
奈良	15,800	15,300	15,300	15,300	13,800
岡山	14,000	14,000	14,000	13,000	13,100
徳島	16,700	16,700	16,700	16,700	16,700
愛媛	18,700	18,700	18,700	17,600	16,600
佐賀	16,500	16,500	16,700	16,100	15,400
熊本	20,800	20,800	20,800	19,100	18,100
大分	17,900	18,200	17,300	16,300	15,500
宮崎	17,900	17,800	16,500	15,500	14,600
鹿児島	18,800	18,800	18,700	17,300	15,000

○ヒノキ中丸太（製材用、径14.0～22.0cm、長3.65～4.0m）

・2022年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
福島	35,500	34,900	34,400	32,800	32,800	30,600	27,400	25,100	21,500	21,400	22,900	23,000
茨城	29,400	28,300	28,000	28,000	27,800	26,800	24,500	21,900	21,000	21,200	21,800	22,300
栃木	31,100	31,000	30,000	29,700	29,700	28,700	28,700	26,400	26,400	26,500	26,500	25,500
岐阜	30,500	28,900	28,900	28,900	27,600	27,000	26,600	25,600	24,400	24,400	23,600	23,600
静岡	33,300	31,000	29,400	29,400	28,900	28,500	27,600	27,500	26,200	25,900	27,200	26,000
三重	25,600	26,900	27,000	27,200	26,200	24,500	22,800	22,300	22,000	21,500	22,500	22,600
兵庫	33,000	32,900	30,700	30,600	30,600	30,500	27,200	27,200	27,100	24,900	25,000	25,000
奈良	29,900	29,900	30,000	28,900	27,800	26,800	23,800	21,800	19,800	19,800	20,900	23,900
和歌山	25,900	25,900	25,900	25,900	25,500	25,500	23,700	22,900	22,900	22,200	22,200	21,900
岡山	22,300	22,000	26,200	27,900	24,900	24,400	23,900	22,500	16,500	17,000	21,300	21,700
広島	35,900	28,900	28,600	28,200	27,300	26,700	26,800	26,200	21,500	20,400	19,400	19,800
愛媛	30,100	29,000	28,200	27,200	28,100	28,200	27,700	24,900	22,000	21,300	19,900	19,900
高知	29,900	29,100	27,200	27,400	27,200	26,400	26,800	26,500	22,600	21,200	20,200	20,400
熊本	30,300	27,600	27,500	27,100	28,100	28,200	26,800	25,400	25,600	25,400	25,500	24,600
大分	27,300	25,100	23,400	19,800	17,600	15,400	19,000	18,700	18,700	18,700	18,400	17,500
宮崎	31,200	30,100	27,500	25,300	24,800	25,000	23,900	22,100	22,000	22,600	23,700	23,000

・2023年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月
福島	25,600	25,500	23,400	21,300	20,700
茨城	23,300	23,500	22,400	21,200	20,200
栃木	25,700	25,700	24,400	23,200	20,900
岐阜	22,300	22,300	22,300	21,700	20,800
静岡	24,900	24,600	23,300	22,700	21,800
三重	23,500	23,600	23,200	21,400	19,600
兵庫	25,000	25,000	25,100	22,900	21,800
奈良	26,900	26,800	26,800	25,900	21,900
和歌山	22,000	21,900	21,800	20,500	20,100
岡山	25,900	25,100	24,500	23,800	20,700
広島	22,800	25,100	24,500	23,700	23,000
愛媛	20,000	20,200	20,700	20,600	20,300
高知	21,700	21,500	22,000	22,400	22,400
熊本	25,700	25,700	24,900	22,700	22,500
大分	18,400	17,900	18,000	18,200	16,900
宮崎	21,900	22,600	22,900	21,900	20,700

資料：農林水産省「木材価格」

注1：「x」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

注2：年間を通じて価格を「x」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

○カラマツ中丸太（製材用、径14.0~28.0cm、長3.65~4.0m）

・2022年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道	13,700	13,600	13,800	14,000	14,500	15,800	15,500	15,700	15,500	15,600	15,600	15,800
岩手	21,200	23,900	25,300	25,500	31,500	32,000	32,200	30,500	30,500	30,100	28,200	25,700

・2023年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月
北海道	15,500	15,400	15,400	15,300	15,300
岩手	25,700	25,700	25,600	25,500	25,400

○スギ丸太（合板用、径18.0cm上）

・2022年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
岩手	12,600	13,300	14,100	14,100	14,100	15,100	14,500	13,800	13,800	13,800	13,800	13,100
宮城	15,300	16,400	16,400	16,400	16,400	16,400	16,400	16,400	16,400	16,400	16,400	16,400
秋田	14,100	16,700	17,200	17,900	17,800	17,800	18,100	17,800	17,100	16,900	16,200	16,200
島根	14,300	14,900	15,000	15,300	15,600	15,500	15,700	15,400	15,300	15,400	15,200	15,200

・2023年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月
岩手	13,100	13,100	13,100	12,700	12,200
宮城	16,400	16,400	16,400	16,400	16,100
秋田	16,100	16,000	16,000	15,900	15,900
島根	15,000	15,100	15,100	15,000	14,800

○スギ正角（厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級）

・2022年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
千葉			88,000			88,000			77,300			77,300
東京			58,800			58,800			57,300			53,500
大阪			103,100			103,100			103,100			103,100
福岡			58,600			60,500			58,600			56,700

・2023年

都道府県	1月	2月	3月
千葉			77,000
東京			53,500
大阪			81,500
福岡			56,400

※2022年1月より四半期ごとの公表（4月に3月分、7月に6月分、10月に9月分、翌1月に12月分を公表）。

○スギ正角・乾燥材（厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級）

・2022年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
埼玉	125,700	125,200	125,200	125,500	125,500	124,400	123,700	112,200	109,800	96,100	95,700	95,400
千葉	146,100	146,100	146,100	140,800	140,800	140,800	140,800	135,500	135,500	134,700	132,400	131,600
東京	148,900	148,900	148,900	148,900	148,900	148,900	148,800	148,800	132,800	132,400	126,800	121,000
神奈川	153,100	153,000	153,000	153,000	153,000	152,300	151,600	151,500	146,300	139,800	134,000	134,000
愛知	116,100	116,100	114,800	114,800	120,100	120,100	120,100	117,300	114,400	110,500	109,700	108,300
大阪	111,900	111,900	111,900	112,500	122,300	121,700	121,700	111,900	111,900	110,000	105,200	105,200
兵庫	142,900	142,900	142,900	142,900	146,000	143,700	143,700	134,300	131,200	128,000	122,600	119,400
福岡	120,400	120,400	120,400	120,400	120,400	120,300	120,300	117,600	113,800	110,100	102,800	102,800

・2023年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月
埼玉	94,400	94,400	93,300	92,000	86,300
千葉	130,800	120,200	120,200	107,800	107,800
東京	109,800	109,800	109,800	109,400	109,400
神奈川	128,700	128,300	128,200	118,600	109,400
愛知	106,900	105,700	104,300	98,500	98,400
大阪	99,700	99,000	93,600	93,600	93,600
兵庫	111,600	111,600	111,600	102,200	98,200
福岡	102,800	102,800	98,300	94,500	92,600

資料：農林水産省「木材価格」

注1：2021年8月より、東京都の調査対象が変更になったことから、2021年7月及び8月の東京都のスギ正角の数値は接続しない。

注2：「x」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

注3：年間を通じて価格を「x」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

注4：スギ正角の価格は、2022年1月より四半期ごとの公表となった（4月に3月分、7月に6月分、10月に9月分、翌1月に12月分を公表）。

○ヒノキ正角（厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級）

・2022年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
千葉			98,200			98,100			92,000			91,000
東京			x			x			x			x
愛知			94,800			94,800			93,500			93,500
大阪			119,700			112,100			107,900			100,300
兵庫			116,300			114,300			106,300			95,500
福岡			82,500			86,600			84,200			82,500

単位：円/m³

・2023年

都道府県	1月	2月	3月
千葉			81,100
東京			x
愛知			93,500
大阪			78,500
兵庫			95,500
福岡			82,500

※2022年1月より四半期ごとの公表（4月に3月分、7月に6月分、10月に9月分、翌1月に12月分を公表）。

○ヒノキ正角・乾燥材（厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級）

・2022年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
埼玉	145,600	142,500	142,500	142,500	142,500	141,800	139,800	128,600	122,800	110,100	109,700	109,700
千葉	171,400	169,100	169,100	164,800	164,800	164,800	164,800	158,100	158,100	156,100	150,200	150,200
東京	175,500	175,400	175,400	175,500	175,500	175,500	175,200	175,200	164,600	164,200	153,400	153,400
神奈川	187,400	185,300	185,300	185,300	185,300	181,900	178,600	173,300	167,300	151,900	146,500	145,600
愛知	159,400	159,400	151,900	149,700	149,700	149,700	137,000	131,600	130,700	124,600	117,000	115,100
大阪	176,400	169,900	163,600	162,600	161,700	159,800	154,400	152,600	147,000	137,800	130,600	130,600
兵庫	184,800	178,400	173,900	168,100	168,100	161,200	156,600	143,000	138,400	131,500	117,900	113,300

単位：円/m³

・2023年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月
埼玉	108,400	108,400	107,200	106,200	101,900
千葉	150,200	146,800	146,800	x	x
東京	153,200	142,700	142,400	142,000	142,000
神奈川	138,900	133,700	133,600	131,800	131,500
愛知	114,900	109,800	107,200	105,600	105,400
大阪	118,900	110,700	104,400	104,400	104,400
兵庫	112,600	112,600	112,000	107,400	102,900

○米ツガ正角・防腐処理材（厚10.5cm、幅10.5cm、長4.0m、2級）

・2022年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道			135,700			138,000			138,000			138,000
埼玉			144,700			148,800			151,900			147,200
千葉			139,800			142,400			142,400			140,700
東京			154,400			154,400			154,400			154,000
神奈川			142,200			143,100			143,100			140,800
愛知			158,300			158,300			145,500			143,000
大阪			121,000			132,000			132,000			132,000
兵庫			138,500			141,800			141,800			145,000

単位：円/m³

・2023年

都道府県	1月	2月	3月
北海道			139,800
埼玉			141,400
千葉			131,200
東京			148,100
神奈川			138,300
愛知			132,000
大阪			132,000
兵庫			138,300

※2022年1月より四半期ごとの公表（4月に3月分、7月に6月分、10月に9月分、翌1月に12月分を公表）。

資料：農林水産省「木材価格」

注1：「x」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

注2：年間を通じて価格を「x」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

注3：ヒノキ正角、米ツガ正角・防腐処理材の価格は、2022年1月より四半期ごとの公表となった（4月に3月分、7月に6月分、10月に9月分、翌1月に12月分を公表）。

○スギ間柱・乾燥材（厚3.0cm、幅10.5cm、長3.0m、特等）

・2022年 単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
埼玉	115,400	113,300	113,300	116,600	120,600	120,100	116,900	111,200	103,800	99,500	96,100	96,100
千葉	120,300	120,300	120,300	120,200	120,200	120,200	120,200	115,200	110,300	107,500	103,600	102,800
東京	129,300	129,300	129,300	129,300	129,300	129,300	122,200	122,200	120,900	115,400	107,500	104,800
神奈川	134,400	132,900	132,900	132,900	132,900	131,800	131,300	128,900	122,200	117,500	116,100	114,900
愛知	121,800	119,300	119,300	119,300	120,500	120,500	120,500	113,700	110,300	106,900	106,500	102,400
大阪	112,200	112,200	112,200	112,200	121,000	118,800	118,800	110,000	110,000	110,000	105,600	101,200
兵庫	137,000	137,000	137,000	137,000	142,400	142,400	137,200	131,900	126,600	121,200	121,100	115,700
広島	167,200	167,200	167,200	141,900	138,100	140,800	140,800	140,800	138,500	127,300	127,300	125,300
福岡	107,100	107,100	107,100	107,100	106,900	106,900	106,900	105,900	105,900	104,900	104,900	104,900

・2023年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月
埼玉	95,000	92,900	92,200	87,100	86,200
千葉	102,400	98,700	96,200	85,500	82,100
東京	96,800	96,700	96,500	89,400	89,400
神奈川	111,200	107,900	106,700	106,100	106,100
愛知	97,700	93,700	93,700	99,500	99,500
大阪	95,700	95,700	94,600	94,600	93,500
兵庫	110,500	110,500	105,200	99,600	99,600
広島	124,700	121,500	121,000	120,400	113,500
福岡	104,500	104,500	103,700	95,800	95,100

○ホワイトウッド間柱・乾燥材（厚3.0cm、幅10.5cm、長3.0m、特等）

・2022年 単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
埼玉	111,300	111,300	111,300	121,000	122,400	122,400	119,000	114,700	111,500	107,800	99,900	95,200
千葉	148,000	148,000	148,000	148,000	148,000	148,000	148,000	145,600	143,800	134,800	134,600	127,700
東京	147,300	147,300	147,300	147,300	147,300	147,300	147,300	147,300	144,400	131,300	130,000	122,900
神奈川	139,200	137,800	137,800	137,800	138,500	139,000	136,700	136,000	133,000	125,300	121,700	121,700
愛知	126,900	128,100	128,100	127,900	127,900	127,200	126,900	126,500	122,200	115,200	106,700	101,200
大阪	132,000	132,000	132,000	132,000	132,000	126,900	121,600	115,500	110,600	110,000	104,500	99,000
兵庫	140,400	143,200	143,200	143,200	143,200	143,200	140,400	137,500	134,600	134,600	115,700	112,900
広島	126,300	126,300	126,300	125,600	121,500	125,600	125,400	124,300	122,400	122,400	119,700	117,600

・2023年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月
埼玉	94,700	93,200	91,600	87,600	84,200
千葉	125,000	122,600	121,700	100,500	100,200
東京	121,200	120,000	119,100	118,200	117,400
神奈川	118,700	113,200	110,600	109,900	109,900
愛知	97,400	91,000	90,300	89,300	86,700
大阪	93,500	93,100	92,900	87,700	87,600
兵庫	104,500	101,600	98,800	90,600	90,600
広島	112,300	105,400	102,800	102,800	100,500

○スギ集成管柱（厚10.5cm、幅10.5cm、長2.98~3.0m、1等）

・2022年 単位：円/本

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
秋田	x	4,700	4,400	4,400	4,300	4,200	4,000	4,000	4,000	3,800	3,600	3,700
宮崎	4,200	4,300	4,300	4,300	4,300	4,400	4,400	4,400	4,200	4,200	4,000	4,000

・2023年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月
秋田	3,500	3,400	2,900	2,800	2,700
宮崎	3,500	3,500	3,100	2,700	2,600

○ホワイトウッド集成管柱（厚10.5cm、幅10.5cm、長2.98~3.0m、1等）

・2022年 単位：円/本

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
岡山	5,100	5,100	5,100	5,100	5,100	5,100	4,900	4,700	4,500	4,400	4,200	4,000

・2023年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月
岡山	3,600	3,400	3,100	2,900	2,900

○針葉樹合板（厚1.2cm、幅91.0cm、長1.82m、1類）

・2022年 単位：円/枚

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
埼玉	/		2,220	/		2,420	/		2,390	/		
東京			2,140			2,420			2,410			
大阪			1,840			1,990			2,220			

・2023年

都道府県	1月	2月	3月
埼玉	/		2,240
東京			2,300
大阪			2,040

※2022年1月より四半期ごとの公表（4月に3月分、7月に6月分、10月に9月分、翌1月に12月分を公表）。

資料：農林水産省「木材価格」

注1：「x」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

注2：年間を通じて価格を「x」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

注3：針葉樹合板の価格は、2022年1月より四半期ごとの公表となった（4月に3月分、7月に6月分、10月に9月分、翌1月に12月分を公表）。

○チップ用丸太（針葉樹）

・2022年 単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道	7,000	7,000	7,000	7,100	7,100	7,300	7,200	7,300	7,300	7,300	7,400	7,400
青森	6,500	6,500	6,500	6,800	6,800	6,800	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
岩手	7,100	7,100	7,100	7,100	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300
宮城	5,600	5,600	5,600	5,700	5,800	5,800	5,800	5,800	5,800	5,800	5,800	5,800
秋田	6,700	6,700	6,700	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
山形	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200
福島	5,400	5,400	6,100	6,200	6,200	6,100	6,100	5,900	6,600	6,300	6,400	5,700
栃木	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
山梨	6,800	6,600	7,000	7,100	6,900	7,200	7,300	7,700	7,800	7,400	7,400	7,500
長野	6,800	6,700	6,700	6,700	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800	7,200
京都	8,600	8,600	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900
兵庫	6,600	6,600	6,600	6,600	6,600	6,600	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200
島根	9,700	9,200	9,200	9,700	9,600	9,700	10,100	10,100	10,200	9,600	9,800	9,800
広島	5,000	5,000	5,000	5,600	6,000	6,300	6,400	6,500	6,400	6,300	5,900	6,100
高知	5,400	5,600	5,500	5,700	5,800	5,400	5,700	5,600	5,600	5,900	6,000	5,600
熊本	7,300	7,100	7,000	7,000	7,000	7,800	7,000	6,800	7,100	7,400	7,600	7,400
宮崎	7,400	7,400	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,900	7,900	8,000	8,000
鹿児島	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200

・2023年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月
北海道	7,400	7,400	7,400	7,500	7,500
青森	7,000	7,000	7,000	7,600	7,600
岩手	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300
宮城	6,000	6,000	6,000	6,200	6,200
秋田	7,000	7,000	7,000	7,300	7,300
山形	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200
福島	6,800	6,100	5,900	6,100	5,900
栃木	5,300	5,300	5,300	5,300	5,300
山梨	7,700	8,800	8,800	8,400	8,400
長野	7,200	7,200	7,300	7,200	7,200
京都	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900
兵庫	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200
島根	9,400	8,500	9,500	9,300	9,800
広島	6,100	5,900	5,700	5,900	6,700
高知	5,600	5,600	5,600	5,800	5,800
熊本	8,200	9,100	8,400	10,700	8,800
宮崎	8,000	8,000	8,100	8,100	8,100
鹿児島	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200

○チップ用丸太（広葉樹）

・2022年 単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道	9,600	9,600	9,600	9,700	9,700	9,900	9,900	9,900	9,900	9,900	9,900	9,900
青森	11,600	11,600	11,600	11,900	11,900	11,900	12,100	12,100	12,100	12,100	12,100	12,100
岩手	11,000	11,000	11,000	11,100	11,200	11,200	11,200	11,200	11,200	11,200	11,200	11,400
宮城	8,700	8,700	8,700	8,700	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900
秋田	11,800	11,800	11,800	12,000	12,000	12,400	12,500	12,500	12,500	12,500	12,500	12,500
山形	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700
福島	8,700	8,900	8,900	8,900	8,800	8,800	8,800	8,800	8,800	9,000	9,400	9,400
山梨	6,600	6,600	6,500	6,500	6,800	6,800	7,000	7,500	7,500	7,500	7,400	7,400
島根	10,500	10,300	10,400	10,600	10,600	10,500	10,700	10,800	10,800	10,800	10,800	10,800
広島	6,000	6,100	6,100	6,100	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,100	6,000	6,000
熊本	8,200	8,500	8,400	8,800	9,100	9,000	8,800	8,900	9,100	8,900	9,100	8,900
宮崎	8,200	8,200	8,200	8,100	8,500	8,500	8,300	8,300	8,300	8,300	8,400	8,400
鹿児島	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700

・2023年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月
北海道	9,900	9,900	9,900	9,900	9,900
青森	12,100	12,100	12,100	11,900	11,800
岩手	11,400	11,400	11,400	10,600	10,800
宮城	9,000	9,000	9,000	9,300	9,300
秋田	12,500	12,500	12,500	12,500	12,500
山形	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700
福島	8,900	9,000	9,600	9,000	9,000
山梨	7,500	7,500	7,500	7,800	7,900
島根	10,700	10,700	10,800	10,800	11,100
広島	6,000	6,000	6,100	6,700	6,700
熊本	8,700	9,000	8,900	9,100	9,200
宮崎	8,400	8,700	8,600	8,200	8,900
鹿児島	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700

資料：農林水産省「木材価格」

注1：「x」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

注2：年間を通じて価格を「x」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

○木材チップ（針葉樹）

・2022年

単位：円/t

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道	14,900	14,900	14,900	14,900	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,200	15,400	15,400
青森	15,600	15,600	15,600	16,200	16,300	16,300	16,700	16,700	16,700	17,000	17,200	17,200
岩手	15,800	15,800	15,800	15,900	16,200	16,200	16,200	16,200	16,200	16,200	17,100	17,100
宮城	18,600	18,600	18,600	18,800	19,000	19,000	19,000	19,000	19,000	19,000	19,800	19,800
秋田	15,900	16,400	16,400	16,500	16,700	16,800	16,800	16,300	16,300	16,500	16,700	16,700
福島	18,100	18,100	18,100	18,100	18,400	18,400	18,400	18,400	18,400	18,400	19,300	21,200
茨城	7,200	7,200	7,200	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500
栃木	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000
富山	18,100	18,100	18,100	18,100	18,100	18,100	18,100	18,100	18,100	18,100	18,100	18,100
静岡	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	18,000	18,000
京都	19,200	19,500	19,700	19,700	19,700	19,700	19,900	19,900	19,900	21,900	21,900	22,000
兵庫	17,100	17,100	17,100	18,700	18,800	18,800	19,300	19,300	19,300	19,300	19,300	19,300
岡山	14,000	14,000	14,000	14,000	14,000	14,500	14,500	14,600	14,600	14,600	14,600	14,600
広島	15,300	15,300	15,600	15,600	15,600	15,800	15,900	15,900	15,900	15,900	15,900	16,000
徳島	20,900	20,900	20,900	20,900	21,300	21,300	21,300	21,500	21,500	21,500	21,500	21,500
愛媛	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900
高知	19,300	19,300	19,300	19,200	19,500	19,500	19,700	19,700	19,700	19,700	19,700	20,900
熊本	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,200	18,300	18,600
大分	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	12,500	12,500	12,500
宮崎	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100
鹿児島	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000

・2023年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月
北海道	15,400	15,400	15,400	16,000	16,100
青森	17,700	17,700	17,700	19,000	19,000
岩手	17,100	17,100	17,100	18,000	18,100
宮城	19,800	19,800	20,000	20,300	20,600
秋田	16,800	16,900	16,900	17,300	17,600
福島	21,200	21,200	21,200	21,400	21,400
茨城	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500
栃木	12,800	12,800	12,800	12,800	12,800
富山	18,100	18,100	18,100	18,100	18,500
静岡	18,000	18,000	18,000	18,100	18,700
京都	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000
兵庫	19,300	19,300	22,200	22,300	22,300
岡山	14,600	14,600	14,600	14,600	14,600
広島	16,000	16,000	16,000	19,000	18,900
徳島	21,600	21,600	21,600	21,600	22,800
愛媛	12,900	12,900	12,900	13,300	13,500
高知	20,900	20,900	20,900	20,900	20,900
熊本	18,600	18,600	18,600	19,500	19,700
大分	12,500	12,500	12,500	12,500	12,500
宮崎	11,100	11,100	11,100	11,100	11,900
鹿児島	13,000	13,000	13,000	17,900	17,000

○木材チップ（広葉樹）

・2022年

単位：円/t

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道	20,400	20,400	20,400	20,700	20,700	20,700	20,800	20,800	20,800	20,900	21,100	21,200
青森	18,500	18,500	18,500	18,800	18,800	18,800	19,100	19,100	19,100	19,300	19,500	19,500
岩手	18,600	18,600	18,600	18,700	19,000	19,000	19,000	19,000	19,000	19,000	19,600	19,700
宮城	19,600	19,600	19,600	19,600	19,800	19,800	19,800	19,800	19,800	19,800	20,500	20,500
秋田	20,300	20,300	20,300	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000
福島	20,100	20,100	20,100	20,100	20,100	20,100	20,100	20,100	20,100	20,100	20,800	21,400
栃木	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400
山梨	15,200	15,600	15,600	15,600	15,900	15,900	16,000	17,400	17,400	17,400	17,400	17,400
島根	20,800	20,800	20,800	21,700	22,400	22,400	22,400	22,400	22,600	22,600	22,600	22,600
広島	19,700	19,800	19,800	19,700	19,700	19,700	19,700	19,800	19,800	19,800	19,900	20,300
熊本	21,300	21,300	21,300	21,300	21,300	21,300	21,600	21,600	21,600	21,600	21,600	22,800
宮崎	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,500	20,500	20,500	20,900	20,300
鹿児島	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700

・2023年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月
北海道	21,200	21,200	21,200	21,700	21,700
青森	19,800	19,800	19,800	20,100	20,100
岩手	19,700	19,700	19,700	19,700	19,600
宮城	20,500	20,500	20,900	21,300	21,500
秋田	22,000	22,200	22,200	22,300	22,300
福島	21,400	21,400	21,400	21,700	21,700
栃木	16,400	16,400	16,400	16,400	16,400
山梨	17,400	17,400	17,400	18,000	18,000
島根	22,600	22,600	22,600	23,100	25,500
広島	20,300	20,300	20,100	22,400	22,400
熊本	22,800	22,800	22,800	24,500	24,500
宮崎	21,000	21,000	21,200	21,200	21,300
鹿児島	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700

資料：農林水産省「木材価格」

注1：「x」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

注2：年間を通じて価格を「x」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

木材需給情報-1 木材需要の動向（2021年木材需給表）

- 木材の総需要量は、82,130千 m^3 （対前年比110.3%）となった。内訳は、用材が67,142千 m^3 （同109.4%）、しいたけ原木が246千 m^3 （同101.7%）、燃料材が14,742千 m^3 （同115.1%）である。
- 国内消費量は、78,879千 m^3 （対前年比110.4%）となった。この中で、前年に比べて増加量が大きかったものは、パルプ・チップ用材の+2,629千 m^3 （同110.6%）、燃料材の+1,938千 m^3 （同115.1%）である。
- 輸出量は、3,251千 m^3 （対前年比108.0%）となった。この中で、前年に比べて増加したものは、丸太（用材）の+75千 m^3 （同105.4%）、製材品等の+60千 m^3 （同121.8%）、合板等の+58千 m^3 （同132.4%）、木材パルプ・チップ等の+50千 m^3 （同104.3%）である。

木材需要の動向

区 分			2021年		2020年		対前年 増減量 (千 m^3)	対前年 比 (%)
			数量 (千 m^3)	構成比 (%)	数量 (千 m^3)	構成比 (%)		
総 需 要 量	用 材	製材用材	26,179	31.9	24,597	33.0	1,582	106.4
		合板用材	10,294	12.5	8,919	12.0	1,375	115.4
		パルプ・チップ用材	28,743	35.0	26,064	35.0	2,679	110.3
		その他用材	1,926	2.3	1,812	2.4	114	106.3
		小計	67,142	81.8	61,392	82.5	5,750	109.4
	しいたけ原木	246	0.3	242	0.3	4	101.7	
	燃料材	14,742	17.9	12,805	17.2	1,937	115.1	
計			82,130	100.0	74,439	100.0	7,691	110.3
国 内 消 費	用 材	製材用材	25,844	32.8	24,321	34.0	1,523	106.3
		合板用材	10,056	12.7	8,741	12.2	1,315	115.0
		パルプ・チップ用材	27,529	34.9	24,900	34.9	2,629	110.6
		その他用材	466	0.6	426	0.6	40	109.4
		小計	63,895	81.0	58,387	81.7	5,508	109.4
	しいたけ原木	246	0.3	242	0.3	4	101.7	
	燃料材	14,738	18.7	12,800	17.9	1,938	115.1	
計			78,879	100.0	71,430	100.0	7,449	110.4
輸 出	用 材	丸太	1,459	44.9	1,384	46.0	75	105.4
		製材品等	335	10.3	275	9.2	60	121.8
		合板等	237	7.3	179	5.9	58	132.4
		木材パルプ・チップ等	1,214	37.3	1,164	38.7	50	104.3
		その他	2	0.1	3	0.1	△1	66.7
	小計	3,247	99.9	3,005	99.8	242	108.1	
燃料材	4	0.1	5	0.2	△1	80.0		
計			3,251	100.0	3,009	100.0	242	108.0

資料：林野庁「木材需給表」（2023年3月10日 修正公表）

注：1）燃料材とは、木炭、薪、燃料用チップ及びペレットである。

2）輸出の製材品等は、製材、集成材、構造用集成材、セルラーウッドパネル、加工材等である。

3）輸出の合板等は、合板、薄板・単板、ブロックボード等である。

4）輸出の木材パルプ・チップ等は、木材パルプ、木材チップ、再生木材である。

5）輸出の用材のその他は、改良木材、枕木、のこくず・木くずである。

6）数値の合計値は、四捨五入のため計に一致しない場合がある。

木材需給情報-1 木材供給の動向（2021年木材需給表）

- 木材の総供給量は、82,130千 m^3 （対前年比110.3%）となった。内訳は、用材が67,142千 m^3 （同109.4%）、しいたけ原木が246千 m^3 （同101.7%）、燃料材が14,742千 m^3 （同115.1%）である。
- 国内生産量は、33,721千 m^3 （対前年比108.3%）となった。この中で、前年に比べて増加量が大きかったものは、丸太（用材）の+2,092千 m^3 （同109.6%）である。
- 輸入量は、48,409千 m^3 （対前年比111.8%）となった。この中で、前年に比べ増加量が大きかったものは、木材チップ等の+2,538千 m^3 （同115.2%）、燃料材の+1,516千 m^3 （同139.1%）である。一方で、製材品等は Δ 218千 m^3 （同97.8%）、木材パルプは Δ 198千 m^3 （同96.0%）と減少した。

木材供給の動向

区 分			2021年		2020年		対前年 増減量 (千 m^3)	対前年 比 (%)	
			数量 (千 m^3)	構成比 (%)	数量 (千 m^3)	構成比 (%)			
総供給量	用材	丸太	27,845	33.9	25,180	33.8	2,665	110.6	
		林地残材	161	0.2	106	0.1	55	151.9	
		輸入木材製品	39,136	47.7	36,106	48.5	3,030	108.4	
		小計	67,142	81.8	61,392	82.5	5,750	109.4	
	しいたけ原木	246	0.3	242	0.3	4	101.7		
	燃料材	14,742	17.9	12,805	17.2	1,937	115.1		
	計	82,130	100.0	74,439	100.0	7,691	110.3		
国内生産	用材	丸太	23,966	71.1	21,874	70.2	2,092	109.6	
		林地残材	161	0.5	106	0.3	55	151.9	
		小計	24,127	71.5	21,980	70.6	2,147	109.8	
	しいたけ原木	246	0.7	242	0.8	4	101.7		
	燃料材	9,348	27.7	8,927	28.7	421	104.7		
計	33,721	100.0	31,149	100.0	2,572	108.3			
輸入	用材	丸太	3,879	8.0	3,306	7.6	573	117.3	
		製材品等	製材品等	9,903	20.5	10,121	23.4	Δ 218	97.8
			合板等	5,201	10.7	4,293	9.9	908	121.2
			木材パルプ	4,799	9.9	4,997	11.5	Δ 198	96.0
			木材チップ等	19,184	39.6	16,646	38.5	2,538	115.2
			その他	49	0.1	49	0.1	0	100.0
	細計	39,136	80.8	36,106	83.4	3,030	108.4		
	小計	43,015	88.9	39,412	91.0	3,603	109.1		
燃料材	5,394	11.1	3,878	9.0	1,516	139.1			
計	48,409	100.0	43,290	100.0	5,119	111.8			

資料：林野庁「木材需給表」（2023年3月10日 修正公表）

注：1）林地残材とは、立木を伐採した後の林地に残されている根株、枝条等のうち、利用を目的に木材チップ工場に搬入されたものである。

2）燃料材とは、木炭、薪、燃料用チップ及びペレットである。

3）輸入の製材品等は、製材、集成材、構造用集成材、セルラーウツパネル、加工材等である。

4）輸入の合板等は、合板、薄板・単板、ブロックボード等である。

5）輸入の木材チップ等は、木材チップ、再生木材である。

6）輸入の用材のその他は、改良木材、枕木、のこくず・木くずである。

7）数値の合計値は、四捨五入のため計に一致しない場合がある。

木材需給情報-1 木材自給率の動向（2021年木材需給表）

- 建築用材等の自給率は、製材用材の国内生産が大きく増加したこと等により、対前年比で0.8ポイント上昇し、48.0%となった。
- 非建築用材等の自給率は、パルプ・チップ用材及び燃料材の輸入が大きく増加したこと等により、対前年比で2.0ポイント低下し、35.5%となった。
- これらを合わせた総数での自給率は、対前年比で0.7ポイント低下し、41.1%となった。

【参考】木材自給率（%）＝ 国内生産量 ÷ 総需要量（※） × 100

※「総需要量」は「国内消費量」に「輸出量」を加えたもの。

木材自給率の動向

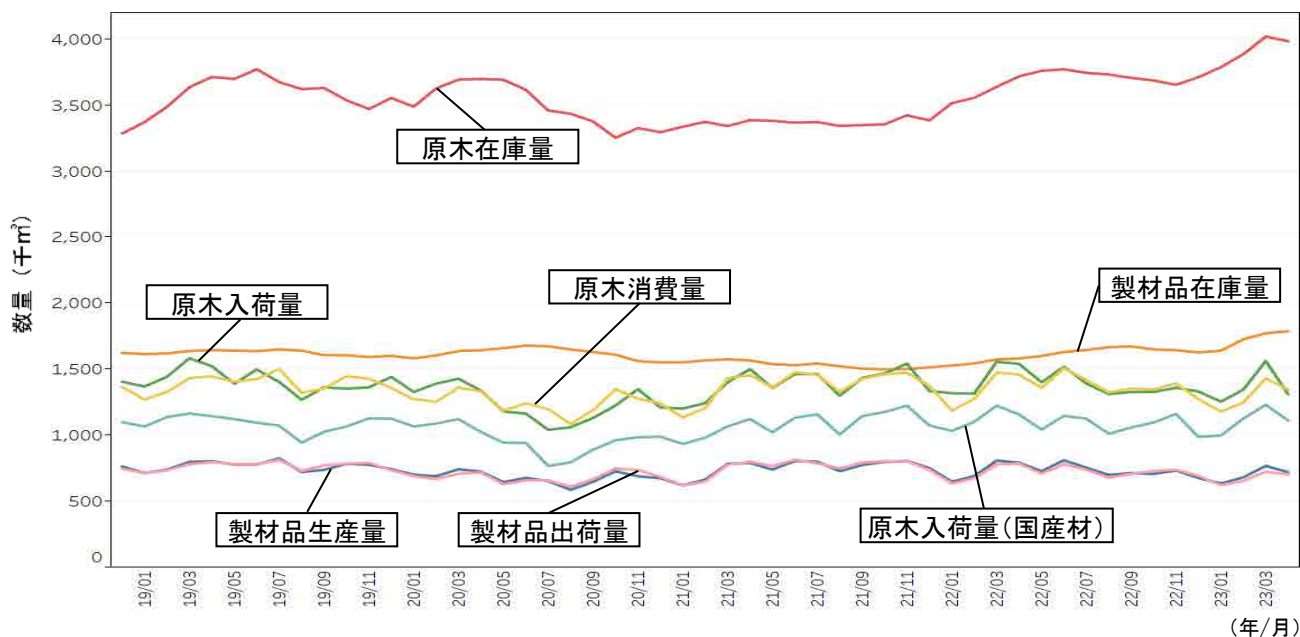
区 分		2021年	2020年	対前年 増減量 (千m ³)	対前年比 (%)		
		数量 (千m ³)	数量 (千m ³)				
建築用材等	国内生産	17,522	15,810	1,712	110.8		
	輸入	18,951	17,706	1,245	107.0		
	総需要量	36,473	33,516	2,957	108.8		
	自給率	48.0%	47.2%	0.8ポイント			
用材	製材用材	国内生産	12,861	11,615	1,246	110.7	
		輸入	13,318	12,982	336	102.6	
		総需要量	26,179	24,597	1,582	106.4	
	合板用材	国内生産	4,661	4,195	466	111.1	
		輸入	5,633	4,724	909	119.2	
		総需要量	10,294	8,919	1,375	115.4	
自給率	45.3%	47.0%	△ 1.7ポイント				
非建築用材等	国内生産	16,199	15,339	860	105.6		
	輸入	29,458	25,584	3,874	115.1		
	総需要量	45,658	40,923	4,735	111.6		
	自給率	35.5%	37.5%	△ 2.0ポイント			
	用材	パルプ・チップ用材	国内生産	4,744	4,420	324	107.3
			輸入	24,000	21,644	2,356	110.9
			総需要量	28,743	26,064	2,679	110.3
	自給率	16.5%	17.0%	△ 0.5ポイント			
	その他用材	国内生産	1,862	1,750	112	106.4	
		輸入	65	62	3	104.8	
総需要量		1,926	1,812	114	106.3		
自給率	96.6%	96.6%	0.0ポイント				
しいたけ原木	国内生産	246	242	4	101.7		
	輸入	-	-	-	-		
	総需要量	246	242	4	101.7		
自給率	100.0%	100.0%	0.0ポイント				
燃料材	国内生産	9,348	8,927	421	104.7		
	輸入	5,394	3,878	1,516	139.1		
	総需要量	14,742	12,805	1,937	115.1		
	自給率	63.4%	69.7%	△ 6.3ポイント			
総 数	国内生産	33,721	31,149	2,572	108.3		
	輸入	48,409	43,290	5,119	111.8		
	総需要量	82,130	74,439	7,691	110.3		
	自給率	41.1%	41.8%	△ 0.7ポイント			
うち 用材の計	国内生産	24,127	21,980	2,147	109.8		
	輸入	43,015	39,412	3,603	109.1		
	総需要量	67,142	61,392	5,750	109.4		
	自給率	35.9%	35.8%	0.1ポイント			

資料：林野庁「木材需給表」（2023年3月10日 修正公表）

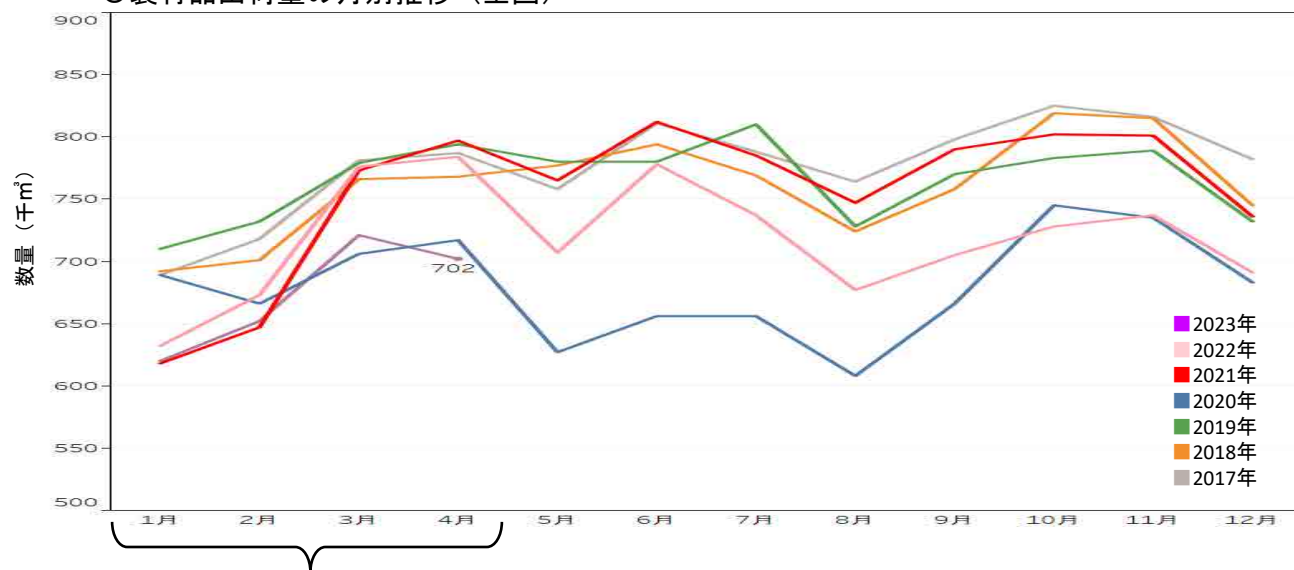
注）数値の合計値は、四捨五入のため計に一致しない場合がある。

木材需給情報-2 製材工場の原木入荷、製品生産等の動向

- 2023年1～4月の原木の入荷量は、5,464千m³（2019年比 92%）。
- 同様に製材品の出荷量は、2,695千m³（2019年比 89%）。



○製材品出荷量の月別推移（全国）



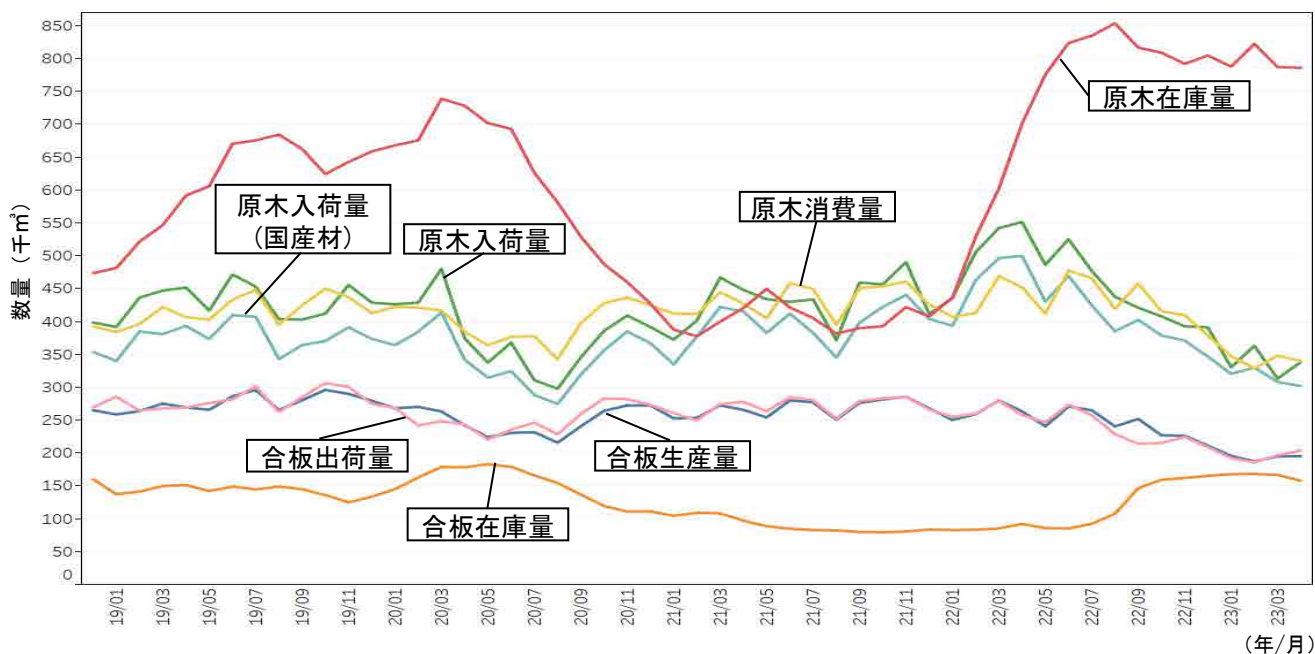
	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
1～4月原木入荷量 合計(千m ³)	5,621	5,623	5,910	5,477	5,338	5,723	5,464
2019年との比較※	95%	95%	—	93%	90%	97%	92%
1～4月出荷量 合計(千m ³)	2,975	2,927	3,015	2,778	2,835	2,865	2,695
2019年との比較※	99%	97%	—	92%	94%	95%	89%

※2019年（COVID-19の影響前）の数値を100%とした比較

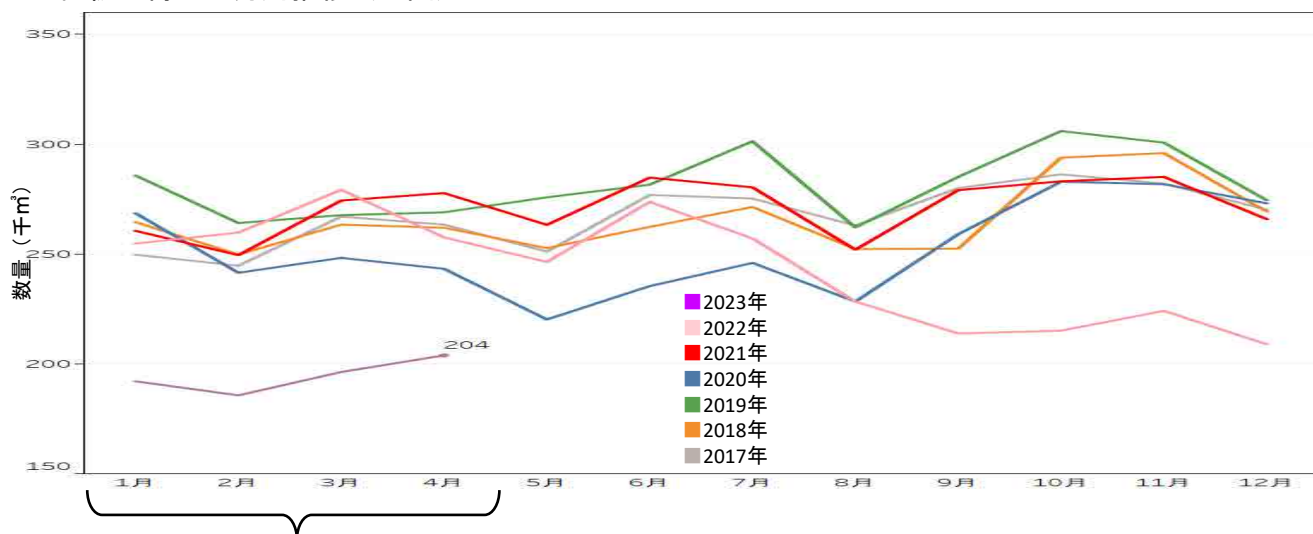
資料：農林水産省「製材統計」

木材需給情報-3 合板工場の原木入荷、製品生産等の動向

- 2023年1～4月の原木の入荷量は、1,344千 m^3 （2019年比 78%）。
- 同様に合板の出荷量は、778千 m^3 （2019年比 72%）。



○合板出荷量の月別推移（全国）

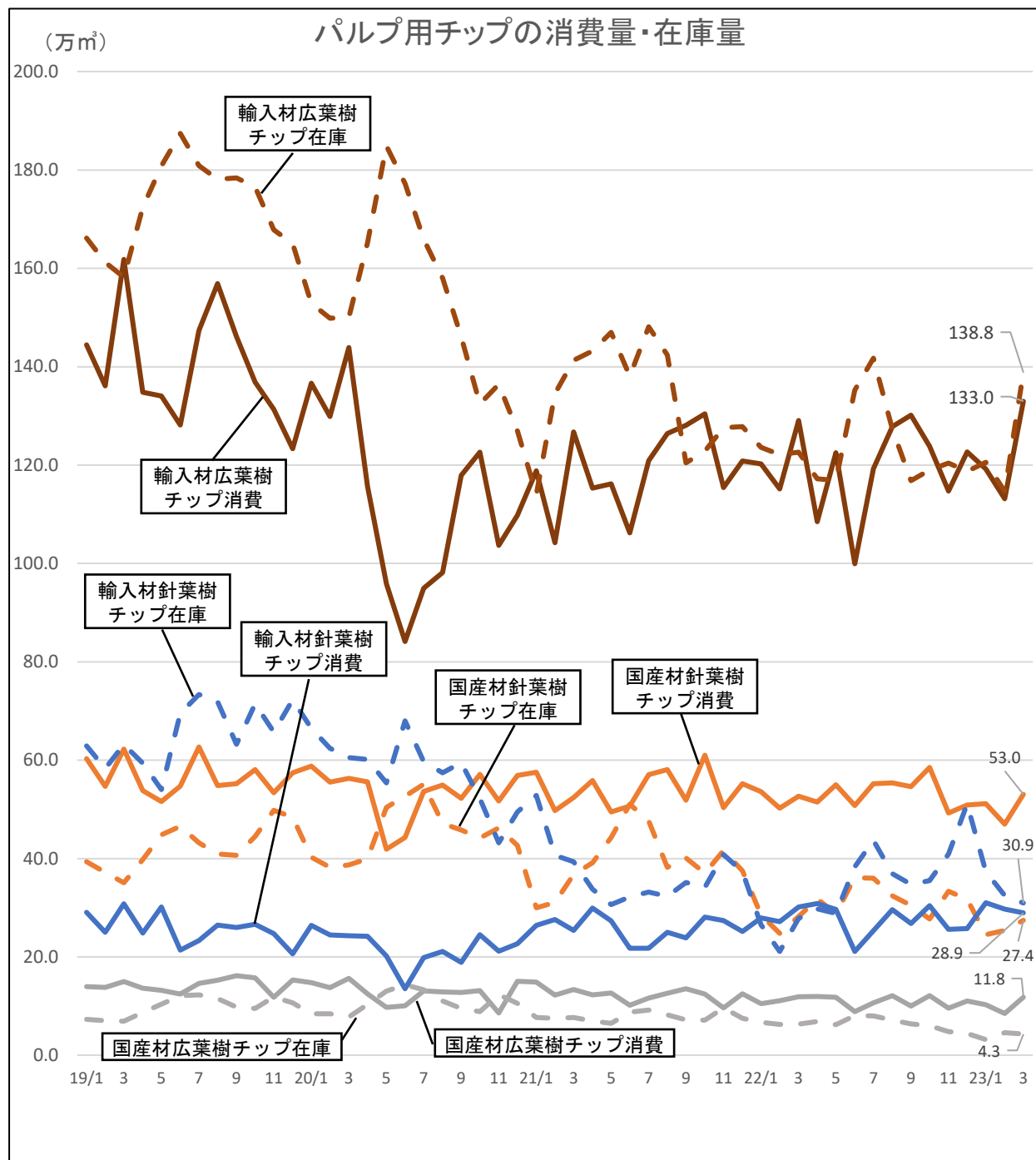


	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
1～4月原木入荷 合計(千 m^3)	1,456	1,668	1,726	1,709	1,688	2,034	1,344
2019年との比較※	84%	97%	—	99%	98%	118%	78%
1～4月出荷量 合計(千 m^3)	1,025	1,040	1,087	1,002	1,062	1,051	778
2019年との比較※	94%	96%	—	92%	98%	97%	72%

※2019年（COVID-19の影響前）の数値を100%とした比較

資料：農林水産省「合板統計」

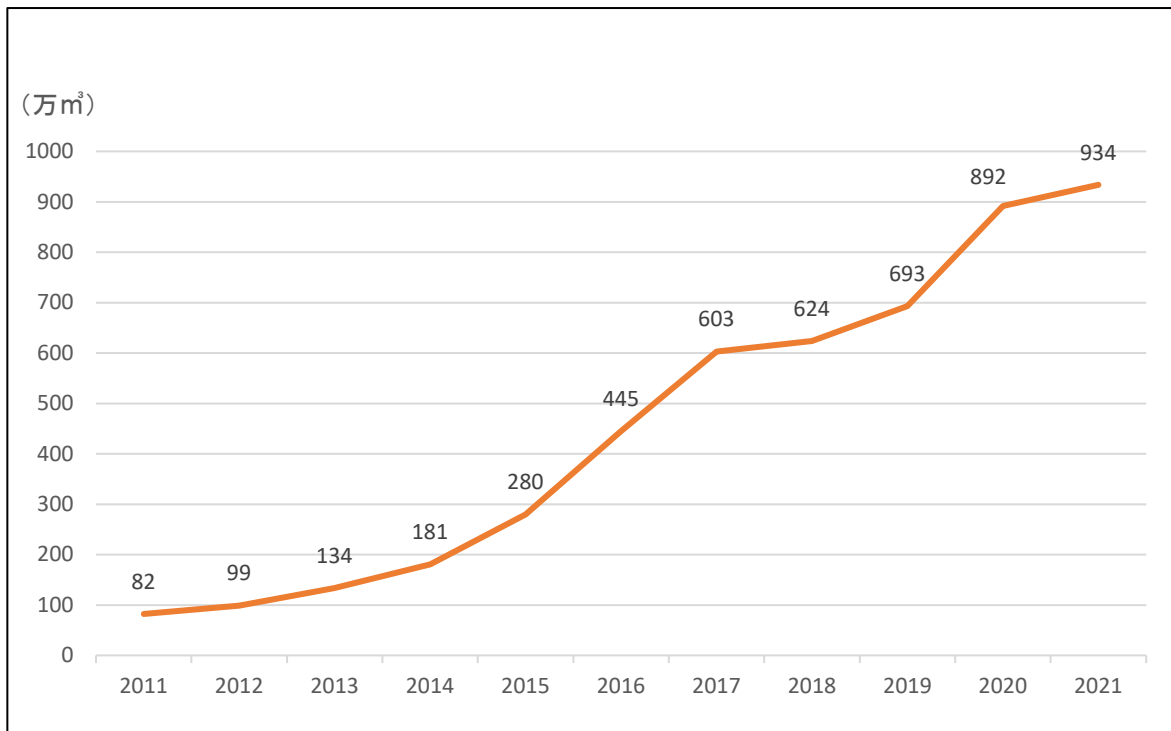
- パルプ用チップの消費について、2023年3月の輸入材広葉樹チップの消費量は133.0万 m^3 。国産材針葉樹チップの消費量は53.0万 m^3 となっている。



資料：林野庁木材産業課調べ

- 燃料材(国内生産)の利用量は、発電利用を中心に増加(過去10年間で約11倍)。
- 2023年4月の紙の生産高は91万トン。板紙の生産高は101万トンとなっている。

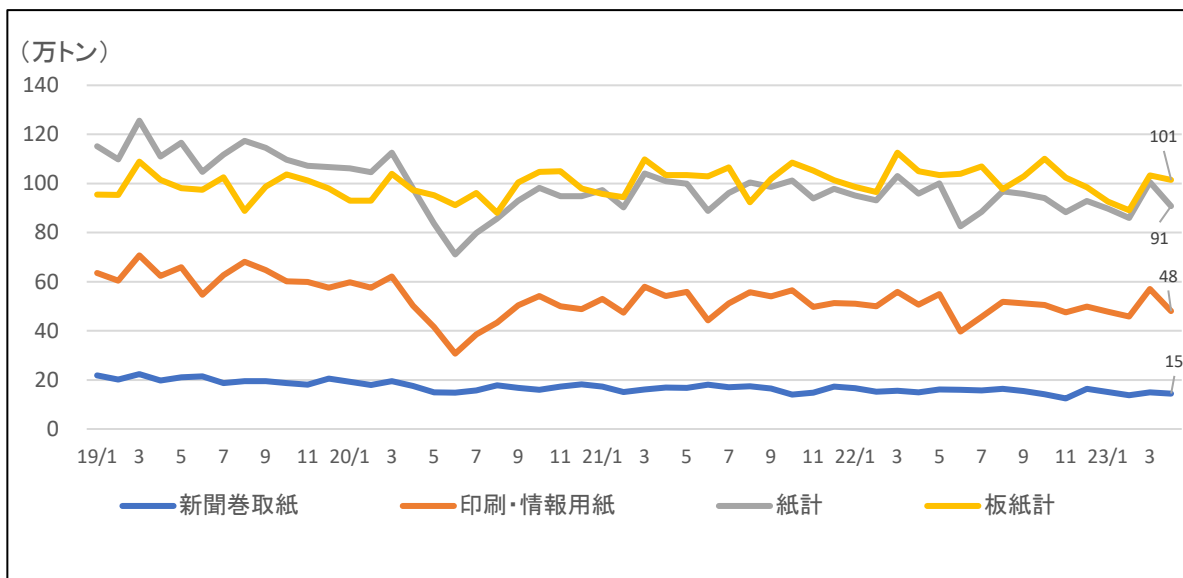
○燃料材(国内生産)の利用量の推移



資料：木材利用課調べ(～2014年)、林野庁「木材需給表」(2015年～)

注：利用量には輸出量は含まない。

○紙品種別生産高



資料：林野庁木材産業課調べ

木材需給情報-6 素材生産量（2021年）

- 2021年の製材、合板及びチップ用材の素材生産量の合計は2,185万m³。

単位：千m³

全 国 都道府県	計	製材用	合板等用	木材チップ用	針葉樹		広葉樹
					スギ		
全 国	21,847	12,861	4,661	4,325	20,088	12,917	1,759
北 海 道	3,163	1,630	652	881	2,615	63	548
青 森	971	360	397	214	924	812	47
岩 手	1,431	525	547	359	1,228	770	203
宮 城	627	218	292	117	588	538	39
秋 田	1,183	486	554	143	1,109	1,095	74
山 形	305	223	75	7	302	291	3
福 島	890	444	64	382	756	568	134
茨 城	401	320	4	77	374	254	27
栃 木	658	463	5	190	571	396	87
群 馬	252	162	31	59	240	179	12
埼 玉	67	31	x	x	43	25	24
千 葉	50	16	4	30	35	28	15
東 京	64	17	8	39	58	37	6
神 奈 川	10	8	x	x	9	6	1
新 潟	119	81	23	15	112	111	7
富 山	112	57	21	34	96	90	16
石 川	108	52	37	19	98	85	10
福 井	122	57	30	35	120	114	2
山 梨	125	27	x	x	104	27	21
長 野	460	188	207	65	453	106	7
岐 阜	385	256	80	49	381	211	4
静 岡	608	199	99	310	608	248	0
愛 知	139	96	28	15	127	76	12
三 重	277	189	81	7	276	122	1
滋 賀	72	15	14	43	57	40	15
京 都	159	51	41	67	140	98	19
大 阪	x	7	-	x	10	6	x
兵 庫	301	98	143	60	287	189	14
奈 良	125	107	x	x	125	67	0
和 歌 山	206	138	24	44	201	129	5
鳥 取	232	83	101	48	211	163	21
鳥 根	346	120	124	102	289	204	57
岡 山	427	348	23	56	389	100	38
広 島	347	152	81	114	267	136	80
山 口	221	123	46	52	198	135	23
徳 島	333	175	x	x	321	263	12
香 川	13	5	-	8	8	1	5
愛 媛	563	528	3	32	563	342	-
高 知	519	x	x	94	516	254	3
福 岡	402	343	7	52	395	353	7
佐 賀	130	109	1	20	119	66	11
長 崎	139	77	12	50	120	59	19
熊 本	938	752	123	63	907	686	31
大 分	1,129	892	210	27	1,116	929	13
宮 崎	2,042	1,830	164	48	2,026	1,931	16
鹿 児 島	664	417	132	115	596	514	68
沖 縄	x	x	-	x	0	-	x

資料：農林水産省「令和3年木材統計」

「x」：個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの

木材需給情報-7 木材生産の産出額（2021年）

- 2021年の木材生産の都道府県別木材生産の産出額の合計は2,666億円。

単位：1,000万円

都道府県	木材生産	針葉樹					広葉樹	竹材
		スギ	ヒノキ	アカマツ・クロマツ	カラマツ・エゾマツ・トドマツ			
北海道	3,145	2,652	42	-	1	2,573	493	-
青森	863	811	684	0	39	52	51	-
岩手	1,498	1,264	728	4	165	365	215	-
宮城	534	507	465	6	21	14	25	2
秋田	1,176	1,089	1,075	0	3	12	85	-
山形	317	312	298	0	2	13	5	-
福島	853	765	484	211	29	37	86	-
茨城	547	528	283	242	2	0	19	-
栃木	851	774	453	306	6	3	70	2
群馬	283	271	186	51	3	29	11	-
埼玉	67	49	24	24	0	1	17	-
千葉	43	30	22	7	-	-	11	3
東京	41	36	20	11	-	1	5	-
神奈川	13	13	6	6	-	-	1	-
新潟	140	133	132	0	0	1	6	0
富山	118	104	92	11	0	1	14	-
石川	135	126	101	11	3	0	9	0
福井	116	114	108	5	1	0	2	0
山梨	120	99	28	17	11	34	10	-
長野	648	623	101	107	36	376	9	-
岐阜	593	586	284	281	2	11	7	0
静岡	638	638	189	400	1	2	0	-
愛知	171	163	75	74	0	11	9	-
三重	445	443	158	282	3	-	1	-
滋賀	57	42	27	11	0	0	14	1
京都	162	140	90	48	0	-	17	5
大阪	x	11	5	6	0	-	x	-
兵庫	340	324	178	141	1	0	15	0
奈良	201	200	77	124	-	-	0	0
和歌山	231	224	124	98	0	-	5	2
鳥取	262	248	167	75	5	0	14	-
島根	385	337	210	106	13	0	48	0
岡山	726	698	90	603	2	-	24	3
広島	467	423	159	251	13	0	43	-
山口	331	312	168	142	1	1	14	5
徳島	352	346	242	104	0	-	6	0
香川	13	10	1	10	0	-	2	0
愛媛	809	808	383	425	0	0	-	0
高知	702	700	281	382	0	-	2	1
福岡	239	234	157	75	1	-	5	0
佐賀	237	229	113	116	0	-	8	0
長崎	195	182	72	110	-	-	13	-
熊本	1,684	1,657	1,107	549	0	-	20	7
大分	1,709	1,690	1,332	358	1	-	9	4
宮崎	3,217	3,206	2,980	224	1	-	10	-
鹿児島	970	902	725	172	1	-	52	15
沖縄	x	0	-	-	-	-	x	-
合計	26,655	25,054	14,726	6,188	367	3,537	1,483	51

資料：農林水産省「令和3年林業産出額」

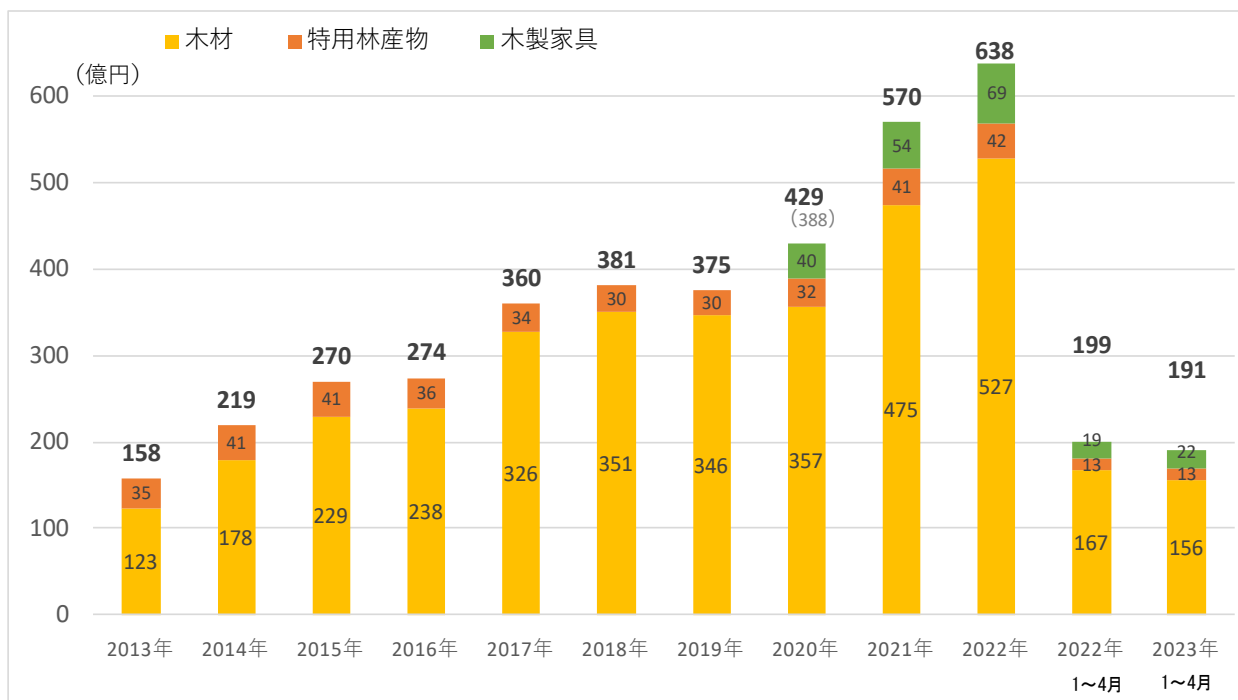
注：都道府県別産出額には、全国値には含まれる木材生産におけるパルプ工場が直接入荷するパルプ用素材、輸出丸太及び燃料用チップ素材の産出額を含まない。

また、全国値には含まない木材生産における県外移出されたしいたけ原木の産出額を含む。

「x」：個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計調査を公表していないもの

- 令和5年4月の林産物輸出額は56億円（前年同月比110%）となった。
- 内訳は、木材が46億円（同109%）、特用林産物が3億円（同99%）、木製家具が7億円（同122%）となった。
- 1～4月累計の林産物輸出額は、191億円（前年同期比96%）となった。

○林産物輸出の推移



資料：財務省「貿易統計」

※特用林産物には、きのこ（はらたけ属以外）、乾しいたけ、ロジン、植物性ろう等が含まれる。なお、木質ペレット、薪、木炭は木材に含まれる。

※2020年の(388)は品目の見直しによる追加品目（木製家具、調整・保存処理したきのこ等）を含まない数字。

※四捨五入により、合計が合致しない場合がある。

○林産物の月別輸出額

(億円)

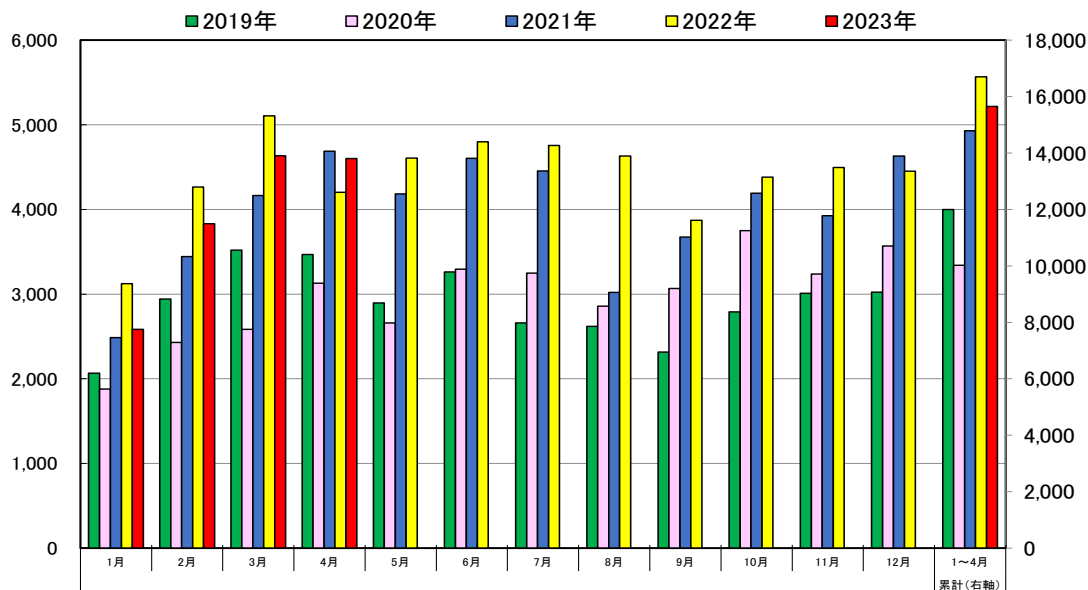
	2022年				2023年					
	林産物	木材	特用林産物	木製家具	林産物	前年比	前々年比	木材	特用林産物	木製家具
1月	37	31	3	4	33	88%	105%	26	3	4
2月	50	43	3	4	47	94%	114%	38	3	5
3月	61	51	4	6	55	91%	109%	46	3	6
4月	51	42	3	5	56	110%	101%	46	3	7
5月	55	46	3	5						
6月	58	48	4	6						
7月	58	48	4	7						
8月	56	46	3	6						
9月	48	39	4	6						
10月	54	44	4	6						
11月	55	45	4	7						
12月	56	45	4	7						
4月累計	199	167	13	19	191	96%	107%	156	13	22

資料：財務省貿易統計

林産物輸出入情報- 2 木材輸出額

- 令和5年4月の木材輸出額は46億円(前年同月比109%)、1～4月累計の木材輸出額は156億円(前年同期比94%)となった。
- 1～4月累計輸出額の品目別・国別の前年同期比を見ると、丸太は韓国、台湾向けが下回り、中国向けは上回っている。製材は米国、フィリピン向けが大きく下回り、合板はフィリピン向けが大きく上回っている。

○木材輸出額の推移(月別)



○木材輸出額の推移(主な国別・品目別)

輸出先	単月 4月					累計1～4月				
	輸出額 (百万円)	前年比 (%)	主要品目内訳(百万円) 前年比(%)			輸出額 (百万円)	前年比 (%)	主要品目内訳(百万円) 前年比(%)		
			丸太	製材	合板			丸太	製材	合板
中国	2,266	123%	1,810 122%	133 100%	19 41%	6,869	101%	5,304 102%	451 88%	62 61%
韓国	287	83%	157 87%	63 90%	1 21%	996	78%	605 85%	180 86%	5 31%
台湾	231	94%	123 94%	63 104%	1 55%	845	81%	431 71%	193 91%	1 55%
米国	392	107%	0 —	202 114%	1 276%	1,587	82%	0 —	693 61%	1 14%
フィリピン	1,104	104%	0 —	65 23%	965 156%	4,135	93%	0 —	209 15%	3,672 138%
その他	321	94%	27 73%	46 146%	0 24%	1,216	103%	67 92%	180 103%	9 53%
総計	4,601	109%	2,117 116%	572 76%	987 146%	15,648	94%	6,408 97%	1,905 53%	3,750 134%

※資料：財務省貿易統計(第44類を集計)、四捨五入により、数値が合わないことがある。

木材輸出についての詳細は、次のURLをご覧ください。
<https://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/yusyutu/mokuzai-yusyutsu.html>



林産物輸出入情報-3 木材輸入額

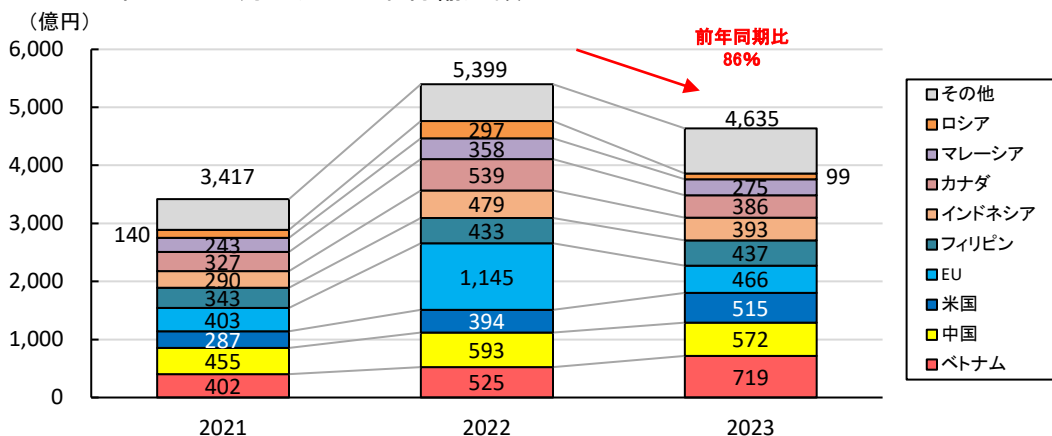
- 2023年4月の木材輸入額は、前月比86%、前年同月比は81%の1,081億円となった。
- 国別に、前月比で見ると、EU（前年輸入額に占めるシェア18%）が95%、ベトナム（同12%）が99%、中国（同12%）が90%、カナダ（同10%）が83%、インドネシア（同9%）が74%、米国（同8%）が85%、フィリピン（同8%）が75%と軒並み減少した。
- 前年同月比で見ると、EUが41%、中国が93%、カナダが65%、インドネシアが68%、米国が99%、フィリピンが85%と減少する一方、ベトナムが122%と増加した。

○2023年4月の木材輸入額

(単位:億円)

年	2022年 (1月~12月)	月別金額				累計金額		
		2023年 3月	2023年 4月	前月比	前年 同月比	2022年 1~4月	2023年 1~4月	前年 同期比
国名								
世界計	17,503	1,252	1,081	86%	81%	5,399	4,635	86%
E U	3,227	106	100	95%	41%	1,145	466	41%
(フィンランド)	1,080	36	25	70%	33%	380	136	36%
(スウェーデン)	688	20	22	110%	38%	255	98	38%
ベトナム	2,110	175	173	99%	122%	525	719	137%
中 国	2,071	162	146	90%	93%	593	572	96%
カナダ	1,760	107	89	83%	65%	539	386	72%
インドネシア	1,584	114	84	74%	68%	479	393	82%
米 国	1,456	142	121	85%	99%	394	515	131%
フィリピン	1,348	125	94	75%	85%	433	437	101%
マレーシア	1,118	64	52	81%	51%	358	275	77%
ロシア	685	31	19	62%	42%	297	99	33%
その他	2,144	226	203	89%	138%	636	774	122%
我が国の総輸入額	1,181,642	95,828	87,212	91%	98%	342,118	369,353	108%
我が国の総輸入額に 占める木材輸入額の割合	1.48%	1.31%	1.24%			1.58%	1.25%	

○2021~2023年の1~4月における木材輸入額



資料：財務省貿易統計

注1：輸入統計品目表第44類（木材及びその製品並びに木炭）の合計（※次ページ以降に記載の品目の合計ではない）。

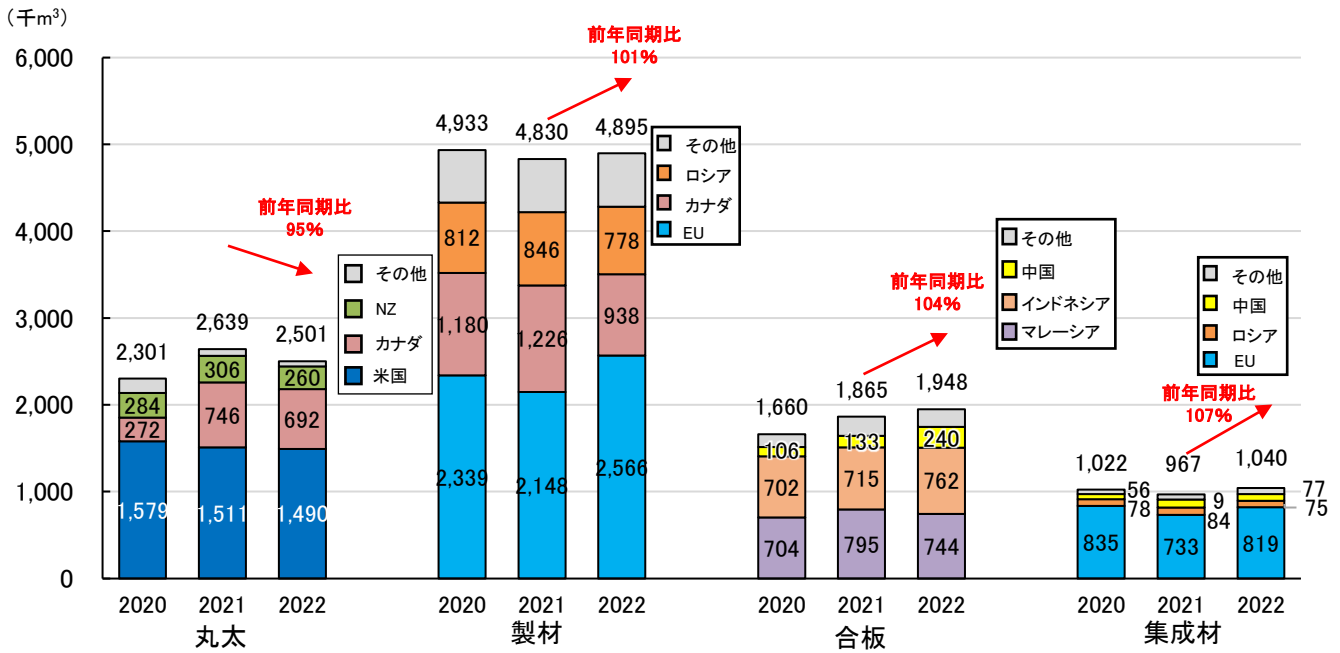
2：EUに英国は含まない。

3：EUは、フィンランド、スウェーデンの合計ではない。

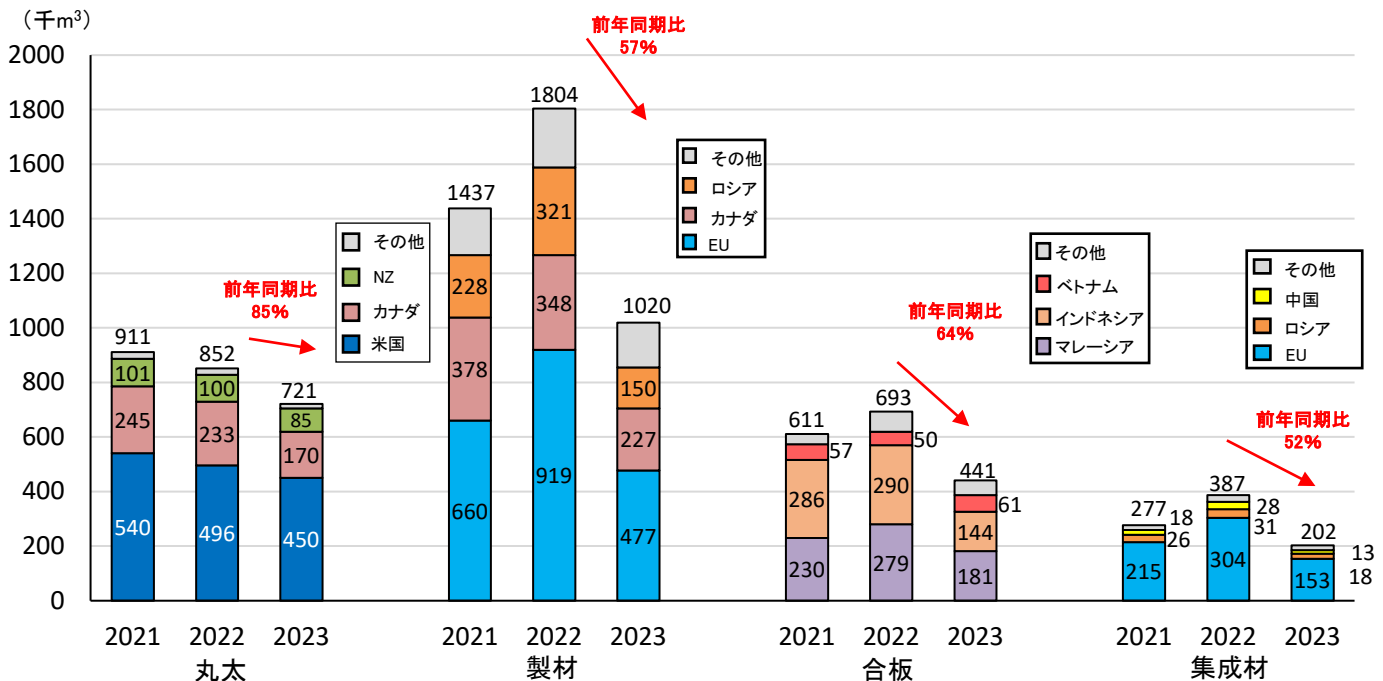
林産物輸出入情報-3 木材輸入量（累計）

- 2022年における品目別の輸入量は、前年比で丸太が95%と減少する一方で、製材が101%、合板が104%、集成材が107%と、増加した。
- 2023年1月～4月累計の品目別輸入量は、前年同期比で丸太が85%、製材が57%、合板が64%、集成材が52%と軒並み減少した。なお、2021年同期比では、丸太が79%、製材が71%、合板が72%、集成材が73%となった。

○2020～2022年の品目別木材輸入量



○2021～2023年の1月～4月における品目別木材輸入量



資料：財務省貿易統計

林産物輸出入情報-4 木材輸入量（丸太）

- 2023年4月の丸太輸入量は、前月比93%、前年同月比74%の17万³m³となった。
- 国別に、前月比で見ると、米国（前年輸入量に占めるシェア60%）が52%と減少する一方、カナダ（同28%）が294%、ニュージーランド（同10%）が197%と増加した。
- 前年同月比で見ると、米国が57%、ニュージーランドが75%と減少する一方、カナダが102%と増加した。

（単位：千m³）

材種 国名	年 2022年 (1月～ 12月)	月別数量				累計数量		
		2023年 3月	2023年 4月	前月比	前年 同月比	2022年 1～4月	2023年 1～4月	前年 同期比
合計	[100%] 2,501	[100%] 185	[100%] 173			[100%] 852	[100%] 721	
米材	[87%] 2,182	[87%] 160	[80%] 139			[86%] 729	[86%] 620	
米国	[60%] 1,490	[74%] 137	[41%] 71			[58%] 496	[62%] 450	
カナダ	[28%] 692	[13%] 23	[39%] 68			[27%] 233	[24%] 170	
南洋材	[1%] 29	[4%] 7	[0%] 0			[1%] 7	[1%] 7	
インドネシア	[0%] 0	-	-			[0%] 0	-	
マレーシア	[1%] 22	[4%] 7	[0%] 0			[1%] 7	[1%] 7	
パプアニューギニア	[0%] 7	-	-			-	[0%] 0	
ロシア材	[0%] 7	-	-			[1%] 7	-	
ニュージーランド材	[10%] 260	[8%] 15	[17%] 30			[12%] 100	[12%] 85	
欧州材	[1%] 15	[1%] 2	[2%] 3			[1%] 7	[1%] 6	
EU計	[1%] 15	[1%] 2	[2%] 3			[1%] 7	[1%] 6	
アフリカ材	[0%] 2	[0%] 1	[0%] 0			[0%] 1	[0%] 2	
中国	[0%] 2	[0%] 0	[0%] 0			[0%] 0	[0%] 0	
その他	[0%] 3	[0%] 0	[0%] 0			[0%] 1	[0%] 1	

資料：財務省貿易統計

注1：丸太は輸入統計品目表第4403項の合計。

2：米材は米国、カナダより輸入された材。

3：南洋材はインドネシア、マレーシア、パプアニューギニア、ソロモン諸島、フィリピン、シガポール、ブルネイの7か国より輸入された材。

4：欧州材はロシアを除く全ての欧州各国より輸入された材。

5：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

6：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

7：「-」は輸入実績なし等。

8：EUに英国は含まない。

林産物輸出入情報-4 木材輸入量（製材）

- 2023年4月の製材輸入量は、前月比94%、前年同月比62%の25万^m³となった。
- 国別に、前月比で見ると、カナダ（前年輸入量に占めるシェア19%）が82%、ロシア（同16%）が73%、EU（同52%）が89%と軒並み減少した。
- 前年同月比で見ると、カナダが68%、ロシアが57%、EUが52%と軒並み減少した。

（単位：千^m³）

材種 国名	年 2022年 (1月～ 12月)	月別数量				累計数量		
		2023年 3月	2023年 4月	前月比	前年 同月比	2022年 1～4月	2023年 1～4月	前年 同期比
合計	[100%] 4,895	[100%] 261	[100%] 245	94%	62%	[100%] 1,804	[100%] 1,020	57%
米材	[22%] 1,070	[29%] 76	[26%] 63	83%	70%	[22%] 390	[26%] 261	67%
米国	[3%] 132	[4%] 10	[4%] 9	90%	92%	[2%] 42	[3%] 34	81%
カナダ	[19%] 938	[25%] 66	[22%] 54	82%	68%	[19%] 348	[22%] 227	65%
南洋材	[1%] 63	[2%] 4	[2%] 4	101%	83%	[1%] 21	[2%] 18	87%
インドネシア	[0%] 21	[1%] 1	[1%] 2	110%	83%	[0%] 7	[1%] 7	88%
マレーシア	[1%] 40	[1%] 3	[1%] 2	94%	86%	[1%] 13	[1%] 11	86%
パプアニューギニア	[0%] 0	-	-	-	-	[0%] 0	[0%] 0	103%
ロシア材	[16%] 778	[18%] 46	[14%] 34	73%	57%	[18%] 321	[15%] 150	47%
ニュージーランド材	[1%] 47	[1%] 3	[1%] 2	54%	49%	[1%] 16	[1%] 13	84%
チリ材	[5%] 251	[3%] 7	[12%] 29	421%	111%	[5%] 90	[7%] 74	82%
欧州材	[54%] 2,619	[46%] 121	[44%] 107	89%	51%	[52%] 945	[48%] 487	51%
EU計	[52%] 2,566	[46%] 119	[43%] 106	89%	52%	[51%] 919	[47%] 477	52%
(スウェーデン)	[17%] 847	[15%] 39	[17%] 41	104%	52%	[18%] 321	[17%] 171	53%
(フィンランド)	[17%] 842	[19%] 49	[12%] 30	61%	50%	[16%] 294	[15%] 156	53%
アフリカ材	[0%] 2	[0%] 0	[0%] 0	876%	皆増	[0%] 0	[0%] 0	122%
中国	[1%] 57	[1%] 3	[2%] 5	138%	113%	[1%] 17	[1%] 12	73%
その他	[0%] 8	[0%] 1	[1%] 1	216%	133%	[0%] 4	[0%] 3	91%

資料：財務省貿易統計

注1：製材は輸入統計品目表第4407項の合計。

2：米材は米国、カナダより輸入された材。

3：南洋材はインドネシア、マレーシア、パプアニューギニア、ソロモン諸島、フィリピン、シンガポール、ブルネイの7か国より輸入された材。

4：欧州材はロシアを除く全ての欧州各国より輸入された材。

5：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

6：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

7：「-」は輸入実績なし等。

8：EUに英国は含まない。

9：EUは、フィンランド、スウェーデンの合計ではない。

林産物輸出入情報-4 木材輸入量（合板、木材チップ）

- 2023年4月の合板輸入量は、前月比100%、前年同月比55%の10万m³となった。
- 国別に、前月比で見ると、マレーシア（前年輸入量に占めるシェア38%）が96%と減少する一方、インドネシア（同39%）が102%と増加した。
- 前年同月比で見ると、インドネシアが64%、マレーシアが36%と減少した。

(単位:千m³)

国名	年 2022年 (1月～ 12月)	月別数量				累計数量		
		2023年 3月	2023年 4月	前月比	前年 同月比	2022年 1～4月	2023年 1～4月	前年 同期比
総輸入量	[100%] 1,948	[100%] 105	[100%] 104	100%	55%	[100%] 693	[100%] 441	64%
インドネシア	[39%] 762	[43%] 45	[44%] 46	102%	64%	[40%] 279	[41%] 181	65%
マレーシア	[38%] 744	[28%] 30	[28%] 29	96%	36%	[42%] 290	[33%] 144	50%
中国	[12%] 240	[14%] 14	[13%] 14	94%	55%	[10%] 68	[11%] 49	72%
ベトナム	[10%] 186	[14%] 14	[14%] 15	102%	111%	[7%] 50	[14%] 61	122%
EU	[0%] 6	[1%] 1	[0%] 1	91%	124%	[0%] 2	[1%] 2	121%
その他	[1%] 10	[0%] 0	[1%] 1	194%	113%	[0%] 3	[1%] 3	83%

資料：財務省貿易統計

注1：輸入統計品目表第4412.10号111～299、第4412.31号、第4412.33号、第4412.34号、第4412.39号の合計。

2：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

3：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

4：EUに英国は含まない。

- 2023年4月の木材チップ輸入量は、前月比83%、前年同月比123%の97万トンとなった。
- 国別に、前月比で見ると、ベトナム（前年輸入量に占めるシェア38%）が94%、チリ（同8%）が23%と減少する一方、オーストラリア（同17%）が163%と増加した。
- 前年同月比で見ると、チリが56%と減少する一方、ベトナムが101%、オーストラリアが163%と増加した。

(単位:千トン)

国名	年 2022年 (1月～ 12月)	月別数量				累計数量		
		2023年 3月	2023年 4月	前月比	前年 同月比	2022年 1～4月	2023年 1～4月	前年 同期比
総輸入量	[100%] 11,312	[100%] 1,161	[100%] 968	83%	123%	[100%] 3,667	[100%] 3,952	108%
ベトナム	[38%] 4,300	[31%] 363	[35%] 341	94%	101%	[38%] 1,397	[36%] 1,409	101%
オーストラリア	[17%] 1,943	[12%] 145	[26%] 249	172%	163%	[19%] 714	[18%] 709	99%
チリ	[8%] 868	[11%] 128	[3%] 30	23%	56%	[8%] 303	[8%] 299	99%
南アフリカ共和国	[10%] 1,099	[12%] 144	[13%] 123	85%	193%	[9%] 340	[11%] 423	124%
米国	[8%] 960	[5%] 60	[10%] 98	163%	96%	[8%] 287	[7%] 268	93%
その他	[19%] 2,142	[28%] 321	[13%] 127	40%	160%	[17%] 626	[21%] 844	135%

資料：財務省貿易統計

注1：輸入統計品目表第4401.21号と第4401.22号の合計。

2：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

3：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

林産物輸出入情報-4 木材輸入量（集成材）

- 2023年4月の集成材輸入量は、前月比87%、前年同月比53%の4.4万m³となった。構造用集成材に限ると、前月比90%、前年同月比52%の3.7万m³となった。
- 国別に、前月比で見ると、EU（前年輸入量に占めるシェア79%）が98%、ロシア（同7%）が28%と減少する一方、中国（同7%）が109%と増加した。EUの国別内訳では、フィンランド（同38%）が85%、オーストリア（同12%）が81%と減少する一方、ルーマニア（同15%）が119%と増加した。
- 前年同月比で見ると、EUが52%、中国が61%、ロシアが44%と軒並み減少した。

（単位：千m³）

年 国名	2022年 (1月～12月)	月別数量				累計数量		
		2023年 3月	2023年 4月	前月比	前年 同月比	2022年 1 ～4月	2023年 1～4月	前年 同期比
総輸入量	[100%] 1,040	[100%] 50	[100%] 44			[100%] 387	[100%] 202	
うち 構造用集成材	[100%] 906	[100%] 41	[100%] 37			[100%] 338	[100%] 172	
EU	[79%] 819	[68%] 34	[76%] 33			[79%] 304	[76%] 153	
うち 構造用集成材	[88%] 797	[80%] 33	[89%] 33			[87%] 295	[87%] 149	
フィンランド	[38%] 390	[38%] 19	[37%] 16			[35%] 135	[39%] 79	
うち 構造用集成材	[43%] 385	[46%] 19	[43%] 16			[40%] 134	[45%] 78	
ルーマニア	[15%] 156	[9%] 4	[12%] 5			[18%] 71	[11%] 23	
うち 構造用集成材	[16%] 148	[10%] 4	[14%] 5			[20%] 66	[13%] 22	
オーストリア	[12%] 125	[9%] 5	[9%] 4			[10%] 40	[9%] 19	
うち 構造用集成材	[13%] 116	[10%] 4	[10%] 4			[11%] 37	[10%] 17	
中国	[7%] 77	[8%] 4	[10%] 4			[7%] 28	[6%] 13	
うち 構造用集成材	[5%] 45	[5%] 2	[6%] 2			[5%] 17	[4%] 6	
ロシア	[7%] 75	[14%] 7	[5%] 2			[8%] 31	[9%] 18	
うち 構造用集成材	[7%] 63	[15%] 6	[5%] 2			[8%] 26	[10%] 16	
その他	[7%] 68	[10%] 5	[10%] 4			[6%] 25	[9%] 18	
うち 構造用集成材	[0%] 0	-	-			[0%] 0	-	

資料：財務省貿易統計

注1：輸入統計品目表第4412.10号910、第4412.51号100、第4412.59号100、第4412.91号100、第4412.92号100、第4412.99号110、190と、第4418.81号（構造用集成材）の合計。

2：数量の上段の〔 〕書きは、総輸入量に占める各国の割合。

3：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

4：「-」は輸入実績なし等。

5：EUに英国は含まない。

6：EUはフィンランド、ルーマニア、オーストリアの合計ではない。

林産物輸出入情報-4 木材輸入量（木質ペレット、LVL）

- 2023年4月の木質ペレット輸入量は、前月比114%、前年同月比123%の41万トンとなった。
- 国別に、前月比で見ると、カナダ（前年輸入量に占めるシェア31%）が49%と減少する一方、ベトナム（同54%）が129%と増加した。
- 前年同月比で見ると、カナダが96%と減少する一方、ベトナムが101%と増加した。

（単位：千トン）

国名	年	月別数量				累計数量			
		2022年 (1月～ 12月)	2023年 3月	2023年 4月	前月比	前年 同月比	2022年 1～4月	2023年 1～4月	前年 同期比
総輸入量	[100%] 4,407	[100%] 361	[100%] 410	114%	123%	[100%] 1,233	[100%] 1,650	134%	
ベトナム	[54%] 2,394	[42%] 151	[48%] 195	129%	101%	[58%] 717	[46%] 767	107%	
カナダ	[31%] 1,359	[45%] 164	[19%] 80	49%	96%	[28%] 346	[30%] 499	144%	
マレーシア	[3%] 137	[2%] 8	[2%] 6	83%	68%	[3%] 32	[4%] 59	185%	
その他	[12%] 517	[10%] 38	[31%] 129	343%	268%	[11%] 137	[20%] 326	237%	

資料：財務省貿易統計

注1：輸入統計品目表第4401.31号000を集計。

2：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

3：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

- 2023年4月のLVL輸入量は、前月比86%、前年同月比99%の3.9万m³となった。
- 国別に、前月比で見ると、中国（前年輸入量に占めるシェア75%）が83%、ベトナム（同20%）が97%と減少した。
- 前年同月比で見ると、中国が99%と減少する一方、ベトナムが103%と増加した。

（単位：千m³）

国名	年	月別数量				累計数量			
		2022年 (1月～ 12月)	2023年 3月	2023年 4月	前月比	前年 同月比	2022年 1～4月	2023年 1～4月	前年 同期比
総輸入量	[100%] 527	[100%] 45	[100%] 39	86%	99%	[100%] 159	[100%] 165	104%	
中国	[75%] 397	[75%] 34	[73%] 28	83%	99%	[74%] 119	[74%] 122	103%	
ベトナム	[20%] 107	[20%] 9	[23%] 9	97%	103%	[20%] 32	[22%] 36	111%	
インドネシア	[4%] 19	[3%] 1	[3%] 1	101%	75%	[4%] 7	[3%] 6	84%	
その他	[1%] 4	[1%] 1	[1%] 0	70%	124%	[1%] 2	[1%] 2	104%	

資料：財務省貿易統計

注1：輸入統計品目表第4412.41号000、4412.42号000、4412.49号を集計。

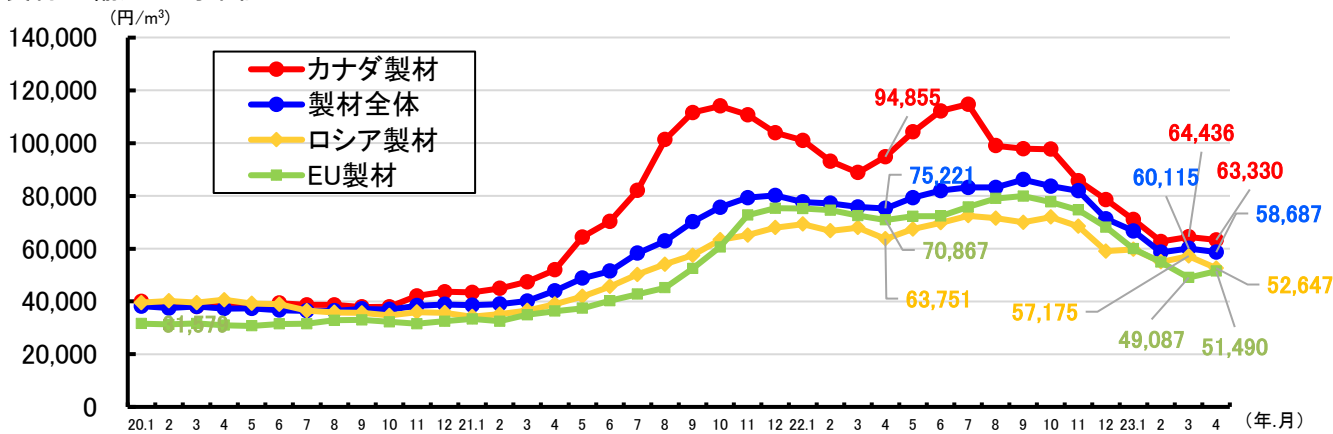
2：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

3：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

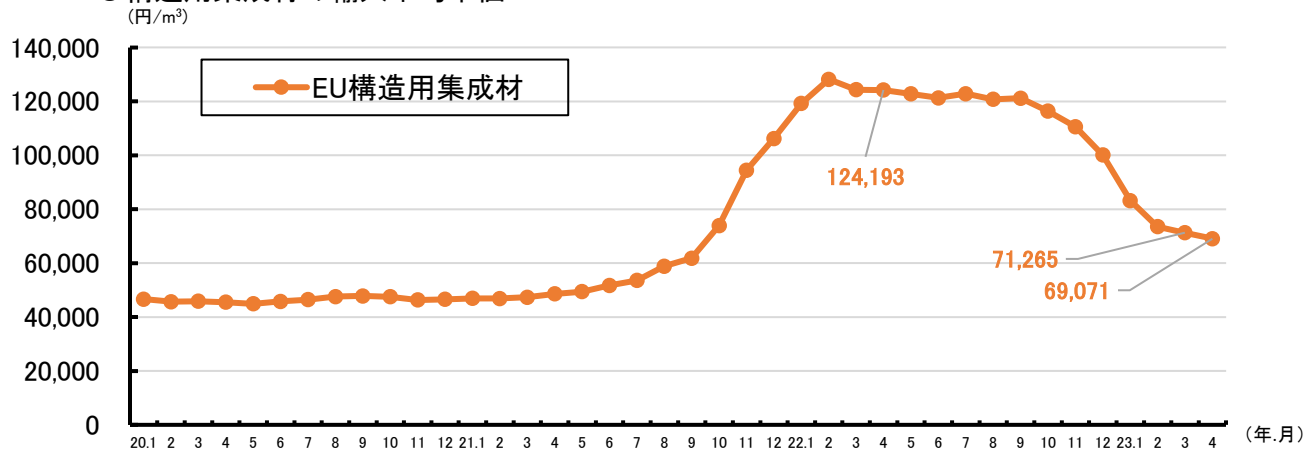
林産物輸出入情報- 5 製材・構造用集成材・合板の輸入平均単価

- 2023年4月の製材輸入平均単価（総輸入額/総輸入量）は、前月比98%の58,687円/m³（前年同月比78%）。うち、カナダの製材は前月比98%の63,330円/m³（同67%）、EUの製材は前月比105%の51,490円/m³（同73%）、ロシアの製材は前月比92%の52,647円/m³（同83%）。
- 同月のEUからの構造用集成材輸入平均単価は、前月比97%の69,071円/m³（同56%）。
- 同月の合板輸入平均単価は、前月比94%の83,367円/m³（同89%）。

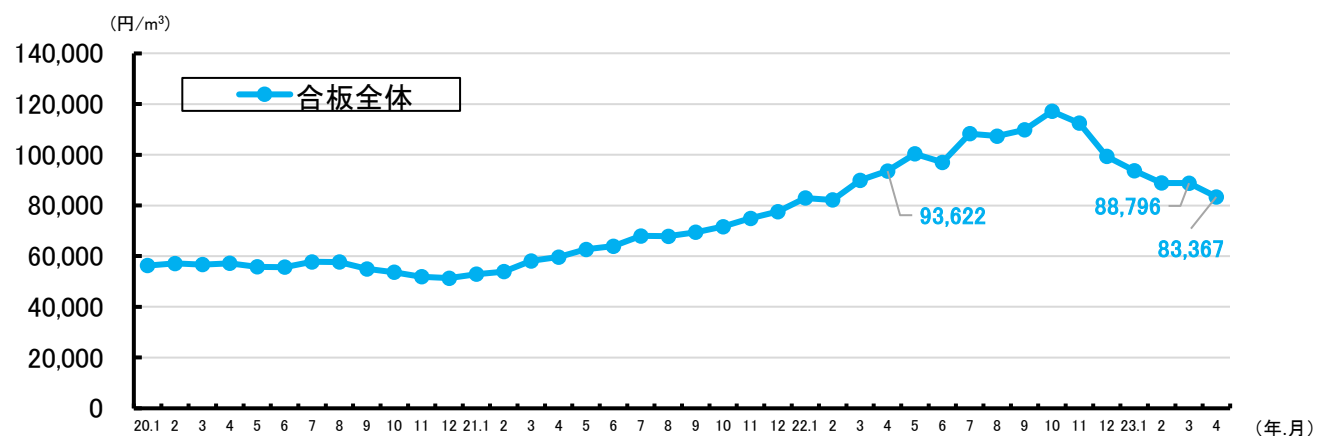
○製材の輸入平均単価



○構造用集成材の輸入平均単価



○合板の輸入平均単価



資料：財務省貿易統計

注：輸入平均単価は、総輸入額を総輸入量で割った値。

特用林産情報-1 特用林産物の国内生産量

- 2021年の食用きのこ類の生産量は46万2,021t（対前年比99.9%）となった。
- たけのこの生産量は1万9,917t（対前年比75.3%）となった。
- 木炭の生産量は1万1,550t（対前年比89.2%）となった。

○きのこ類

単位:t

年次	品目	きのこ類													
		しいたけ計	乾しいたけ	乾しいたけ(生換算値)	生しいたけ	きのこ類		なめこ	えのきたけ	ひらたけ	ぶなしめじ	まいたけ	エリンギ	まくらげ類	まつたけ
					原木栽培	菌床栽培									
2011	平成23	97,125	3,696	25,871	71,254	10,735	60,519	25,426	143,189	2,082	118,006	44,453	38,055	643	36
2012	24	92,414	3,705	25,938	66,476	8,426	58,050	25,816	134,097	1,883	122,276	43,251	38,163	819	16
2013	25	92,437	3,499	24,491	67,946	7,707	60,239	23,383	133,647	2,290	117,363	45,453	40,200	765	38
2014	26	89,093	3,175	22,222	66,872	7,437	59,435	21,796	135,919	2,327	115,751	49,541	39,645	894	42
2015	27	86,284	2,631	18,415	67,869	7,611	60,258	22,897	131,683	3,263	116,152	48,852	39,692	1,182	71
2016	28	88,241	2,735	19,141	69,100	7,324	61,778	22,935	133,297	3,449	116,271	48,523	40,475	1,278	69
2017	29	86,767	2,544	17,807	68,961	6,393	62,568	22,946	135,615	3,828	117,712	47,728	39,088	1,710	18
2018	30	88,196	2,635	18,442	69,754	5,965	63,789	22,809	140,038	4,001	117,916	49,670	39,413	2,309	56
2019	令和元	87,971	2,414	16,901	71,071	5,914	65,157	23,285	128,974	3,862	118,597	51,108	37,635	2,315	14
2020	2	86,394	2,302	16,115	70,280	5,396	64,884	22,835	127,914	3,824	122,802	54,993	38,500	3,132	32
2021	3	86,573	2,216	15,514	71,058	4,981	66,078	24,063	129,587	4,463	119,545	54,521	38,344	3,031	39

注:まつたけの1972年までの生産量は、『農林省統計表』による。

○その他食品

単位:t

年次	品目	その他食用		
		くり	たけのこ	わさび(根茎+葉柄)
2011	平成23	19,100	32,217	2,703
2012	24	20,900	39,244	2,670
2013	25	21,000	24,203	2,381
2014	26	21,400	36,364	2,429
2015	27	16,300	28,980	2,213
2016	28	16,500	35,592	2,266
2017	29	18,700	23,582	2,214
2018	30	16,500	25,364	2,080
2019	令和元	15,700	22,285	1,973
2020	2	16,900	26,449	2,017
2021	3	15,700	19,917	1,886

注:くりの2010年～2020年の生産量は、農林水産省大臣官房統計部『果樹生産出荷統計』、『令和2年産西洋なし、かき、くりの結果樹面積、収穫量及び出荷量』による。

○非食品

年次	品目	非食用																
		生うるし	もろろう	竹材	桐材	木炭	竹炭	オガ炭	オガライト	薪	木質粒状燃料	つばき油	しきみ	さかき	煉炭	豆炭	木酢液	竹酢液
		kg	t	千束	m ³	t	t	t	t	層積m ³	t	kl	千本、t	千本、t	t	t	kl	kl
2011	平成23	1,345	16	1,184	631	22,124	1,058	8,044	1,225	87,760	78,258	80	2,214	832	11,160	11,567	2,141	287
2012	24	1,438	18	1,199	589	22,646	1,002	6,615	1,051	62,071	98,184	44	2,176	860	10,840	11,567	2,136	242
2013	25	1,045	24	1,196	647	21,409	1,119	7,060	435	74,683	110,092	36	1,960	854	7,446	8,831	2,134	232
2014	26	1,003	28	1,178	669	20,281	599	6,869	318	84,659	126,035	50	1,750	832	7,841	10,742	2,100	213
2015	27	1,182	19	1,235	599	17,723	499	7,643	261	72,493	119,570	47	1,892	1,016	6,104	8,235	2,497	185
2016	28	1,294	24	1,272	492	16,769	411	6,553	185	82,584	120,162	70	1,875	1,091	5,123	7,262	2,774	203
2017	29	1,434	15	1,196	465	15,942	526	6,628	88	82,839	126,532	61	1,881	945	6,615	7,306	2,410	193
2018	30	1,845	41	1,143	404	14,699	534	6,479	79	76,659	131,401	45	1,586	811	5,936	6,846	2,450	197
2019	令和元	1,997	26	1,071	264	14,393	447	6,481	66	73,739	147,321	40	1,524	935	4,728	6,093	2,087	193
2020	2	2,051	21	1,030	200	12,945	451	6,363	31	83,536	148,726	42	1,672	866	4,054	5,735	1,743	151
2021	3	2,036	22	916	187	11,550	459	5,156	19	91,791	155,836	78	1,865	1,075	3,972	5,123	1,708	192

- 注:1 木炭、薪の昭和47年までに生産量は『農林省統計表』による。
 2 木炭は平成3年から粉炭を含み、平成9年から竹炭を除く。
 3 煉炭、豆炭の生産量は日本煉炭工業界調べによる。
 4 しきみ、さかきの単位を平成22年より千本からtに変更した。

資料: 特用林産基礎資料

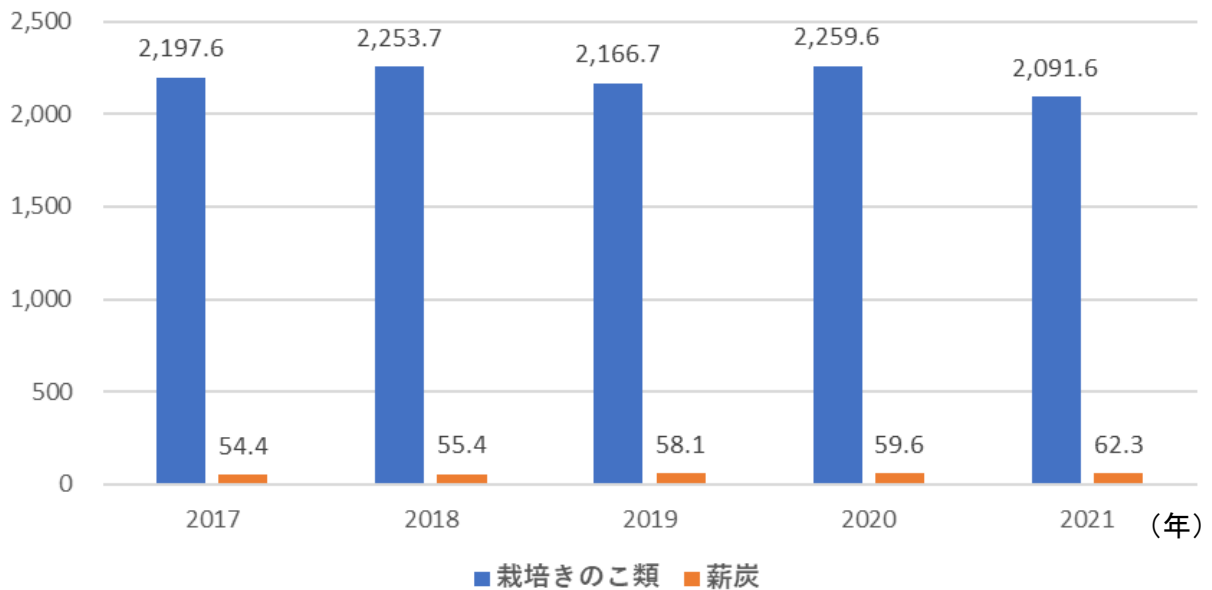
特用林産情報-2 特用林産物の産出額

- 2021年のきのこ類の林業産出額は、2,091.6億円（対前年比92.6%）となった。
- 薪炭の林業産出額は、62.3億円（対前年比104.5%）となった。

（億円）

	2017	2018	2019	2020	2021
栽培きのこ類	2,197.6	2,253.7	2,166.7	2,259.6	2,091.6
薪炭	54.4	55.4	58.1	59.6	62.3

（億円）



資料：農林水産省「令和3年林業産出額」

- 2023年1～4月の乾しいたけの輸出量は11トン、輸入量は1,503トン。
- 2023年1～4月の木炭の輸出量は69トン、輸入量は28,202トン。

品目	単位	2019		2020		2021		2022		2023 1-4月	
		輸出量	輸入量	輸出量	輸入量	輸出量	輸入量	輸出量	輸入量	輸出量	輸入量
乾しいたけ	トン	33	4,869	33	4,354	41	4,575	36	4,596	11	1,503
生しいたけ	トン	…	1,835	…	1,785	…	1,988	14	2,262	5	622
なめこ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
えのきたけ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
ひらたけ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
ぶなしめじ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
まいたけ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
エリンギ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
きくらげ類	トン	89	25,320	14	23,190	66	22,060	76	24,882	11	7,944
まつたけ	トン	…	849	…	629	…	524	…	408	…	-
くり	トン	…	9,019	…	7,371	…	8,401	…	8,481	…	792
くるみ	トン	…	52,236	…	56,478	…	67,581	…	53,991	…	21,145
たけのこ	トン	…	157,296	…	142,544	…	149,778	…	153,619	…	42,544
ねまがりたけ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
わさび	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
おうれん	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
きはだ皮	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
木ろう	トン	7	10	4	9	5	11	5	10	2	5
生うるし	kg	…	36,254	…	30,165	…	21,910	…	23,880	…	6,300
つばき油	kl	…	180	…	220	…	224	…	218	…	88
竹皮	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
竹材	千束	0	215	0	194	0	191	0	159	-	58
桐材	m ³	…	10,099	…	9,726	…	9,871	…	9,813	…	3,021
木炭	トン	460	143,953	439	79,739	270	84,224	205	80,042	69	28,202
竹炭	トン	…	9,414	12	7,605	2	6,790	6	9,666	0	3,223
木酢液	kl	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
竹酢液	kl	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
薪	層積m ³	788	1,830	468	2,326	490	7,099	558	9,048	75	2,980
オガライト	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
オガ炭	トン	…	54,183	…	44,499	…	37,584	…	43,396	…	13,552
煉炭	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
豆炭	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…

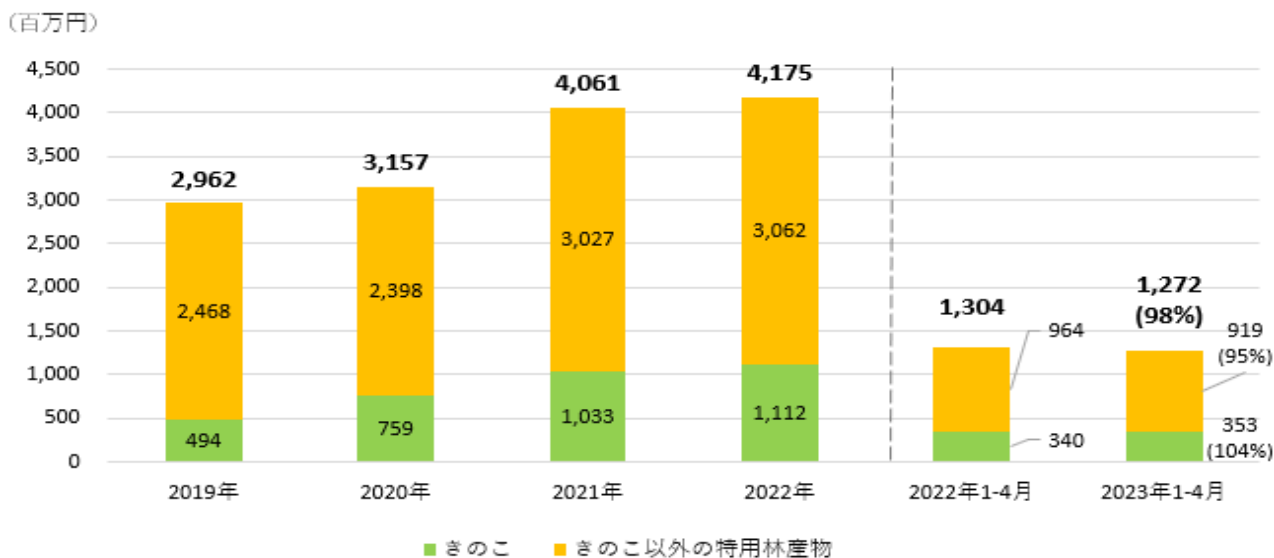
資料：財務省貿易統計

注：「…」は事実不詳又は調査を欠くもの。

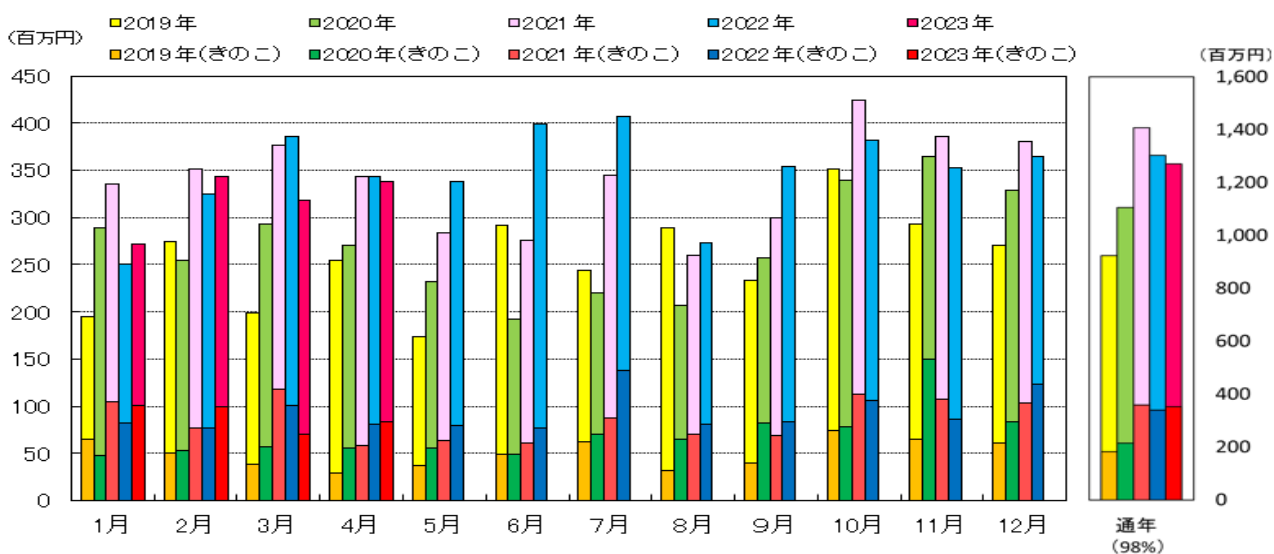
特用林産情報- 4 特用林産物の輸出額①

- 2023年（1～4月）の特用林産物輸出額は1,272百万円（前年同期比98%）となった。内訳としては、きのこ（乾しいたけを含む）は、353百万円（対前年同期比104%）、きのこ以外は、919百万円（対前年同期比95%）となった。
- 4月輸出額は、339百万円（対前年同月比99%）となった。
- 内訳としては、きのこ（乾しいたけを含む）は、84百万円（対前年同月比104%）、きのこ以外の特用林産物は255百万円（対前年同月比97%）となった。

○特用林産物輸出額全体の推移（累計）



○特用林産物輸出額全体の推移（月別）



資料：財務省貿易統計

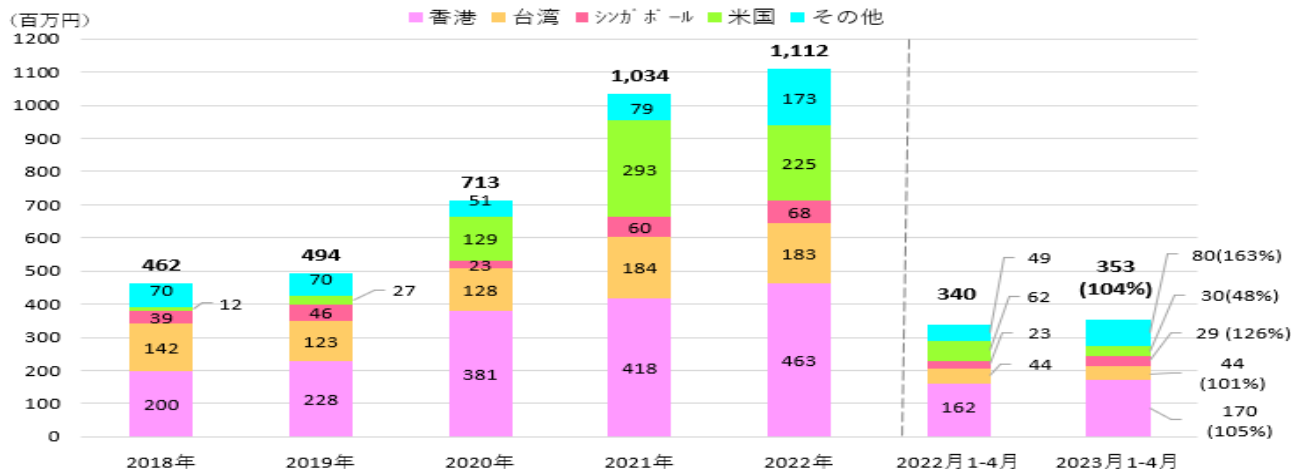
※生鮮きのこ、乾しいたけのほか、ロジン、植物性ろう等を含み、木質ペレット、チップ、薪、木炭は含まず。

※令和2年の定義見直しにより、令和3年実績から、乾燥きくらげ類、調整きのこ、保存処理をしたきのこ、しいたけ以外の乾燥きのこを計上した。

特用林産物の輸出額②

- 2023年（1～4月）のきのこの輸出額は353百万円で、対前年同期比104%となっている。国別には、主要な輸出先である香港が対前年同期比105%、台湾が101%、シンガポールが126%、米国が48%となっている。
- 2023年（1～4月）の輸出量は514トンで、対前年同期比107%となっている。主要な輸出先では、香港が対前年同期比88%、台湾が94%、シンガポールが109%、米国が63%となっている。

○きのこ（乾しいたけ含む）輸出額の推移（累計）



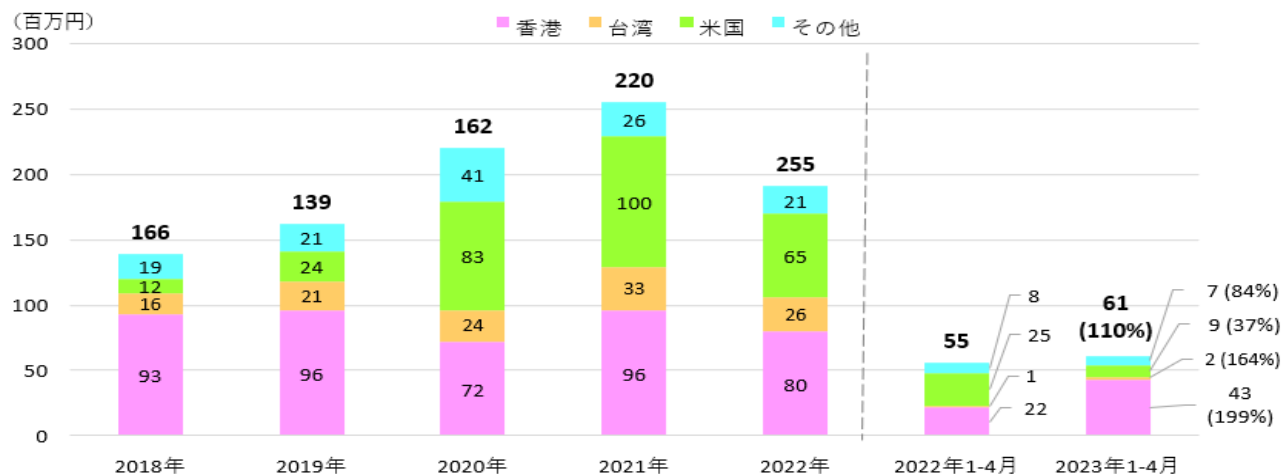
資料：財務省貿易統計

※()は対前年同期比

※令和2年の定義見直しにより、令和3年実績から、生鮮きのこ、乾しいたけに加え、乾燥きくらげ類、調整きのこ、保存処理をしたきのこ及びしいたけ以外の乾燥きのこを計上している。

- 2023年（1～4月）の乾しいたけの輸出額は61百万円で、対前年同期比110%となっている。国別には、主要な輸出先である香港が対前年同期比199%、台湾は164%、米国は37%となっている。
- 2023年（1～4月）の輸出量は11トンで、対前年同期比77%となっている。主要な輸出先では、香港が対前年同期比191%、台湾が129%、米国が34%となっている。

○乾しいたけ輸出額の推移（累計）



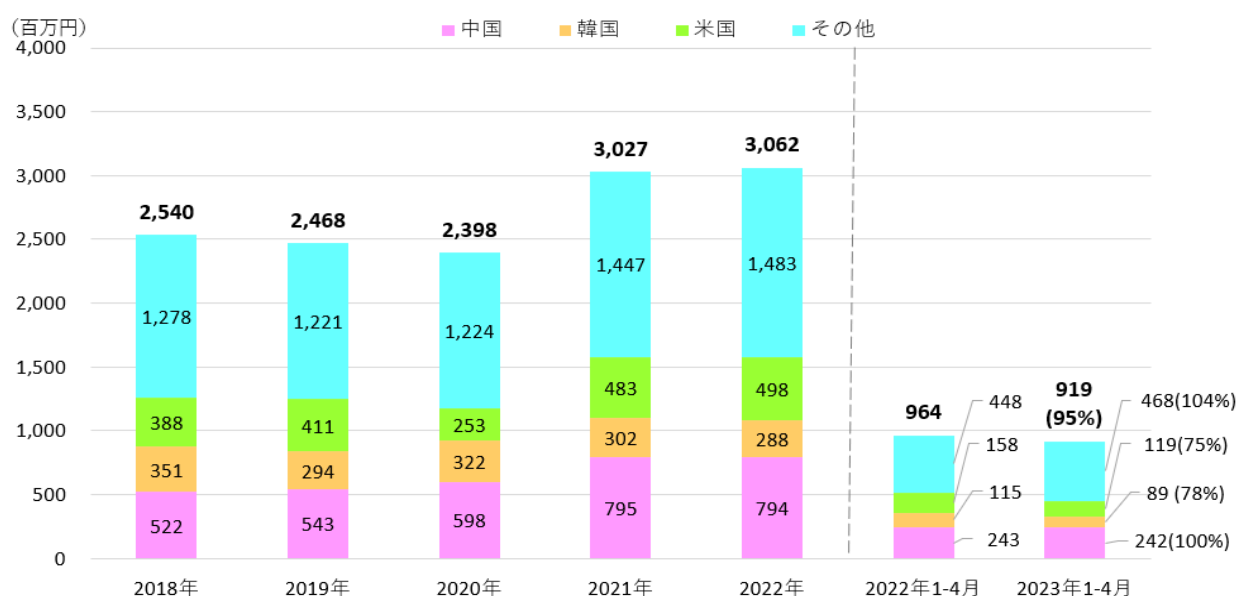
資料：財務省貿易統計

※()は対前年同期比

特用林産情報-4 特用林産物の輸出額③

- 2023年（1～4月）のきのこ以外の特用林産物の輸出額は919百万円で、対前年同期比95%となっている。国別には、中国が対前年同期比100%、韓国が78%、米国が75%となっている。取引額の大きい品目では、ロジン（松脂）が対前年同期比90%、植物性ろうが86%、テルペン油が65%となっている。
- 2023年（1～4月）の輸出量は739トンで、対前年同期比86%となっている。主要な輸出先では、中国が対前年同期比91%、韓国が76%、米国が33%となっている。

〇きのこ以外の特用林産物の輸出額の推移（累計）



資料：財務省貿易統計

※()は対前年同期比

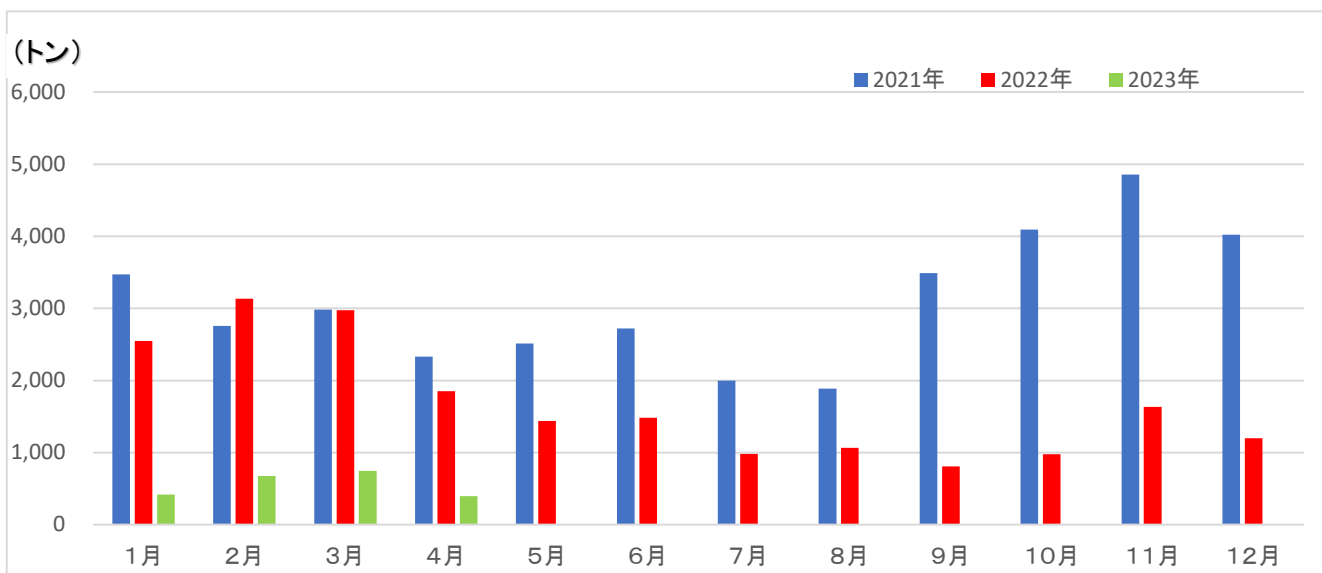
特用林産情報-5 中国からのしいたけ菌糸輸入量

- 中国からのしいたけ菌糸の輸入量は近年増加傾向にあったが、2022年4月以降は減少傾向に転じている。
- 月別の輸入量について前年と比較すると、2022年4月以降の輸入量に減少が見られ、直近の4月には、前年の1,850トンから395トン（対前年同期比21.3%）へと大幅に減少。

○中国からのしいたけ菌糸輸入量（月別）

（単位：トン）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2021年 (令和3年)	3,472	2,757	2,984	2,330	2,513	2,722	1,996	1,889	3,488	4,092	4,856	4,022
2022年 (令和4年)	2,548	3,136	2,975	1,850	1,439	1,482	980	1,068	808	979	1,634	1,199
2023年 (令和5年)	420	675	746	395								



資料：財務省貿易統計

- 2023年5月のきのこの卸売数量は5,207トン（対前年同月比91.6%）となった。
- 2023年5月のきのこの卸売総額は2,761百万円（対前年同月比112.1%）となった。

きのこ類の卸売数量

単位：トン

	2020年	2021年	2022年	2022年 5月	2022 12月	2023 1月	2023 2月	2023 3月	2023 4月	2023 5月
生しいたけ	48,466	47,744	47,222	1,334	2,067	1,541	1,398	1,489	1,248	1,222
なめこ	16,889	16,285	16,865	479	521	468	455	498	467	452
えのきだけ	98,312	99,571	99,656	2,211	4,435	3,374	2,929	2,688	2,400	2,050
しめじ	62,573	62,049	62,459	1,660	2,431	2,030	1,936	1,918	1,729	1,483
合計	226,240	225,649	226,202	5,684	9,454	7,413	6,718	6,593	5,844	5,207

きのこ類の卸売総額

単位：百万円

	2020年	2021年	2022年	2022年 5月	2022 12月	2023 1月	2023 2月	2023 3月	2023 4月	2023 5月
生しいたけ	43,781	41,270	41,300	1,145	2,402	1,766	1,461	1,379	1,144	1,213
なめこ	7,431	7,032	7,321	214	241	223	225	229	215	219
えのきだけ	26,245	23,267	23,288	511	1,480	1,247	995	696	618	650
しめじ	28,688	25,099	25,300	594	1,126	969	906	757	684	679
合計	106,144	96,668	97,209	2,464	5,249	4,204	3,588	3,061	2,661	2,761

きのこ類の卸売単価

単位：円/kg

	2020年	2021年	2022年	2022年 5月	2022 11月	2022 12月	2023 1月	2023 2月	2023 3月	2023 5月
生しいたけ	903	864	875	858	1,162	1,146	1,045	926	917	993
なめこ	440	432	434	447	463	476	495	459	461	484
えのきだけ	267	234	234	231	334	370	340	259	257	317
しめじ	458	404	405	358	463	477	468	395	396	458

資料：農林水産省「青果物卸売市場調査」

林野庁が関係（主催・後援等）する各種セミナー・イベントの情報をご紹介します。

■ 6月中旬以降の開催情報

イベント名	開催日時	会場	イベント概要
こどもの森づくり フォーラム in SAITAMA	7月8日(土) ～9日(日)	秩父宮記念 市民会館ほか	全国植樹祭の関連事業として、森林の活用等に取り 組む保育関係者等の事例発表等を行います。 主催：こどもの森づくりフォーラム実行委員会 事前申込：要 詳細： https://www.kodomonono-mori.net/forum
～美しい地球は、 私達の心の ハーモニーから～ 雨谷麻世 環境チャリティ コンサート vol. 84～87	7月26日(水) 9月15日(金) 10月3日(火) 12月20日(水)	戸塚区民文化 センター さくらプラザ、 ほか	歌を通じて地球環境の大切さ、命の源である緑・森 の大切さを伝えるコンサートです。 主催：(特非)太陽の会 (公社)国土緑化推進機構 チケット取扱い：e+ (イープラス) http://eplus.jp 詳細： https://mayocrystalvoice.com/category/concert_news/
第59回 JAPAN DIY HOMECENTER SHOW 2023	8月24日(木) ～26日(土)	幕張メッセ 国際展示場	DIY産業の健全な振興・総合的な発展を目指し、国 内外のDIY・ホームセンター関連商品を一堂に展示 します。 主催：(一社)日本 DIY・ホームセンター協会 詳細： https://diy-show.com
第26回 「木のある 暮らし」 作文コンクール	●募集期間 ～9月11日(月) ●表彰式 10月28日(土)	オンライン (表彰式)	日々の生活のなかにある「木」から地球環境保護の 大切さを理解してもらうために小学生を対象とする 作文コンクールです。 主催：(一社)日本木造住宅産業協会 詳細： https://www.mokujukyo.or.jp/lifewithwood/concours/

お知らせ

10月1日から 消費税インボイス制度 が始まります！

森林・林業・木材産業関係者の皆様に、制度をよく理解いただき、各々の取引実態を踏まえて適切に準備いただく一助となるよう、林野庁ではインボイスサイトを開設し、ポイントをわかりやすくまとめたリーフレット掲載の他、各種パンフレットや関係サイトを紹介しております。また、相談窓口も開設しておりますので、ぜひご活用ください！

さらに、6月は全国オンライン説明会を開催中(計8回)ですので、ぜひご参加ください！



リーフレット

インボイス制度（適格請求書等保存方式）のポイント！

- 消費税は、商品の販売やサービスの提供等の取引に対して広く公平に課される税であり、消費者が負担するが、納税は事業者が実施。
- 事業者は、売上げに係る消費税額から、仕入れに係る消費税額を差し引いた額を納税（仕入税額控除）。
- 2023年10月1日から、事業者が仕入税額控除を行うためには、原則として、仕入先からインボイス（適格請求書）を交付してもらい、保存しておく必要。
- このインボイスは、税務署長の登録を受けた課税事業者のみが交付可能。
(免税事業者はインボイスの交付不可)



納付する消費税額の計算方法

※ 消費税額は、税率ごとに区分して計算する必要

売上げに係る消費税額 (売上税額) \times マイナス 仕入れや経費に係る消費税額 (仕入税額) = 納付する税額 (納付税額)

仕入れに係る消費税額を差し引くこと = 仕入税額控除

仕入税額控除にはインボイスの保存が必要

インボイスがなければ仕入税額控除できない！※

※ 制度開始から6年間は、経過措置が設けられています

全国オンライン説明会を開催中です！ 参加者募集中！ 【森林・林業・木材産業関係者向け】（参加無料）

林野庁HPにて詳細をご確認の上、ぜひご参加ください！ [お申込みは同HP上の参加申込みフォームから！](#)

・全国4ブロック×各2回 計8回開催（各回13:30～2時間半程度、定員1,000名(先着)）

北海道・東北・北陸ブロック：6月6日(火)①（終了）、6月20日(火)⑤
関東甲信・東海ブロック：6月8日(木)②（終了）、6月22日(木)⑥
近畿・中国ブロック：6月13日(火)③（終了）、6月27日(火)⑦
四国・九州ブロック：6月15日(木)④（終了）、6月29日(木)⑧

※ 在住の都道府県のブロックでの説明会日時に都合がつかない等の場合は、他のブロックの説明会にお申し込みいただくことも可能です。

- オンライン形式（Webex（ウェビナー形式）を使用）
- 対象：森林所有者、林業・木材産業関係の事業者・団体等、行政（市町村等）など（林野関係の方ならどなたでもご参加可能です！）
- 内容：①インボイス制度の概要、②林野関係者のインボイス制度への対応、③質疑応答

お気軽にお問合せください！

林野庁
インボイスサイト
はこちら！

説明会サイト
はこちら！



林野庁のインボイス制度に関する相談窓口

林野庁企画課 03-3502-8111（内線6064）【受付時間】9:30～17:00（土日祝除く）
メールアドレス syouhizei_rinya@maff.go.jp



あなたの挑戦

サポートします ～林業信用保証～

お気軽にお問い合わせください。

<対象>

- ・新たに林業・木材産業を始める方
- ・他産業から林業・木材産業に参入する方

<主なメリット>

- ・最大5年間の保証料免除
- ・林業・木材産業に関する幅広い情報提供

※ご利用には審査があります。

独立行政法人農林漁業信用基金

お問合せ先：03（3434）7825

<https://www.jaffic.go.jp/guide/rin/index.html>



ウッド・チェンジ ロゴマーク 活用のご案内

ウッド・チェンジ ロゴマークは、「ウッド・チェンジ (※)」の趣旨に賛同し、木材利用の取組を積極的に推進していることのPRにご使用いただけます！（例：ポスター、チラシ、webサイト等）

広くロゴマークをご使用いただくことで、「ウッド・チェンジ」の輪が大きくなり、「木づかい運動」を盛り上げ、木材利用の需要拡大につながります。多くの方の使用登録をお待ちしています！

(※) ウッド・チェンジとは、身の回りのものを木に変える、木を暮らしに取り入れる、建築物を木造・木質化するなど、木の利用を通じて持続可能な社会へチェンジする行動を指します。

【背景】

林野庁では、日本の森林の健全な維持やカーボンニュートラルにつながる「伐って、使って、植えて、育てる」という森林資源の循環利用を促進するため、建築物等の木造・木質化や身近なものの木製品化による木材利用拡大に取り組んでいます。

その一環で国民運動として「木づかい運動」を展開しており、「ウッド・チェンジ」を合言葉に様々な取組を行っています。



WOOD  CHANGE

WOOD  CHANGE



【ロゴマークの使用申請について】

1. ウッド・チェンジ ロゴマーク使用規程をご確認の上、内容にご了承いただける場合には、使用を開始する日の5日前（土、日、祝日の日数は算入しない）までに、登録フォームに必要事項を入力して申請してください。
2. 使用を認められないと判断される場合のみ、遅滞なく通知いたします。

(注) 使用が認められない場合の例として、営利を主たる目的とする場合が該当します。

例えば、販売して収益を上げる予定の布バッグやTシャツの柄としてロゴマークをプリントするなど、商品そのものへのマークの使用はお控えください。

なお、商品のチラシやパッケージ、イベントで着用するTシャツや配布者自ら製作する頒布品等に使用することは問題ありません。

ロゴマークの使用規程・ガイドライン、申請登録フォームなど、詳細はこちらから↓
<http://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/kidukai/wood-change-logo.html>

お問い合わせ先：林野庁木材利用課 消費対策班 (TEL : 03-6744-2298)



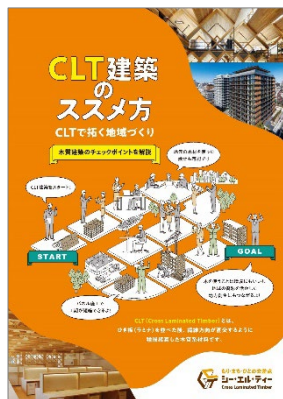
お知らせ

非住宅建築物の木造化等に活用できる資料

林野庁では、非住宅建築物の木造化・木質化を推進するため、発注者や、設計者、建築事業者等向けの様々なパンフレットや技術資料の作成を支援しています。

以下では、令和4年度に新たに作成された資料の一部をご紹介しますので、ぜひご活用ください。

一般社団法人CLT協会



CLT建築のススメ方～CLTで拓く地域づくり

CLTを活用して木造で建築する際、気になると思われるポイントについて、市町村や都道府県の公共建築物を例示として、一問一答形式で解説しています。

また、CLTを用いて低コストで簡単に設計できるように進めている最新の取組として、構造・防耐火規制の合理化、標準的な木造化モデルの作成、寸法等の標準化についても掲載しています。

掲載先：<https://clta.jp/document/>



ウッド・チェンジ協議会



中規模ビル木造化のすすめ

(3階建て事務所の木造化標準モデル等)

木造化の普及が期待される中規模ビルについて、延床面積3,000㎡以下、3階建ての準耐火構造で建築できる、店舗等を併設可能な事務所の標準モデルを提案しています。また、様々なタイプのホテルの木造化・木質化モデル案を紹介しています。



低層小規模建築物木造化のすすめ

地域の材料や加工・施工体制を活用して建築できる、2階建ての事務所の木造化モデル案を紹介しています。

掲載先：<https://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/kidukai/wckyougikai.html>



林野庁ウェブサイトのこちらのページもご活用ください：

建築用木材の技術開発・実証及び設計者等の育成

林野庁補助事業により支援している、建築用木材に係る技術開発や、建築物への利用実証、設計者等の育成の取組をまとめています。

https://www.rinya.maff.go.jp/j/mokusan/technique_development_demonstration.html



建築物の木造化・木質化事例、参考資料

地方公共団体等が整備した公共建築物の木造化・木質化事例をはじめ、建築物への木材利用に関する各種参考資料やリンクを掲載しています。

https://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/kidukai/zirei_sankou/index.html



お問合せ先：林野庁 木材産業課 木材製品技術室 住宅資材班 (TEL: 03-6744-2295)